

Microsoft.DP-300.v2022-10-27.q191

試験コード:	DP-300
試験名称:	Administering Relational Databases on Microsoft Azure
認定資格:	Microsoft
無料問題数:	191
バージョン:	v2022-10-27
アクセス数:	2262
ページビュー数:	1910
https://www.jpnpdf.com/Microsoft.DP-300.v2022-10-27.q191-mondaishu.html	

最新問題: 1

オンプレミスのデータセンターにMicrosoftSQLServer2019インスタンスがあります。インスタンスには、DB1という名前の4TBデータベースが含まれています。

DB1をAzureSQLDatabaseの管理対象インスタンスに移行することを計画しています。

移行中のダウンタイムとデータ損失を最小限に抑えるために何を使用する必要がありますか？

D18912E1457D5D1DDCBD40AB3BF70D5D

- A. 分散可用性グループ
- B. データベースミラーリング
- C. ログ配布
- D. データベース移行アシスタント

Answer: A (メッセージを残す)

Data Migration Assistant (DMA)は、新しいバージョンのSQLServerまたはAzureSQL Databaseのデータベース機能に影響を与える可能性のある互換性の問題を検出することにより、最新のデータプラットフォームへのアップグレードを支援します。DMAは、ターゲット環境のパフォーマンスと信頼性の向上を推奨し、スキーマ、データ、および含まれていないオブジェクトをソースサーバーからターゲットサーバーに移動できるようにします。

注 :SQLマネージドインスタンスは、次のデータベース移行オプションをサポートしています（現在サポートされている移行方法はこれらのみです）。

Azure DatabaseMigrationService-ダウンタイムがほぼゼロの移行。

URLからのネイティブRESTOREDATABASE-SQLServerからのネイティブバックアップを使用し、ある程度のダウンタイムが必要です。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/dma/dma-overview>

最新問題: 2

30の新しいデータベースに適切な購入モデルと展開オプションを推奨する必要があります。ソリューションは、技術要件とビジネス要件を満たしている必要があります。

何をお勧めしますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Purchasing model:

Azure virtual machine reserved instances

DTU

vCore

Deployment option:

An Azure SQL Database elastic pool

An Azure SQL Database managed instance

A SQL Server Always On availability group

Answer:

Purchasing model:

Azure virtual machine reserved instances

DTU

vCore

Deployment option:

An Azure SQL Database elastic pool

An Azure SQL Database managed instance

A SQL Server Always On availability group

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/elastic-pool-overview>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/reserved-capacity-overview>

最新問題: 3

Employeesという名前のテーブルを含むAzureSQLデータベースがあります。Employeesには、Salaryという名前の列が含まれています。給与列を暗号化する必要があります。このソリューションでは、データベース管理者が給与列のデータを読み取れないようにし、最も安全な暗号化を提供する必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

Encrypt the Salary column by using the randomized encryption type.

Create a column encryption key.

Enable Transparent Data Encryption (TDE).

Encrypt the Salary column by using the deterministic encryption type.

Apply a dynamic data mask to the Salary column.

Create a column master key.

Answer Area



Answer:

Answer Area



Create a column master key

Create a column encryption key.

Encrypt the Salary column by using the randomized encryption type.

1-列マスターキーを作成します

2-列暗号化キーを作成します。

3-ランダム化された暗号化タイプを使用してSalary列を暗号化します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/security/encryption/always-encrypted-database-engine>

最新問題: 4

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。
Server1とServer2という名前の2つのAzureSQLデータベースサーバーがあります。各サーバーには、Database1という名前のAzureSQLデータベースが含まれています。

Database1をServer1からServer2に復元する必要があります。ソリューションは、Server2上の既存のDatabase1を置き換える必要があります。

解決策 :Server2でDatabase1に対してRemove-AzSqlDatabasePowerShellコマンドレットを実行します。Server2でDatabase1のRestore-AzSqlDatabasePowerShellコマンドレットを実行します。
これは目標を達成していますか？

- A. はい
- B. いいえ

Answer: (解答を表示する)

代わりに、RESTORE Transact-SQLコマンドとREPLACEオプションを使用して、Database1をServer1からServer2に復元します。
注 :REPLACEはめったに使用しないでください。また、慎重に検討した後でのみ使用してください。復元は通常、データベースを別のデータベースで誤って上書きすることを防ぎます。RESTOREステートメントで指定されたデータベースが現在のサーバーにすでに存在し、指定されたデータベースファミリGUIDがバックアップセットに記録されているデータベースファミリGUIDと異なる場合、データベースは復元されません。これは重要な保護手段です。

参照 :
<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/statements/restore-statements-transact-sql>

最新問題: 5

SERVER1データベースの移行を計画しています。ソリューションはビジネス要件を満たす必要があります。
移行計画には何を含める必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。
注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Azure Database Migration Service pricing tier:

▼

Standard 2-vCore

Standard 4-vCore

Premium 4-vCore

Required Azure resource:

▼

A virtual network that has service endpoints

A VPN gateway

An Azure Logic app

Answer:

Azure Database Migration Service pricing tier:

▼

Standard 2-vCore

Standard 4-vCore

Premium 4-vCore

Required Azure resource:

▼

A virtual network that has service endpoints

A VPN gateway

An Azure Logic app

Explanation:

Azureデータベース移行サービス

ボックス1 :プレミアム4-VCore

シナリオ :SERVER1データベースをAzureSQLデータベースプラットフォームに移行します。

*SERVER1データベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑えます。

Premium 4-vCoreは、大規模またはビジネスクリティカルなワークロード向けです。オンライン移行、オフライン移行、およびより高速な移行速度をサポートします。

不正解：

標準料金階層は、ほとんどの中小企業のワークロードに適していますが、オフライン移行のみをサポートします。

ボックス2 :VPNゲートウェイ

ExpressRouteまたはVPNのいずれかを使用して、オンプレミスのソースサーバーへのサイト間接続を提供するAzure Resource Manager展開モデルを使用して、Azure DatabaseMigrationService用のMicrosoftAzure仮想ネットワークを作成する必要があります。

参照：

<https://azure.microsoft.com/pricing/details/database-migration/>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/dms/tutorial-sql-server-azure-sql-online>

最新問題: 6

オンライン注文のレコードを含むデータセットのスタースキーマを設計しています。各レコードには、注文日、注文期日、および注文出荷日が含まれます。

任意の日付範囲をクエリし、会計カレンダーの属性で集計する場合は、デザインがレコードのクエリ時間を最速にするようにする必要があります。

実行する必要がある2つのアクションはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

- A. DateTimeキーを持つ日付ディメンションテーブルを作成します。
- B. YYYYMMDDの形式の整数キーを持つ日付ディメンションテーブルを作成します。
- C. 組み込みのSQL関数を使用して日付属性を抽出します。
- D. 日付フィールドに整数列を使用します。
- E. 日付フィールドにDateTime列を使用します。

Answer: B,D (メッセージを残す)

セクション [なし]

説明/参照：

https://community.idera.com/database-tools/blog/b/community_blog/posts/why-use-a-date-dimension-table-in-a-data-warehouse

最新問題: 7

VNet1という名前の仮想ネットワーク上にVM1という名前のAzure仮想マシンがあります。VM1からインターネットへのアウトバウンドトラフィックはブロックされます。

SqlSrv1という名前の論理サーバー上にSqlDb1という名前のAzureSQLデータベースがあります。

次の要件を満たすには、VM1とSqlDb1の間に接続を実装する必要があります。

SqlSrv1のパブリックエンドポイントへのすべてのトラフィックがブロックされていることを確認します。

VM1がSqlDb1に保存されているデータを盗み出す可能性を最小限に抑えます。

VNet1で何を作成する必要がありますか？

- A. VPNゲートウェイ
- B. サービスエンドポイント
- C. プライベートリンク
- D. ExpressRouteゲートウェイ

Answer: C (メッセージを残す)

Azure Private Linkを使用すると、仮想ネットワークのプライベートエンドポイントを介して、Azure PaaSサービス Azure StorageやSQLデータベースなど)およびAzureがホストする顧客所有/パートナーサービスにアクセスできます。
仮想ネットワークとサービス間のトラフィックは、Microsoftバックボーンネットワークを通過します。サービスをパブリックインターネットに公開する必要はなくなりました。

参照：
<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/private-link/private-link-overview>

最新問題: 8
SERVER1データベースのユーザー認証を構成する必要があります。ソリューションは、セキュリティとコンプライアンスの要件を満たす必要があります。
順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

Create a user in the master database

Modify the Azure SQL server administrator account

Create contained database users

Create an Azure AD administrator for the logical server

Connect to the databases by using an Azure AD account

Enable the contained database authentication option

Answer Area

Microsoft

ibnref.com

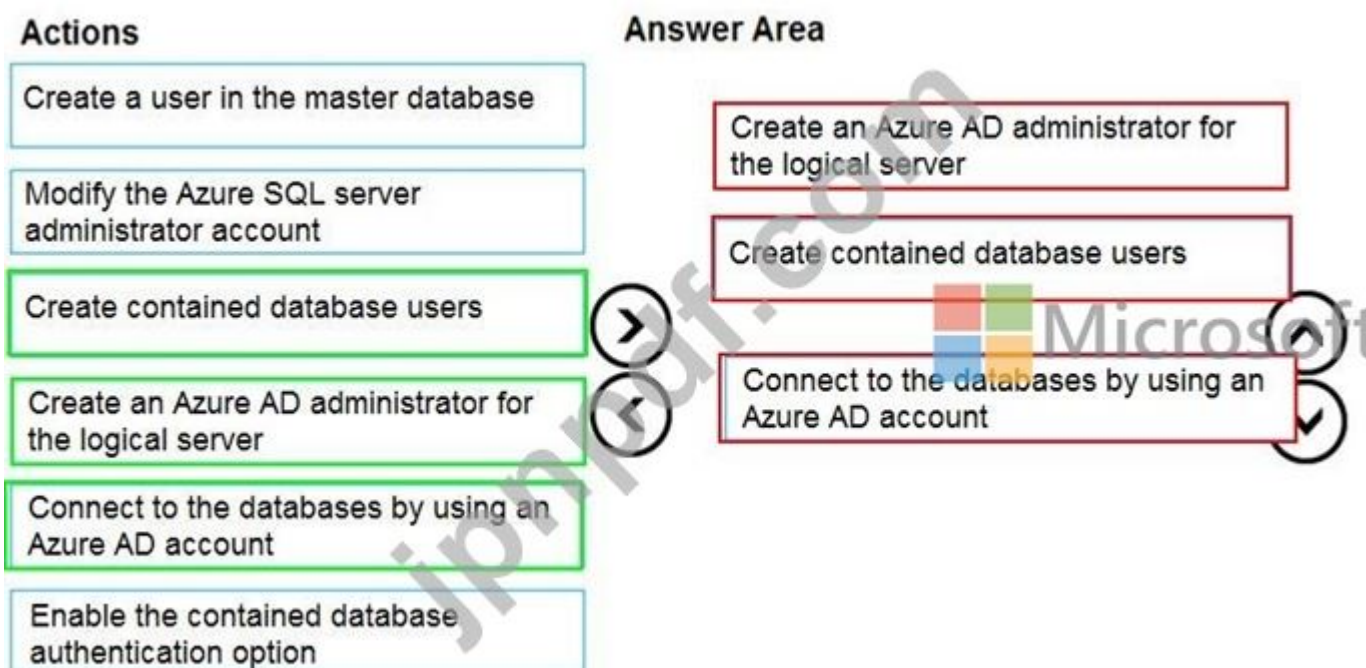
>

<

↑

↓

Answer:



Explanation:

シナリオ :ActiveDirectoryの資格情報を使用してデータベースユーザーを認証します。

構成手順には、Azure ActiveDirectory認証を構成して使用するための次の手順が含まれます。

AzureADを作成してデータを入力します。

オプション：現在Azureサブスクリプションに関連付けられているActiveDirectoryを関連付けるか変更します。

Azure ActiveDirectory管理者を作成します。(ステップ1)

クライアントコンピューターを構成します。

Azure ADIDにマップされたデータベースに含まれるデータベースユーザーを作成します。(ステップ2) Azure ADIDを使用してデータベースに接続します。(ステップ3) 参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/authentication-aad-overview>

最新問題: 9

MySQLデータベース用のバージョン8.0のAzureデータベースがあります。

どのデータベースクエリが最も多くのリソースを消費するかを特定する必要があります。

どのツールを使用する必要がありますか？

- A. クエリストア
- B. メトリクス
- C. クエリパフォーマンスインサイト
- D. アラート

Answer: A ([メッセージを残す](#))

セクション {なし}

Explanation:

Azure Database for MySQLのクエリストア機能は、クエリのパフォーマンスを経時的に追跡する方法を提供します。

クエリストアは、実行時間が最も長く、リソースを大量に消費するクエリをすばやく見つけることができるため、パフォーマンスのトラブルシューティングを簡素化します。クエリストアは、クエリの履歴と実行時の統計を自動的にキャプチャし、レビューのためにそれらを保持します。データベースの使用パターンを確認できるように、データを時間枠で区切ります。

すべてのユーザー、データベース、およびクエリのデータは、Azure DatabaseforMySQLインスタンスのmysqlスキーマデータベースに格納されます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/mysql/concepts-query-store>

最新問題: 10

ホットスポット

Server1という名前のオンプレミスのMicrosoftSQLServer 2016サーバーがあり、このサーバーにはDB1。

Azureを使用して、DB1からAzureSQLDatabaseマネージドインスタンスへのオンライン移行を実行する必要があります
データベース移行サービス。

DB1のバックアップをどのように構成する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

ホットエリア：

Answer Area

Microsoft

Backup type:

▼

Full and log backups only

Full backup only

Log backup only

Backup option:

▼

WITH CHECKSUM

WITH NOINIT

WITH UNLOAD

Answer:

Answer Area Microsoft

Backup type:

Full and log backups only
Full backup only
Log backup only

Backup option:

WITH CHECKSUM
WITH NOINIT
WITH UNLOAD

セクション [なし]

Explanation:

ボックス1 : 完全バックアップとログバックアップのみ

すべてのバックアップを別々のバックアップメディア (バックアップファイル)に保存してください。Azureデータベース移行サービス
単一のバックアップファイルに追加されるバックアップはサポートしていません。完全バックアップを取り、バックアップをログに記録する

個別のバックアップファイル。

ボックス2 :チェックサム付き

Azure Database Migration Serviceは、バックアップと復元の方法を使用して、オンプレミスデータベースを移行します

SQLマネージドインスタンスへ。Azure Database Migration Serviceは、チェックサムを使用して作成されたバックアップのみをサポートします。

不正解 :

NOINITバックアップセットが指定されたメディアセットに追加され、既存のバックアップセットが保持されることを示します。

メディアセットにメディアパスワードが定義されている場合は、パスワードを指定する必要があります。NOINITがデフォルトです。

アンロード

バックアップが終了したときにテープが自動的に巻き戻されてアンロードされることを指定します。UNLOADは

セッション開始時のデフォルト。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/dms/known-issues-azure-sql-db-managed-instance-online>

最新問題: 11

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Salesという名前のAzureSQLデータベースがあります。

次の要件を満たすには、Salesのディザスタリカバリを実装する必要があります。

*通常の操作中に、Salesの読み取り可能なコピーを少なくとも2つ提供します。

*データセンターに障害が発生した場合でも、セールスを引き続き利用できるようにします。

解決策：汎用サービス層とフェールオーバーグループを使用するAzureSQLデータベースをデプロイします。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

Answer: B (メッセージを残す)

代わりに、ビジネスクリティカルなサービス層とアベイラビリティゾーンを使用するAzureSQLデータベースをデプロイします。

注：プレミアムおよびビジネスクリティカルなサービス層は、コンピューティングリソース (\$qlservr.exeプロセス)とストレージ (ローカルに接続されたSSD)を単一ノードに統合するプレミアム可用性モデルを活用します。高可用性は、コンピューティングとストレージの両方を追加のノードに複製して、3~4ノードのクラスターを作成することで実現されます。

デフォルトでは、プレミアム可用性モデルのノードのクラスターは同じデータセンターに作成されます。Azureアベイラビリティゾーンの導入により、SQLデータベースはビジネスクリティカルデータベースのさまざまなレプリカを同じリージョンのさまざまなアベイラビリティゾーンに配置できます。単一障害点を排除するために、制御リングも3つのゲートウェイリング (GW)として複数のゾーンに複製されます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/high-availability-sla>

最新問題: 12

sqlldb1という名前のAzureSQLデータベースがあります。

sqlldb1のデータとログファイルによってスペースの量を最小限に抑える必要があります。

何を実行する必要がありますか？

A. DBCC SHRINKDATABASE

B. sp_clean_db_free_space

C. sp_clean_db_file_free_space

D. DBCC SHRINKFILE

Answer: A (メッセージを残す)

セクション {なし}

Explanation:

DBCC SHRINKDATABASEは、指定されたデータベース内のデータおよびログファイルのサイズを縮小します。

不正解：

D：特定のデータベースに対して一度に1つのデータまたはログファイルを縮小するには、DBCCSHRINKFILEコマンドを実行します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/database-console-commands/dbcc-shrinkdatabase-transact-sql>

最新問題: 13

AzureSQLマネージドインスタンスがあります。

クエリプランの最後の実行とその実行時統計を収集する必要があります。ソリューションは、現在実行中のクエリへの影響を最小限に抑える必要があります。

あなたは何をするべきか？

- A. 推定値を生成します実行計画を生成します。
- B. 実際の実行計画を生成します。
- C. sys.dm_exec_query_plan_scacsを実行します。
- D. ライブクエリ統計を生成します。

Answer: C (メッセージを残す)

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/system-dynamic-management-views/sys-dm-exec-query-plan-stats-transact-sql?view=sql-server-ver15>

最新問題: 14

Customerという名前のテーブルを含むAzureSQLデータベースがあります。顧客には、次の表に示す列があります。

Customer_ID	Customer_Name	Customer_Phone
11001	Contoso, Ltd.	555-555-0173
11002	Litware, Inc.	555-505-3124
11003	ADatum Corporation	555-689-4312

Customer_Phone列に動的データマスクを実装することを計画しています。マスクは次の要件を満たしている必要があります。

各顧客の電話番号の最初の6つの数字はマスクする必要があります。

各顧客の電話番号の下4桁が表示されている必要があります。

ハイフンは保持して表示する必要があります。

動的データマスクをどのように構成する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

Exposed Prefix:

▼

0

1

3

5

Padding String:

▼

X

XXXXXX

XXX-XXX

XXX-XXX-

X[3]-X[3]

Exposed Suffix:

▼

0

1

3

5

Answer:

Exposed Prefix:

0
1
3
5

Padding String:

X
XXXXXX
XXX-XXX
XXX-XXX-
X[3]-X[3]

Exposed Suffix:

0
1
3
5

参照：

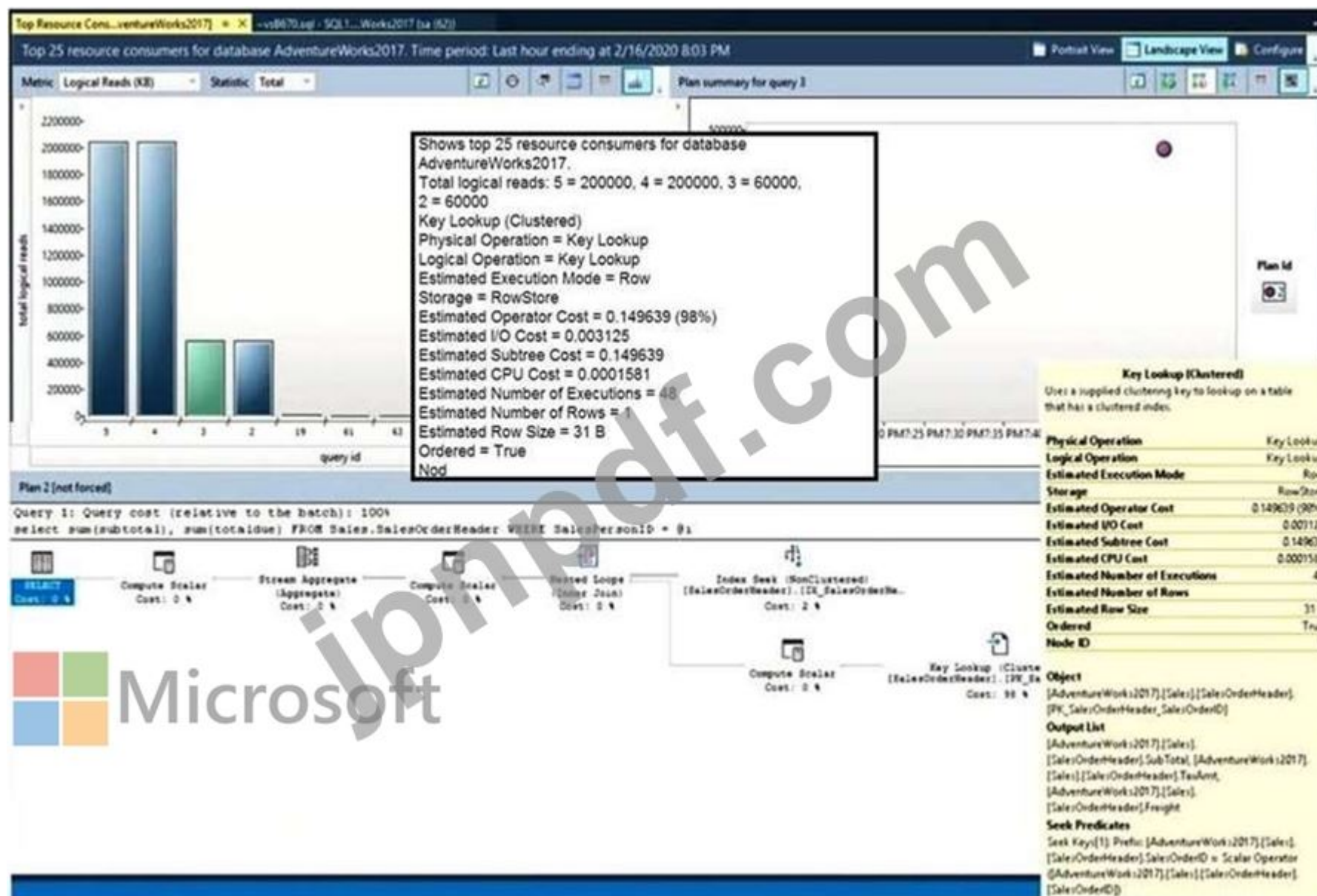
<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/security/dynamic-data-masking>

最新問題: 15

ホットスポット

Azure仮想マシン上にSQLServerがあります。

次の展示に示されているクエリプランを確認します。



次の各ステートメントについて、ステートメントが真の場合は「はい」を選択します。それ以外の場合は、「いいえ」を選択します。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

ホットエリア：

Answer Area Microsoft

Statements

	Yes	No
You will reduce the I/O usage and the query execution time if you force the query plan.	☐	☐
You will increase the I/O usage and the query execution time if you create a new index on the SalesOrderHeader table.	☐	☐
You will reduce the I/O usage and the query execution time if you include the SubTotal, TaxAmt, and Freight columns in the PK_SalesOrderHeader_SalesOrderID index.	☐	☐

Answer:

Answer Area

Statements	Yes	No
You will reduce the I/O usage and the query execution time if you force the query plan.	☒	☐
You will increase the I/O usage and the query execution time if you create a new index on the SalesOrderHeader table.	☐	☒
You will reduce the I/O usage and the query execution time if you include the SubTotal, TaxAmt, and Freight columns in the PK_SalesOrderHeader_SalesOrderID index.	☒	☐

セクション {なし}

説明/参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/performance/monitoring-performance-by-using-the-query-store>

最新問題: 16

DW1という名前のAzureSynapseAnalyticsのエンタープライズデータウェアハウスを含むAzureデータソリューションがあります。

複数のユーザーがDW1へのアドホッククエリを同時に実行します。

DW1への自動データロードを定期的に行います。

自動データロードに、アドホッククエリの実行時に迅速かつ正常に完了するのに十分なメモリがあることを確認する必要があります。

あなたは何をすべきか？

- A. 自動データロードクエリに小さいリソースクラスを割り当てます。
- B. DW1の各テーブルのすべての列にサンプリングされた統計を作成します。
- C. 自動データロードクエリに、より大きなリソースクラスを割り当てます。
- D. 自動データロードを実行する前に、DW1で大きなファクトテーブルをハッシュ分散します。

Answer: (解答を表示する)

セクション {なし}

Explanation:

クエリのパフォーマンス容量は、ユーザーのリソースクラスによって決まります。

リソースクラスが小さいほど、クエリあたりの最大メモリは減少しますが、同時実行性は増加します。

リソースクラスを大きくすると、クエリあたりの最大メモリが増えますが、同時実行性は低下します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/sql-data-warehouse/resource-classes-for-workload-management>

有効な **DP-300** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **DP-300** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (**41030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**特別割引コード: **Freepdfumps**)

最新問題: 17

ResearchDB1のすべてのテーブルとビューを作成します。
ResearchDB1のセキュリティを実装する必要があります。ソリューションは、セキュリティとコンプライアンスの要件を満たす必要があります。
順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

Run the Always Encrypted wizard.

Create an Azure Key Vault instance and generate a secret.

Create an Azure Key Vault instance and configure an access policy.

Create an Azure AD managed identity.

Register ResearchApp1 to Azure AD.

Answer Area

Answer:

Answer Area

Register ResearchApp1 to Azure AD.

Create an Azure Key Vault instance and configure an access policy.

Run the Always Encrypted wizard.

- 1-ResearchApp1をAzureADに登録します。
- 2-Azure Key Vaultインスタンスを作成し、アクセスポリシーを構成します。
- 3-常に暗号化されたウィザードを実行します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/always-encrypted-azure-key-vault-configure?tabs=azure-powershell>

最新問題: 18

DB1という名前のデータベースを含むAzure仮想マシン上にSQLServerがあります。

DB1にクエリを実行して売上レポートを生成するアプリケーションがあります。

クエリが最後に実行されたときのパラメータ値を確認する必要があります。

実行する必要がある2つのアクションはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

A. マスターデータベースでLast_Query_Plan_Statを有効にする

B. DB1でLightweight_Query_Profilingを有効にする

C. Last_Query_Plan_StatsinDB1を有効にする

D. マスターデータベースでLightweight_Query_Profilingを有効にします

E. DB1でPARAMETER_SNIFFINGを有効にします

Answer: A,C (メッセージを残す)

セクション {なし}

Explanation:

Last_Query_Plan_Statsを使用すると、最後のクエリプラン統計の収集を有効または無効にできます（sys.dm_exec_query_plan_statsの実際の実行プラン）。

軽量プロファイリングは、LIGHTWEIGHT_QUERY_PROFILINGを使用してデータベースレベルで無効にできます。

データベーススコープの構成 ALTER DATABASE SCOPED CONFIGURATION SET

LIGHTWEIGHT_QUERY_PROFILING=オフ;。

不正解：

E：「パラメータスニффイング」とも呼ばれるパラメーター感度は、SQLServerが「スニффイング」するプロセスを指します。

コンパイルまたは再コンパイル中の現在のパラメーター値は、クエリオプティマイザーに渡されます

それらを使用して、潜在的により効率的なクエリ実行プランを生成できるようにします。

次のタイプのバッチのコンパイルまたは再コンパイル中に、パラメーター値がスニффイングされます。

*ストアードプロシージャ

*sp_executesqlを介して送信されたクエリ

*準備されたクエリ

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/performance/query-profiling-infrastructure>

最新問題: 19

DB1という名前のオンプレミスMicrosoftSQLServer2016データベースにデータを格納するApp1という名前のオンプレミスアプリがあります。

App1の追加のインスタンスを個別のAzureリージョンにデプロイすることを計画しています。各リージョンには、App1とDB1の個別のインスタンスがあります。DB1の個別のインスタンスは、Azure SQLDataSyncを使用して同期されます。

展開にはデータベースサービスを推奨する必要があります。ソリューションは、管理作業を最小限に抑える必要があります。

推奨事項には何を含める必要がありますか？

A. AzureSQLマネージドインスタンス

B. AzureSQLDatabaseの単一データベース

C. PostgreSQL用のAzureデータベース

D. Azure仮想マシン上のSQL Server

Answer: B ([メッセージを残す](#))

セクション [なし]

Explanation:

Azure SQL Databaseの単一データベースは、データ同期をサポートしています。

不正解：

A : AzureSQLマネージドインスタンスはデータ同期をサポートしていません。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/features-comparison>

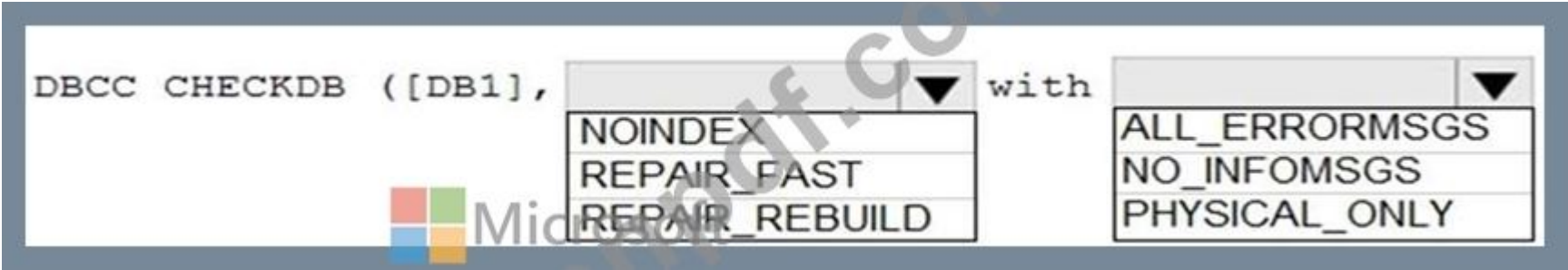
最新問題: 20

DB1という名前の50TBのMicrosoftSQLServerデータベースがあります。

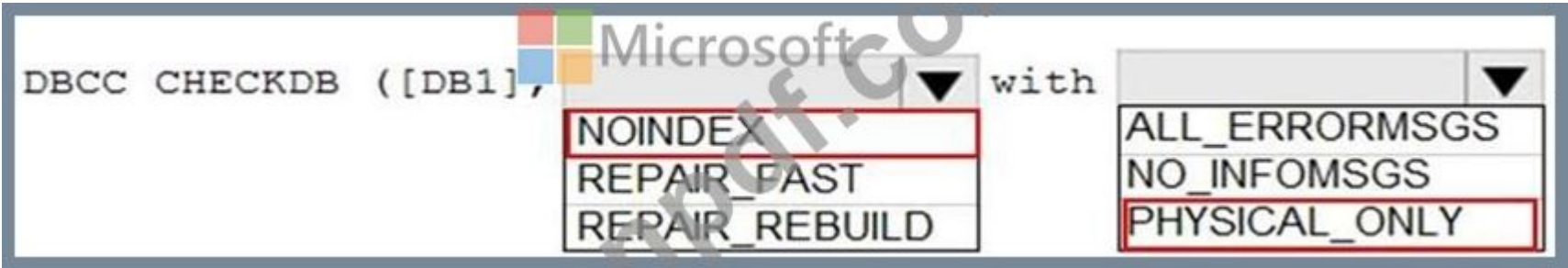
DB1のデータベース整合性チェックの実行にかかる時間を短縮する必要があります。

どのTransact-SQLコマンドを実行する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



Answer:



参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/database-console-commands/dbcc-checkdb-transact-sql?view=sql-server-ver15>

最新問題: 21

ファイルがAzureDataLake Storage Gen2コンテナに到着したときに、AzureDataFactoryパイプラインをトリガーする必要があります。

どのリソースプロバイダーを有効にする必要がありますか？

A. Microsoft.EventHub

B. Microsoft.EventGrid

C. Microsoft.Sql

D. Microsoft.Automation

Answer: (解答を表示する)

セクション [なし]

Explanation:

イベント駆動型アーキテクチャ (EDA) は、生成、検出、消費、およびイベントへの反応を含む一般的なデータ統合パターンです。多くの場合、データ統合シナリオでは、Azure Blob Storage アカウントでのファイルの到着や削除など、ストレージアカウントで発生するイベントに基づいてパイプラインをトリガーする必要があります。Data Factory は、Azure Event Grid とネイティブに統合されているため、このようなイベントでパイプラインをトリガーできます。

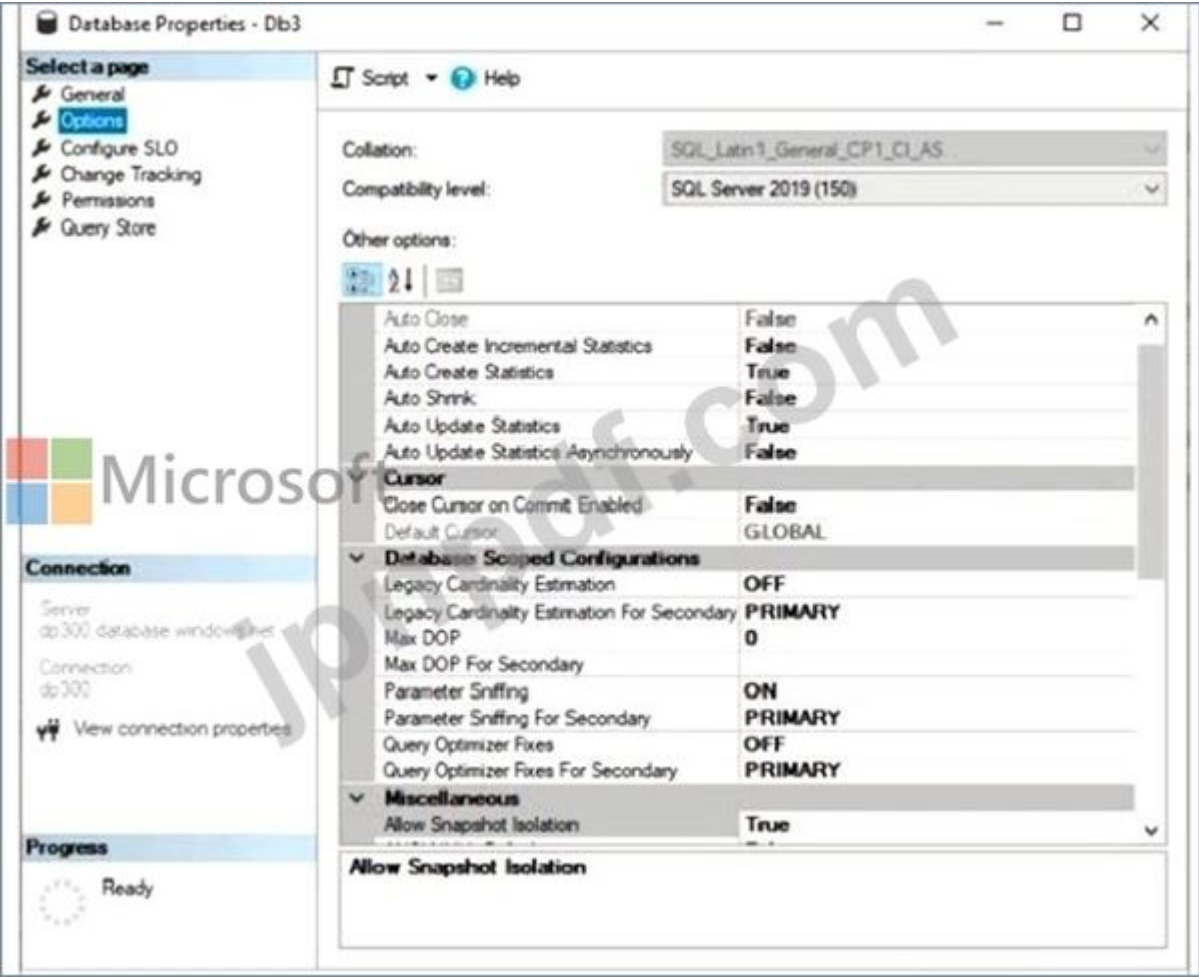
参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/data-factory/how-to-create-event-trigger>

最新問題: 22

DB3 という名前の Azure SQL データベースがあります。

展示に示されているように、DevUser という名前のユーザーに Microsoft SQL Server Management Studio (SSMS) から DB3 のプロパティを表示する機能を提供する必要があります。[展示] タブをクリックします。)



どの Transact-SQL コマンドを実行する必要がありますか？

- A. DevUser に SHOWPLAN を付与
- B. DevUser にビュー定義を付与
- C. ビューデータベースの状態を DevUser に付与
- D. DevUser に SELECT を付与

Answer: C (メッセージを残す)

展示には、データベース[状態]のプロパティが表示されます。

動的管理ビューまたは関数を照会するには、オブジェクトに対する SELECT 権限と、VIEWSERVERSTATE または VIEWDATABASESTATE 権限が必要です。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/databases/database-properties-options-page>

最新問題: 23

Azure仮想マシンにAlwaysOn可用性グループがデプロイされています。可用性グループには、DB1という名前のデータベースが含まれ、SQL1およびSQL2という名前の2つのノードがあります。SQL1はプライマリレプリカです。

SQL2でDB1の完全バックアップを開始する必要があります。

どのステートメントを実行する必要がありますか？

データベースDB1をURL='https://mystorageaccount.blob.core.windows.net/'にバックアップします

A. mycontainer / DB1.bak'with Differential、STATS = 5、COMPRESSION);

データベースDB1をURL='https://mystorageaccount.blob.core.windows.net/'にバックアップします

B. mycontainer / DB1.bak'with COPY_ONLY、STATS = 5、COMPRESSION);

データベースDB1をURL='https://mystorageaccount.blob.core.windows.net/'にバックアップします

C. mycontainer / DB1.bak'with File_Snapshot、STATS = 5、COMPRESSION);

データベースDB1をURL='https://mystorageaccount.blob.core.windows.net/'にバックアップします

D. mycontainer / DB1.bak'with NoInit、STATS = 5、COMPRESSION);

Answer: ([解答を表示する](#))

セクション {なし}

Explanation:

BACKUP DATABASEは、セカンダリレプリカで実行される場合、データベース、ファイル、またはファイルグループのコピーのみの完全バックアップのみをサポートします。コピーのみのバックアップは、ログチェーンに影響を与えたり、差分ビットマップをクリアしたりすることはありません。

不正解：

A：差分バックアップはセカンダリレプリカではサポートされていません。セカンダリレプリカはコピーのみのデータベースバックアップをサポートしているため、ソフトウェアはこのエラーを表示します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/database-engine/availability-groups/windows/active-secondaries-backup-on-secondary-replicas-always-on-availability-groups>

最新問題: 24

Azure Synapseに、dbo.Customersという名前のテーブルを含むSQLプールがあります。テーブルには、Emailという列名が含まれています。管理者以外のユーザーが[電子メール]列に完全な電子メールアドレスを表示しないようにする必要があります。ユーザーは、代わりにaXXX@XXXX.comの形式で値を表示する必要があります。

あなたは何をすべきか？

A. Azureポータルから、[電子メール]列にマスクを設定します。

B. Azureポータルから、[電子メール]列に機密の機密分類を設定します。

C. Microsoft SQL Server Management Studioから、[電子メール]列に電子メールマスクを設定します。

D. Microsoft SQL Server Management Studioから、電子メールを除くdbo.Customersテーブルのすべての列のSELECTアクセス許可をユーザーに付与します。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

電子メールマスキング方式。最初の文字を公開し、電子メールアドレスの形式の定数文字列プレフィックスを使用してドメインをXXX.comに置き換えます。
例 :aXX@XXXX.com

最新問題: 25

SERVER1データベースのユーザー認証を構成する必要があります。ソリューションは、セキュリティとコンプライアンスの要件を満たす必要があります。
順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

Create a user in the master database

Modify the Azure SQL server administrator account

Create contained database users

Create an Azure AD administrator for the logical server

Connect to the databases by using an Azure AD account

Enable the contained database authentication option

Answer Area

Microsoft

Answer:

Answer Area

Create an Azure Active Directory administrator for the logical server

Create contained database users

Connect to your database by using Azure AD account

Microsoft

- 1-論理サーバーのAzureActiveDirectory管理者を作成します
- 2-含まれるデータベースユーザーを作成します
- 3-AzureADアカウントを使用してデータベースに接続します

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/authentication-aad-overview>

最新問題: 26

MySQLデータベース用のバージョン8.0のAzureデータベースがあります。
どのデータベースクエリが最も多くのリソースを消費するかを特定する必要があります。
どのツールを使用する必要がありますか？

- A. クエリストア
- B. メトリクス
- C. クエリパフォーマンスインサイト
- D. アラート

Answer: (解答を表示する)

Azure Database for MySQLのクエリストア機能は、クエリのパフォーマンスを経時的に追跡する方法を提供します。
クエリストアは、実行時間が最も長く、リソースを大量に消費するクエリをすばやく見つけることができるため、パフォーマンスのトラブルシューティングを簡素化します。クエリストアは、クエリの履歴と実行時の統計を自動的にキャプチャし、レビューのためにそれらを保持します。データベースの使用パターンを確認できるように、データを時間枠で区切ります。すべてのユーザー、データベース、およびクエリ
のデータは、Azure DatabaseforMySQLインスタンスのmysqlスキーマデータベースに格納されます。
参照：
<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/mysql/concepts-query-store>

最新問題: 27

factSalesという名前のテーブルを含むAzureSQLデータベースがあります。FactSalesには、次の表に示す列が含まれています。

Name	Data type
SalesID	Int
Product	Int
Total Number	Numeric(8,4)
Tax Number	Numeric(8,4)
SalesRep	Varchar(30)

FactSalesには60億行あり、バッチプロセスを使用して毎晩読み込まれます。
どのタイプの圧縮がデータベースの最大のスペース削減を提供しますか？

- A. ページ圧縮
- B. 行の圧縮
- C. 列ストアの圧縮
- D. 列ストアアーカイブ圧縮

Answer: (解答を表示する)

セクション {なし}

Explanation:

列ストアのテーブルとインデックスは、常に列ストア圧縮で保存されます。アーカイブ圧縮と呼ばれる追加の圧縮を構成することにより、列ストアデータのサイズをさらに減らすことができます。

注：列ストア列ストアインデックスも、行と列を含むテーブルとして論理的に編成されますが、データは物理的に列単位
のデータ形式で格納されます。

不正解：

B：行ストア行ストアインデックスは、SQLServerの最初のリリース以来使用されてきた従来のスタイルです。
行ストアのテーブルとインデックスの場合は、データ圧縮機能を使用してデータベースのサイズを縮小します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/data-compression/data-compression>

最新問題: 28

Azureに移行した後、ManufacturingSQLDb1の構成を推奨する必要があります。ソリューションはビジネス要件を満たす必要があります。推奨事項には何を含める必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Quorum model:

▼
Cloud witness
Disk witness
File share witness

Azure resource for the availability group listener:

▼
Azure Application Gateway
Azure Basic Load Balancer

Answer:

Quorum model:

▼
Cloud witness
Disk witness
File share witness

Azure resource for the availability group listener:

▼
Azure Application Gateway
Azure Basic Load Balancer

Explanation:

シナリオ :ビジネス要件

Litwareは、ビジネス要件を次のように識別します。すべてのAzureデプロイメントで99.99%の可用性のSLAを満たします。

ボックス1 :クラウドの目撃者

すべてのノードが Azureの拡張機能によって)インターネットに到達できるフェールオーバークラスターの展開がある場合は、クォーラム監視リソースとしてクラウド監視を構成することをお勧めします。

ボックス2 :Azure Basic Load Balancer

Microsoftは、2つ以上の正常な仮想マシンインスタンスにサービスを提供するAzure Standard Load Balancerを使用する負荷分散エンドポイントが99.99%の時間利用可能であることを保証します。

注 :リスナーを設定するには、外部 (パブリック)または内部の2つの主なオプションがあります。外部 (パブリック)リスナーは、インターネットに面したロードバランサーを使用し、インターネット経由でアクセス可能なパブリック仮想IP (VIP)に関連付けられています。内部リスナーは内部ロードバランサーを使用し、同じ仮想ネットワーク内のクライアントのみをサポートします。

参照 :

<https://technet.microsoft.com/windows-server-docs/failover-clustering/deploy-cloud-witness>

https://azure.microsoft.com/en-us/support/legal/sla/load-balancer/v1_0/

最新問題: 29

30の新しいデータベースに適切な購入モデルと展開オプションを推奨する必要があります。ソリューションは、技術要件とビジネス要件を満たしている必要があります。

何をお勧めしますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注 : 正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Purchasing model:

Azure virtual machine reserved instances

DTU

vCore

Deployment option:

An Azure SQL Database elastic pool

An Azure SQL Database managed instance

A SQL Server Always On availability group

Answer:

Purchasing model:

Azure virtual machine reserved instances

DTU

vCore

Deployment option:

An Azure SQL Database elastic pool

An Azure SQL Database managed instance

A SQL Server Always On availability group

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/elastic-pool-overview>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/reserved-capacity-overview>

最新問題: 30

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Azure仮想マシン上にSQLServer2019があります。

SQLServerインスタンスのクエリのパフォーマンスの問題をトラブルシューティングしています。

詳細情報を収集するには、sys.dm_exec_requestsにクエリを実行し、待機タイプがPAGELATCH_UPであり、wait_resourceが2 :3 .905856であることを確認します。

システムパフォーマンスを改善する必要があります。

解決策 :テーブル変数と一時テーブルの使用を減らします。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

Answer: A (メッセージを残す)

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-US/troubleshoot/sql/performance/recommendations-reduce-allocation-contention>

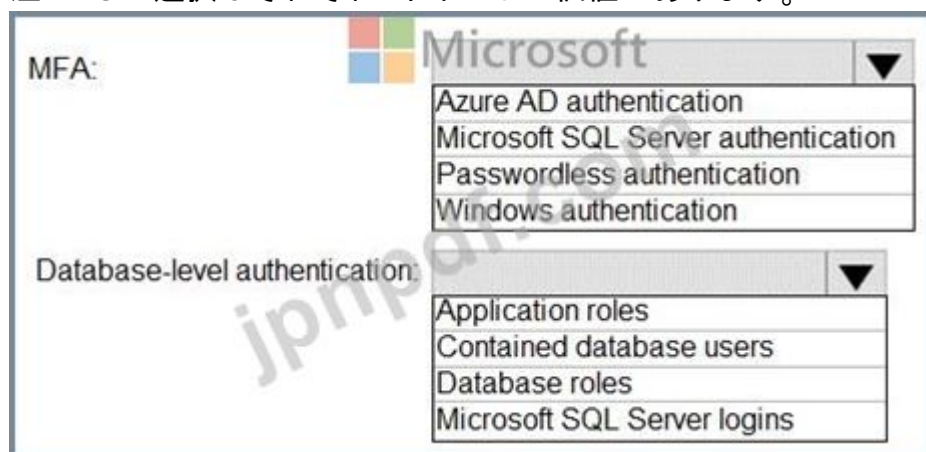
最新問題: 31

ハイブリッドAzureActiveDirectory (Azure AD)テナントにリンクされているAzureサブスクリプションがあります。サブスクリプションには、Pool1という名前のAzure SynapseAnalyticsSQLプールが含まれています。

Pool1の認証ソリューションを推奨する必要があります。ソリューションは、多要素認証 (MFA)とデータベースレベルの認証をサポートする必要があります。

どの認証ソリューションを推奨に含める必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注 :正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



Answer:



参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/sql-data-warehouse/sql-data-warehouse-authentication>

有効な **DP-300** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **DP-300** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (**41030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 32

Azure Databricksで、Rを第一言語としてサポートするだけでなく、ScalaとSQLもサポートする新しいノートブックを作成しています。言語を切り替えるには、どのスイッチを使用する必要がありますか？

- A. エラー！ハイパーリンク参照が無効です。]
- B. %<言語>
- C. エラー！ハイパーリンク参照が無効です。]
- D. @<言語>

Answer: B ([メッセージを残す](#))

説明/参照 :

Explanation:

セルの先頭に言語マジックコマンド%<language>を指定すると、デフォルトの言語を上書きできます。サポートされているマジックコマンドは、%python、%r、%scala、および%sqlです。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/databricks/notebooks/notebooks-use>

最新問題: 33

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。Server1とServer2という名前の2つのAzureSQLデータベースサーバーがあります。各サーバーには、Database1という名前のAzureSQLデータベースが含まれています。

Database1をServer1からServer2に復元する必要があります。ソリューションは、Server2上の既存のDatabase1を置き換える必要があります。

解決策 :Microsoft SQL Server Management Studio (SSMS)から、Server2のDatabase1の名前をDatabase2に変更します。Azureポータルから、Server1からDatabase1のバックアップを復元することにより、Server2に新しいデータベースを作成してから、Database2を削除します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

Answer: B (メッセージを残す)

代わりに、RESTORE Transact-SQLコマンドとREPLACEオプションを使用して、Database1をServer1からServer2に復元します。

注 :REPLACEはめったに使用しないでください。また、慎重に検討した後でのみ使用してください。復元は通常、データベースを別のデータベースで誤って上書きすることを防ぎます。RESTOREステートメントで指定されたデータベースが現在のサーバーにすでに存在し、指定されたデータベースファミリGUIDがバックアップセットに記録されているデータベースファミリGUIDと異なる場合、データベースは復元されません。これは重要な保護手段です。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/statements/restore-statements-transact-sql>

トピック2、Litware

既存の環境

ネットワーク環境

製造および研究データセンターは、VPNを使用してプライマリデータセンターに接続します。

プライマリデータセンターには、Microsoftピアリングとプライベートピアリングの両方を使用するExpressRoute接続があります。プライベートピアリングは、HubVNetという名前のAzure仮想ネットワークに接続します。

アイデンティティ環境

Litwareには、litwareinc.comという名前のドメインを使用するハイブリッドAzure Active Directory (Azure AD) 展開があります。すべてのAzureサブスクリプションは、litwareinc.com Azure ADテナントに関連付けられています。

データベース環境

営業部門には、次のデータベースワークロードがあります。

SERVER1という名前のオンプレミスは、Microsoft SQL Server 2012のインスタンスと2つの1TBデータベースをホストします。

SalesSrv01Aという名前の論理サーバーには、SalesSQLDb1という名前の地理的に複製されたAzure SQLデータベースが含まれています。SalesSQLDb1は、SalesSQLDb1Poolという名前のエラスティックプールにあります。SalesSQLDb1は、データベースファイアウォールルールと含まれているデータベースユーザーを使用します。

SalesSQLDb1App1という名前のアプリケーションは、SalesSQLDb1を使用します。

製造オフィスには、SERVER2とSERVER3という名前の2つのオンプレミスSQL Server 2016サーバーが含まれています。サーバーは、同じAlwaysOn可用性グループ内のノードです。可用性グループには、ManufacturingSQLDb1という名前のデータベースが含まれます。データベース管理者は、Windows Server 2019を実行し、すべてのAzureデータベースを管理するために使用されるVM1およびVM2という名前の2つのAzure仮想マシンをHubVnetに持っています。

ライセンス契約

Litwareは、ソフトウェアアシュアランスによるライセンスモビリティを提供するマイクロソフトボリュームライセンスのお客様です。

現在の問題

SalesSQLDb1でパフォーマンスの問題が発生します。これは、古い統計と頻繁なブロッキングクエリが原因である可能性があります。

要件

計画された変更

Litwareは、次の変更を実装する予定です。

Azureに30個の新しいデータベースを実装します。これらのデータベースは、さまざまな使用パターンを持つ時間に敏感な製造アプリによって使用されます。各データベースは約20GBになります。

ResearchSrv01という名前の論理サーバー上にResearchDB1という名前の新しいAzureSQLデータベースを作成します。ResearchDB1には、個人情報 (PII) データが含まれます。

ResearchApp1という名前のアプリを開発します。このアプリは、研究部門がResearchDB1にデータを入力してアクセスするために使用します。

ManufacturingSQLDb1をAzure仮想マシンプラットフォームに移行します。

SERVER1データベースをAzureSQLデータベースプラットフォームに移行します。

技術要件

Litwareは、次の技術要件を識別します。

メンテナンスタスクは自動化する必要があります。

30の新しいデータベースは自動的に拡張する必要があります。

オンプレミスインフラストラクチャの使用を最小限に抑える必要があります。

Azureハイブリッド使用のメリットは、AzureSQLデータベースの展開に活用する必要があります。

CPUとストレージの使用量と制限に関連するすべてのSQLServerとAzureSQLDatabaseのメトリックは、Azureの組み込み機能を使用して分析する必要があります。

セキュリティとコンプライアンスの要件

Litwareは、次のセキュリティおよびコンプライアンス要件を識別します。

暗号化キーをAzureKeyVaultに保存します。

PIIデータのバックアップを2か月間保持します。

保管中、転送中、および使用中のPIIデータを暗号化します。

可能な限り、最小特権の原則を使用してください。

ActiveDirectoryの資格情報を使用してデータベースユーザーを認証します。

データベースレベルのファイアウォールルールを使用して、AzureSQLデータベースインスタンスを保護します。

パブリックエンドポイントに依存せずに、AzureでホストされているすべてのデータベースにVM1およびVM2からアクセスできることを確認します。

ビジネス要件

Litwareは、次のビジネス要件を識別します。

すべてのAzureデプロイメントで99.99%の可用性のSLAを満たします。

SERVER1データベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑えます。

ワークロードをAzureに移行する場合は、Azureハイブリッド使用のメリットを利用してください。

すべての要件が満たされたら、可能な限りコストを最小限に抑えます。

最新問題: **34**

AzureSQLデータベースがあります。

プランキャッシュが、一度だけ使用されたコンパイル済みプランでいっぱいであることがわかります。
select * from sys.database_scoped_configurationsTransact-SQLコマンドを実行すると、次の表に示す結果が得られます。

configuration_id	name	value	is_value_default
1	LEGACY_CARDINALITY_ESTIMATION	0	1
2	QUERY_OPTIMIZER_HOTFIXES	0	1
3	OPTIMIZE_FOR_AD_HOC_WORKLOADS	0	1
4	ACCELERATED_PLAN_FORCING	1	1

あなたは記憶の圧力を和らげる必要があります。

何を設定する必要がありますか？

- A. LEGACY_CARDINALITY_ESTIMATION
- B. QUERY_OPTIMIZER_HOTFIXES
- C. OPTIMIZE_FOR_AD_HOC_WORKLOADS
- D. ACCELERATED_PLAN_FORCING

Answer: C (メッセージを残す)

OPTIMIZE_FOR_AD_HOC_WORKLOADS = {ON | オフ }

バッチが初めてコンパイルされるときに、コンパイルされたプランスタブがキャッシュに格納されることを有効または無効にします。デフォルトはOFFです。データベーススコープ構成OPTIMIZE_FOR_AD_HOC_WORKLOADSがデータベースに対して有効になると、バッチが初めてコンパイルされるときに、コンパイルされたプランスタブがキャッシュに保存されます。プランスタブは、完全にコンパイルされたプランのサイズと比較して、メモリフットプリントが小さくなります。

不正解：

A :LEGACY_CARDINALITY_ESTIMATION = {ON | オフ|主要な }

データベースの互換性レベルに関係なく、クエリオプティマイザのカーディナリティ推定モデルをSQLServer2012以前のバージョンに設定できます。デフォルトはOFFで、データベースの互換性レベルに基づいてクエリオプティマイザのカーディナリティ推定モデルを設定します。

B :QUERY_OPTIMIZER_HOTFIXES = {ON | オフ|主要な }

データベースの互換性レベルに関係なく、クエリ最適化修正プログラムを有効または無効にします。デフォルトはOFFです。これは、特定のバージョン (RTM後)に利用可能な最高の互換性レベルが導入された後にリリースされたクエリ最適化ホットフィックスを無効にします。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/statements/alter-database-scoped-configuration-transact-sql>

最新問題: 35

AzureSynapseAnalyticsにデータウェアハウスがあります。
データウェアハウス内のデータが保存時に暗号化されていることを確認する必要があります。
何を有効にする必要がありますか？

- A. 透過的データ暗号化 (TDE)
- B. このデータベースの高度なデータセキュリティ
- C. すべての列で常に暗号化
- D. 安全な転送が必要

Answer: A (メッセージを残す)

セクション {なし}

Explanation:

透過的データ暗号化 (TDE)は、保存されているデータを暗号化することにより、Azure SQLデータベース、Azure SQLマネージドインスタンス、およびAzureSynapseAnalyticsを悪意のあるオフラインアクティビティの脅威から保護するのに役立ちます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/transparent-data-encryption-tde-overview>

最新問題: 36

SalesSQLDb1の統計更新を実装する必要があります。ソリューションは技術要件を満たしている必要があります。

順番に実行する必要がある4つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

Create and configure a schedule.

Create a SQL Server Agent job.

Publish the runbook.

Create an Azure Automation account.

Import the SqlServer module.

Create a runbook that runs a PowerShell script.

Run `sp_add_jobserver`.

Answer Area

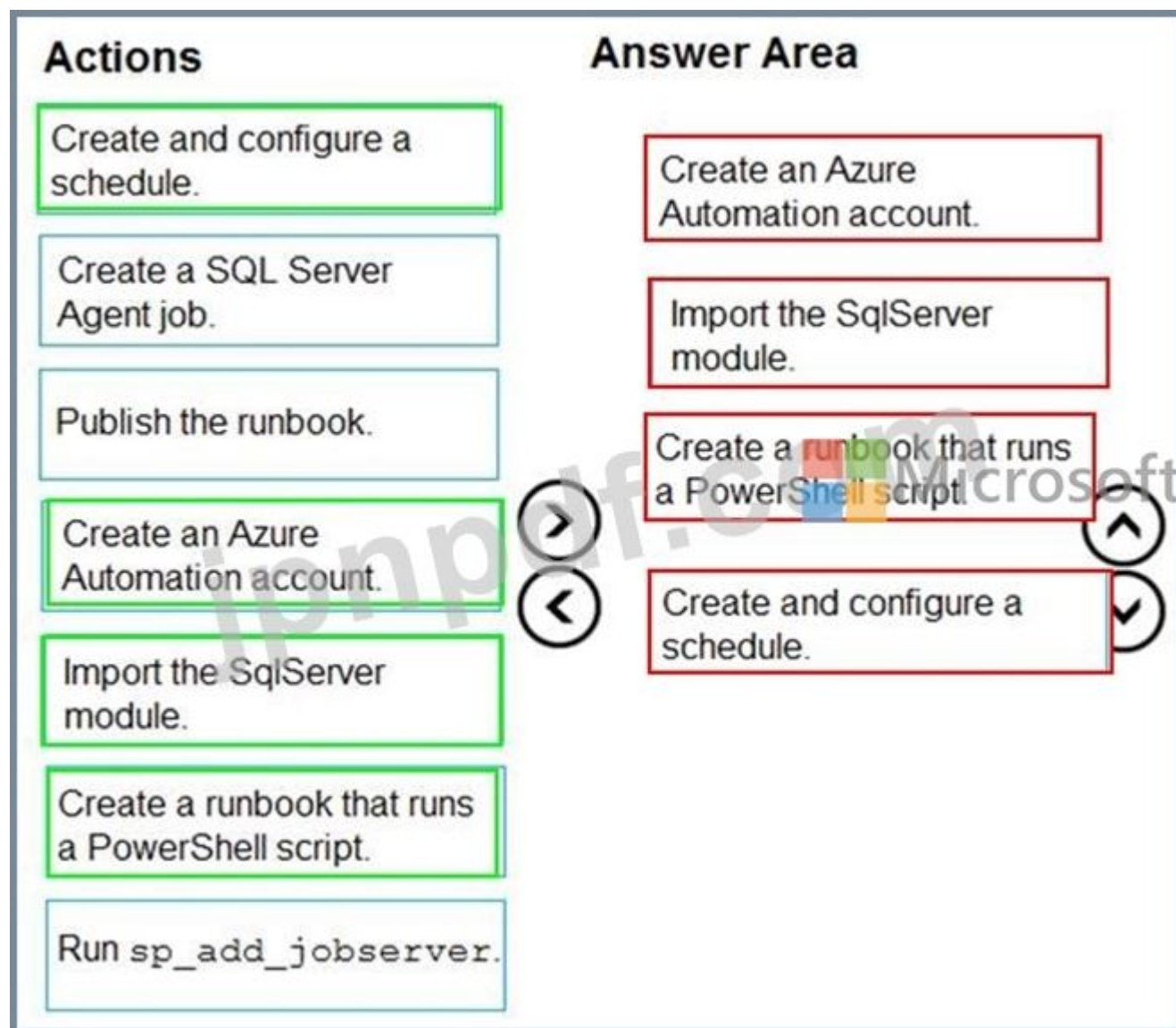
>

<

^

v

Answer:



Explanation:

AzureAutomationを使用したAzureSQLDBインデックスと統計のメンテナンスの自動化 :

1. Azure自動化アカウントを作成します (ステップ1)
2. SQLServerモジュールをインポートします (ステップ2)
3. クレデンシャルを追加してSQLDBにアクセスします

これは、AzureSQLDBへのアクセスに使用されるログイン名とパスワードを保持するための安全な方法を使用します

4. Runbookを追加して、メンテナンスを実行します (ステップ3)

手順 :1。左側のパネルで[Runbooks]をクリックしてから、[AddaRunbook]をクリックします

2. [新しいRunbookを作成する]を選択し、名前を付けて、Runbookのタイプとして[Powershell]を選択し、[作成]をクリックします。

Add Runbook

Microsoft Runbook

Quick Create

Create a new runbook

Import

Import an existing runbook

Name

SqlMaintenance

Runbook type

PowerShell

Description

5.タスクをスケジュールします (ステップ4)

手順 :1.[スケジュール]をクリックします。2.[スケジュールの追加]をクリックし、指示に従って既存のスケジュールを選択するか、新しいスケジュールを作成します。

参照 :

<https://techcommunity.microsoft.com/t5/azure-database-support-blog/automating-azure-sql-db-index-and-statistics-maintenance-using/ba-p/368974>

最新問題: 37

次の表に示すリソースを含むAzureサブスクリプションがあります。

Name	Type	Description
SQL1	SQL Server on Azure Virtual Machines	Not applicable
db1	Microsoft SQL Server database	Hosted on SQL1
mysqlbackups	General purpose v2 storage account	Not applicable

db1をmysqlbackupsにバックアップしてから、SQL1でホストされているdb2という名前の新しいデータベースにバックアップを復元する必要があります。ソリューションでは、db1がストライプセットにバックアップされていることを確認する必要があります。

どの3つのTransact-SQLステートメントを順番に実行する必要がありますか？回答するには、適切なステートメントをステートメントのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Statements

Answer Area

```
RESTORE DATABASE db2 FROM URL = URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_1.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_2.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_3.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_4.bak'
WITH CREDENTIAL = 'sqlbackup', RECOVERY,
    MOVE 'db1_mdf' TO
'D:\Data\db2_mdf.mdf',
    MOVE 'db1_log' TO
'D:\Logs\db2_log.ldf'
```

```
BACKUP DATABASE db1
TO URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_1.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_2.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_3.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_4.bak'
WITH CREDENTIAL = 'sqlbackup';
GO
```

```
RESTORE DATABASE db2 FROM URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_1.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_2.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_3.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_4.bak'
WITH RECOVERY,
    MOVE 'db1_mdf' TO
'D:\Data\db2_mdf.mdf',
    MOVE 'db1_log' TO
'D:\Logs\db2_log.ldf'
```

```
CREATE CREDENTIAL
[https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups]
WITH IDENTITY = 'SHARED ACCESS SIGNATURE',
SECRET = '<SAS_TOKEN>'
GO
```

```
BACKUP DATABASE db1
TO URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_1.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_2.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_3.bak'
```

onpdf.com



```
, URL =  
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net/  
backups/db1_4.bak'  
  
GO  
  
CREATE CREDENTIAL [sqlbackup] WITH IDENTITY  
=  
'sqlsamplebackup'  
,SECRET = '<mystorageaccountaccesskey>';  
GO
```

Answer:

Answer Area	
CREATE CREDENTIAL	,,,,,,
Microsoft BACKUP DATABASE db1	,,,,,,
RESTORE DATABASE db2 FROM URL=	,,,,,,

- 1-クレデンシャルを作成します、,,,,,,
- 2-バックアップデータベースdb1、,,,,,
- 3-RESTORE DATABASE db2 FROM URL = 、,,,,,,

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/backup-restore/sql-server-backup-to-url?view=sql-server-ver15>

最新問題: 38

ホットスポット

DB1という名前のAzureSQLデータベースがあります。DB1の自動調整オプションは次のように構成されています
次の展示で。

Inherit from: 

Server

Azure defaults

Don't inherit

 The database is inheriting automatic tuning configuration from Azure defaults.



Configure the automatic tuning options 

OPTION	DESIRED STATE	CURRENT STATE
 FORCE PLAN	ON OFF INHERIT	ON Auto-configured by Azure
 CREATE INDEX	ON OFF INHERIT	ON Auto-configured by Azure
 DROP INDEX	ON OFF INHERIT	ON Forced by user

次の各ステートメントについて、ステートメントがtrueの場合は、[はい]を選択します。それ以外の場合は、[いいえ]を選択します。
注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

ホットエリア：

Answer Area



Statements	Yes	No
Nonclustered indexes will be added to tables to improve performance.	☐	☐
Columns will be added to existing indexes automatically.	☐	☐
The query execution plan will revert to a previous plan if query performance degrades.	☐	☐

Answer:

Answer Area

Statements	Yes	No
Nonclustered indexes will be added to tables to improve performance.	☒	☐
Columns will be added to existing indexes automatically.	☐	☒
The query execution plan will revert to a previous plan if query performance degrades.	☒	☐

セクション [なし]

Explanation:

ボックス1 :はい

次のように表示されます。チューニングオプション :インデックスの作成ON

CREATE INDEX-ワークロードのパフォーマンスを向上させる可能性のあるインデックスを識別し、インデックスを作成し、クエリのパフォーマンスが向上したことを自動的に確認します。

ボックス2 :いいえ

ボックス3 :はい

FORCE LAST GOOD PLAN（自動プラン修正)-実行プランを使用してAzureSQLクエリを識別します

これは前の適切な計画よりも遅く、リグレッションの代わりに最後の既知の適切な計画を使用してクエリを実行します
予定。

最新問題: 39

AzSQL1という名前のAzureSQLサーバー上にDB1という名前の新しいAzureSQLデータベースがあります。
作成された唯一のユーザーはサーバー管理者です。

認証にAzureActiveDirectory (Azure AD)を使用するDB1に含まれるデータベースユーザーを作成する必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions	Answer Area
Connect to DB1 by using the Active Directory admin account.	 Microsoft
Create a user by using the FROM EXTERNAL PROVIDER clause.	
Connect to DB1 by using the server administrator account.	
Set the Active Directory Admin for AzSQL1.	
From the Azure portal, assign the SQL DB Contributor role to the user.	
Create a login in the master database.	

Answer:

Answer Area
Set up the Active Directory Admin for AzSQL1.
Connect to DB1 by using the Active Directory admin account.
Create a user by using the FROM EXTERNAL PROVIDER clause.

1-AzSQL1のActiveDirectory管理者を設定します。

2-ActiveDirectory管理者アカウントを使用してDB1に接続します。

3-FROMEXTERNALPROVIDER句を使用してユーザーを作成します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/statements/create-user-transact-sql>

最新問題: 40

さまざまな量のデータを取り込むストリーミングデータソリューションを設計しています。

作成後にパーティション数を変更できることを確認する必要があります。

データを取り込むためにどのサービスを使用する必要がありますか？

- A. Azure Event Hubs Standard
- B. Azure Stream Analytics
- C. Azure Data Factory
- D. 専用のAzureイベントハブ

Answer: D (メッセージを残す)

セクション {なし}

Explanation:

専用のイベントハブクラスター内のイベントハブのパーティション数は、イベントハブの作成後に増やすことができます。

不正解：

A :Azure Event標準ハブの場合、パーティション数は変更できないため、パーティション数を設定する際には長期的なスケールを考慮する必要があります。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/event-hubs/event-hubs-features#partitions>

最新問題: 41

Windows Server 2019を実行するVM1とVM2という名前の2つのAzure仮想マシンがあります。VM1とVM2はそれぞれ、デフォルトのMicrosoft SQLServer2019インスタンスをホストします。VM1には、D:\DB1.bakという名前のファイルにバックアップされるDB1という名前のデータベースが含まれています。

次の構成を持つAlwaysOn可用性グループを展開することを計画しています。

VM1は、DB1のプライマリレプリカをホストします。

VM2は、DB1のセカンダリレプリカをホストします。

可用性グループ用にVM2でセカンダリデータベースを準備する必要があります。

Transact-SQLステートメントをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

BACKUP
CREATE
RESTORE

Microsoft SQL Server Enterprise Edition

FROM DISK = 'D:\DB1.bak'

WITH

GO

NORECOVERY
RECOVERY
STANDBY

Answer:



参照：

[https://docs.microsoft.com/en-us/sql/database-engine/availability-groups/windows/manually-prepare-a-secondary-database-for-an-availability-group-sql-server?view= sql-server-ver15](https://docs.microsoft.com/en-us/sql/database-engine/availability-groups/windows/manually-prepare-a-secondary-database-for-an-availability-group-sql-server?view=sql-server-ver15)

最新問題: 42

D18912E1457D5D1DDCBD40AB3BF70D5D

SalesSQLDb1のパフォーマンスの問題の原因を特定する必要があります。

どの2つの動的管理ビューを使用する必要がありますか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

- A. sys.dm_pdw_nodes_tran_locks
- B. sys.dm_exec_compute_node_errors
- C. sys.dm_exec_requests
- D. sys.dm_cdc_errors
- E. sys.dm_pdw_nodes_os_wait_stats
- F. sys.dm_tran_locks

Answer: A,E (メッセージを残す)

SalesSQLDb1でパフォーマンスの問題が発生します。これは、古い統計と頻繁なブロッキングクエリが原因である可能性があります。

A : Azure Synapse Analytics (SQLデータウェアハウス)またはParallel Data Warehouseのsys.dm_tran_locksの代わりに、sys.dm_pdw_nodes_tran_locksを使用してください。

に、sys.dm_pdw_nodes_tran_locksを使用してください。

E：例：

次のクエリは、ブロック情報を表示します。

選択する

t1.resource_type、

t1.resource_database_id、

t1.resource_located_entity_id、

t1.request_mode、

```
t1.request_session_id、  
t2.blocking_session_id  
FROM sys.dm_tran_locks as t1  
内部結合sys.dm_os_waiting_tasksast2  
ON t1.lock_owner_address = t2.resource_address;
```

注：使用しているシステムに応じて、次の3つの場所のいずれかからこれらの待機統計にアクセスできます。

sys.dm_os_wait_stats :SQLServerの場合

sys.dm_db_wait_stats :AzureSQLデータベースの場合

sys.dm_pdw_nodes_os_wait_stats :AzureSQLデータウェアハウスの場合

不正解：

F sys.dm_tran_locksは、SQL Server 2019 (15.x)で現在アクティブなロックマネージャーリソースに関する情報を返します。各行は、付与された、または付与されるのを待っているロックに対するロックマネージャへの現在アクティブな要求を表します。

代わりに、sys.dm_pdw_nodes_tran_locksを使用してください。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/system-dynamic-management-views/sys-dm-tran-locks-transact-sql>

最新問題: 43

DW1という名前のAzureSynapseAnalyticsのエンタープライズデータウェアハウスを含むAzureデータソリューションがあります。

複数のユーザーがDW1へのアドホッククエリを同時に実行します。

DW1への自動データロードを定期的に行います。

自動データロードに、アドホッククエリの実行時に迅速かつ正常に完了するのに十分なメモリがあることを確認する必要があります。

あなたは何をすべきか？

- A. 自動データロードクエリに小さいリソースクラスを割り当てます。
- B. DW1の各テーブルのすべての列にサンプリングされた統計を作成します。
- C. 自動データロードクエリに、より大きなリソースクラスを割り当てます。
- D. 自動データロードを実行する前に、DW1で大きなファクトテーブルをハッシュ分散します。

Answer: (解答を表示する)

クエリのパフォーマンス容量は、ユーザーのリソースクラスによって決まります。

リソースクラスが小さいほど、クエリあたりの最大メモリは減少しますが、同時実行性は増加します。

リソースクラスを大きくすると、クエリあたりの最大メモリが増えますが、同時実行性は低下します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/sql-data-warehouse/resource-classes-for-workloadmanagement>

最新問題: 44

顧客がデータベースオブジェクトを作成できるようにするためのソリューションを推奨する必要があります。ソリューションはビジネス目標を満たさなければなりません。

推奨事項には何を含める必要がありますか？

- A. 顧客ごとに、顧客にddl_adminを既存のスキーマに付与します。
- B. 顧客ごとに、追加のスキーマを作成し、顧客にddl_adminを新しいスキーマに付与します。
- C. 顧客ごとに、追加のスキーマを作成し、顧客にdb_writerを新しいスキーマに付与します。

D. 顧客ごとに、顧客にdb_writerを既存のスキーマに付与します。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

トピック1、Litware

既存の環境

ネットワーク環境

製造および研究データセンターは、VPNを使用してプライマリデータセンターに接続します。

プライマリデータセンターには、Microsoftピアリングとプライベートピアリングの両方を使用するExpressRoute接続があります。プライベートピアリングは、HubVNetという名前のAzure仮想ネットワークに接続します。

アイデンティティ環境

Litwareには、litwareinc.comという名前のドメインを使用するハイブリッドAzure Active Directory (Azure AD) 展開があります。すべてのAzureサブスクリプションは、litwareinc.com AzureADテナントに関連付けられています。

データベース環境

営業部門には、次のデータベースワークロードがあります。

SERVER1という名前のオンプレミスは、Microsoft SQL Server2012のインスタンスと2つの1TBデータベースをホストします。

SalesSrv01Aという名前の論理サーバーには、SalesSQLDb1という名前の地理的に複製されたAzureSQLデータベースが含まれています。SalesSQLDb1は、SalesSQLDb1Poolという名前のエラスティックプールにあります。SalesSQLDb1は、データベースファイアウォールルールと含まれているデータベースユーザーを使用します。

SalesSQLDb1App1という名前のアプリケーションは、SalesSQLDb1を使用します。

製造オフィスには、SERVER2とSERVER3という名前の2つのオンプレミスSQL Server2016サーバーが含まれています。サーバーは、同じAlwaysOn可用性グループ内のノードです。可用性グループには、ManufacturingSQLDb1という名前のデータベースが含まれます。データベース管理者は、Windows Server 2019を実行し、すべてのAzureデータベースを管理するために使用されるVM1およびVM2という名前の2つのAzure仮想マシンをHubVnetに持っています。

ライセンス契約

Litwareは、ソフトウェアアシュアランスによるライセンスモビリティを提供するマイクロソフトボリュームライセンスのお客様です。

現在の問題

SalesSQLDb1でパフォーマンスの問題が発生します。これは、古い統計と頻繁なブロッキングクエリが原因である可能性があります。

要件

計画された変更

Litwareは、次の変更を実装する予定です。

Azureに30個の新しいデータベースを実装します。これらのデータベースは、さまざまな使用パターンを持つ時間に敏感な製造アプリによって使用されます。各データベースは約20GBになります。

ResearchSrv01という名前の論理サーバー上にResearchDB1という名前の新しいAzureSQLデータベースを作成します。ResearchDB1には、個人情報 (PII) データが含まれます。

ResearchApp1という名前のアプリを開発します。このアプリは、研究部門がResearchDB1にデータを入力してアクセスするために使用します。

ManufacturingSQLDb1をAzure仮想マシンプラットフォームに移行します。

SERVER1データベースをAzureSQLデータベースプラットフォームに移行します。

技術要件

Litwareは、次の技術要件を識別します。

メンテナンスタスクは自動化する必要があります。

30の新しいデータベースは自動的に拡張する必要があります。

オンプレミスインフラストラクチャの使用を最小限に抑える必要があります。

Azureハイブリッド使用のメリットは、AzureSQLデータベースの展開に活用する必要があります。

CPUとストレージの使用量と制限に関連するすべてのSQLServerとAzureSQL Databaseのメトリックは、Azureの組み込み機能を使用して分析する必要があります。

セキュリティとコンプライアンスの要件

Litwareは、次のセキュリティおよびコンプライアンス要件を識別します。

暗号化キーをAzureKeyVaultに保存します。

PIIデータのバックアップを2か月間保持します。

保管中、転送中、および使用中のPIIデータを暗号化します。

可能な限り、最小特権の原則を使用してください。

ActiveDirectoryの資格情報を使用してデータベースユーザーを認証します。

データベースレベルのファイアウォールルールを使用して、AzureSQLデータベースインスタンスを保護します。

パブリックエンドポイントに依存せずに、AzureでホストされているすべてのデータベースにVM1およびVM2からアクセスできることを確認します。

ビジネス要件

Litwareは、次のビジネス要件を識別します。

すべてのAzureデプロイメントで99.99%の可用性のSLAを満たします。

SERVER1データベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑えます。

ワークロードをAzureに移行する場合は、Azureハイブリッド使用のメリットを利用してください。

すべての要件が満たされたら、可能な限りコストを最小限に抑えます。

最新問題: 45

SERVER1データベースの移行を計画しています。ソリューションはビジネス要件を満たす必要があります。

移行計画には何を含める必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Azure Database Migration Service pricing tier:

▼

Standard 2-vCore

Standard 4-vCore

Premium 4-vCore

Required Azure resource:

▼

A virtual network that has service endpoints

A VPN gateway

An Azure Logic app

Answer:

Azure Database Migration Service pricing tier:

Standard 2-vCore
Standard 4-vCore
Premium 4-vCore

Required Azure resource:

A virtual network that has service endpoints
A VPN gateway
An Azure Logic app

参照 :

<https://azure.microsoft.com/pricing/details/database-migration/>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/dms/tutorial-sql-server-azure-sql-online>

最新問題: 46

ResourceGroup1という名前のリソースグループ内の同じAzureSQLデータベースサーバー上に複数のAzureSQLデータベースがあります。データベースのCPU使用率が80%を超えると、アラートを受け取る必要があります。このソリューションは、AzureSQLサーバーで作成される追加のデータベースに適用する必要があります。

アラートを作成するには、どのリソースタイプを使用する必要がありますか？

- A. リソースグループ
- B. SQL Server
- C. SQLデータベース
- D. SQL仮想マシン

Answer: C ([メッセージを残す](#))

セクション {なし}

Explanation:

アプリケーションコード、コンピューティングインフラストラクチャ、ネットワーク、ストレージ+データベースに関連するリソースタイプがあります。

各リソースグループには、リソースタイプの最大800のインスタンスをデプロイできます。

一部のリソースは、リソースグループの外部に存在できます。これらのリソースは、サブスクリプション、管理グループ、またはテナントに展開されます。これらのスコープでは、特定のリソースタイプのみがサポートされています。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-resource-manager/management/resource-providers-and-types>

有効な **DP-300** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **DP-300** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (**41030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 47

ドラッグドロップ

Microsoft Azureでマネージドデータウェアハウスソリューションを作成しています。
PolyBaseを使用して、寄木細工の形式で存在するAzure Blobストレージからデータを取得し、そのデータをFactSalesOrderDetailsという大きなテーブルに読み込む必要があります。
データを受信するには、Azure Synapse Analyticsを構成する必要があります。
順番に実行する必要がある4つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。
選択して配置：

Actions

Create an external data source for Azure Blob storage.

Create a master key on database.

Enable Transparent Data Encryption.

Create the external table FactSalesOrderDetails.

Load the data to a staging table.

Create an external file format to map the parquet files.

Answer Area

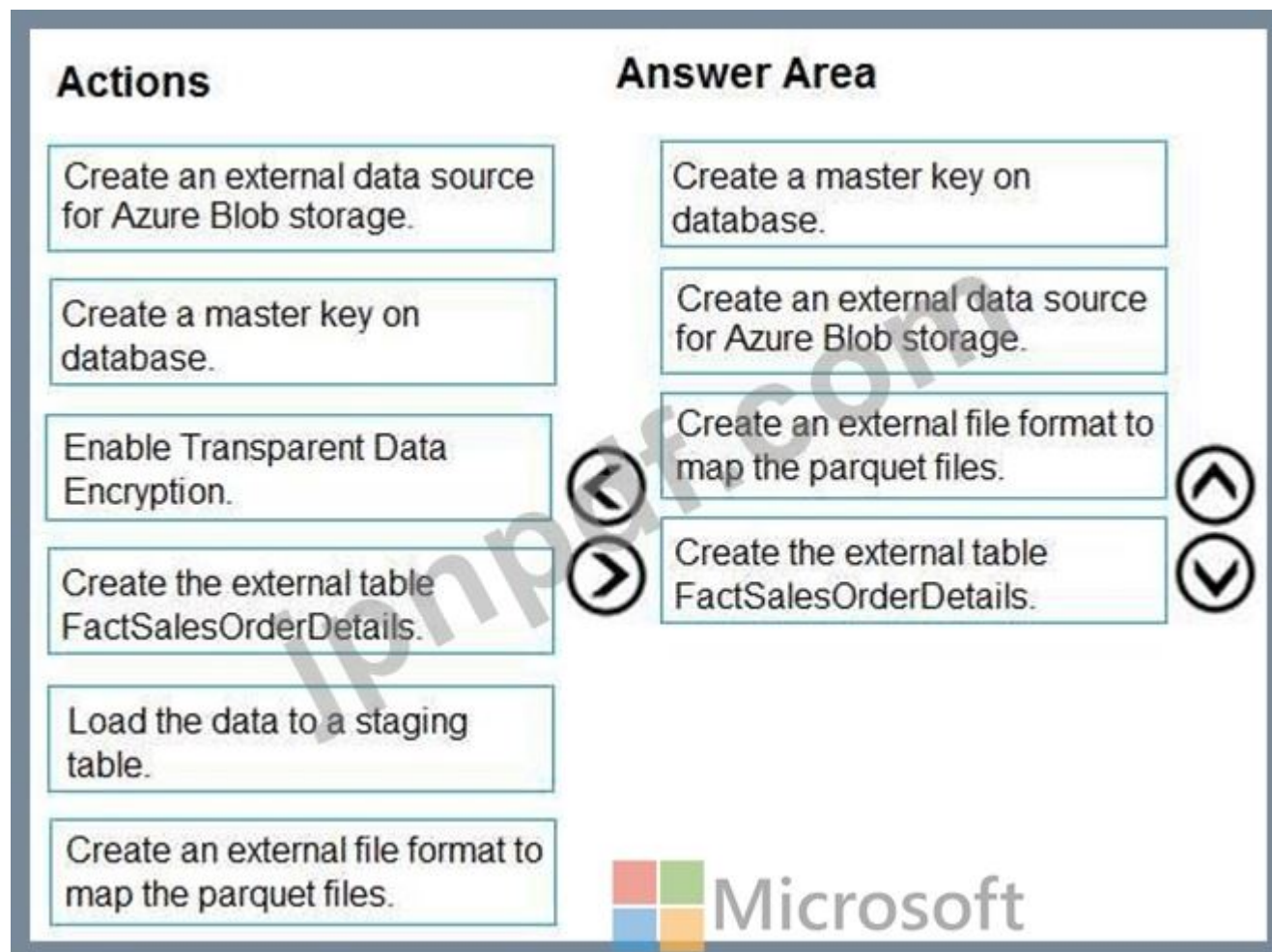
⬅

➡

⬆

⬆

Answer:



セクション [なし]

Explanation:

Hadoopデータソースのデータをクエリするには、Transact-SQLクエリで使用する外部テーブルを定義する必要があります。次の手順では、外部テーブルを構成する方法について説明します。

ステップ1 :データベースにマスターキーを作成します。

1. データベースにマスターキーを作成します。クレデンシャルシークレットを暗号化するには、マスターキーが必要です。
(Azure BLOBストレージのデータベーススコープのクレデンシャルを作成します。)

手順2 : AzureBlobストレージの外部データソースを作成します。

2. CREATE EXTERNALDATASOURCEを使用して外部データソースを作成します。

ステップ3 : 寄木細工のファイルをマップするための外部ファイル形式を作成します。

3. CREATE EXTERNALFILEFORMATを使用して外部ファイル形式を作成します。

ステップ4. 外部テーブルFactSalesOrderDetailsを作成します

4. CREATE EXTERNAL TABLEを使用して、Azureストレージに格納されているデータを指す外部テーブルを作成します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/polybase/polybase-configure-azure-blob-storage>

最新問題: 48

Db1という名前のデータベースを含むAzure仮想マシン上にSQLServerがあります。

Db1の自動チューニングを有効にする必要があります。

どのようにステートメントを完成させる必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切な回答を選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

ALTER DATABASE [Db1]

SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=OFF)
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=ON)
SET AUTOMATIC_TUNING=OFF
SET QUERY_STORE=OFF
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_ONLY)
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_WRITE)

GO

ALTER DATABASE [Db1]

SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=OFF)
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=ON)
SET AUTOMATIC_TUNING=OFF
SET QUERY_STORE=OFF
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_ONLY)
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_WRITE)

GO

Answer:

ALTER DATABASE [Db1]

SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=OFF)
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=ON)
SET AUTOMATIC_TUNING=ON
SET QUERY_STORE=OFF
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_ONLY)
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_WRITE)

GO

ALTER DATABASE [Db1]

SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=OFF)
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=ON)
SET AUTOMATIC_TUNING=ON
SET QUERY_STORE=OFF
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_ONLY)
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_WRITE)

GO

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/automatic-tuning-enable>

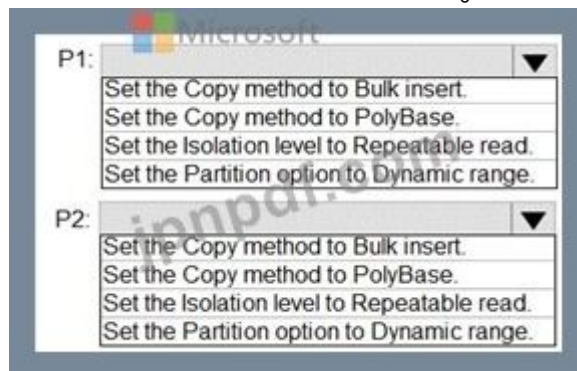
最新問題: 49

ADF1という名前のAzureDataFactoryインスタンスと、WS1およびWS2という名前の2つのAzureSynapseAnalyticsワークスペースがあります。

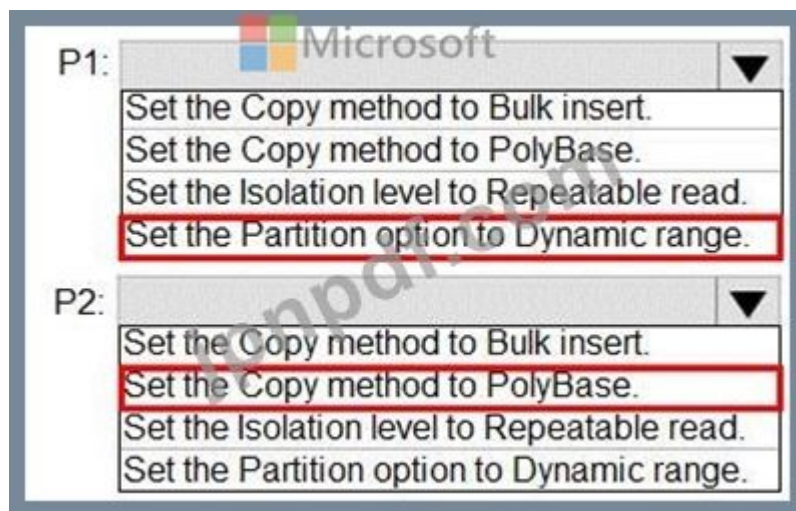
ADF1には、次のパイプラインが含まれています。

P1 :コピーアクティビティを使用して、WS1の専用SQLプール内のパーティション化されていないテーブルからAzure Data Lake Storage Gen2アカウントにデータをコピーします。P2 :コピーアクティビティを使用して、Azure Data LakeStorageGen2アカウント内のテキスト区切りファイルからデータをコピーします。WS2の専用SQLプール内のパーティション化されていないテーブルへ並列処理とパフォーマンスを最大化するには、P1とP2を構成する必要があります。

各パイプラインのコピーアクティビティに対してどのデータセット設定を構成する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。



Answer:



参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/data-factory/connector-azure-sql-data-warehouse>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/data-factory/load-azure-sql-data-warehouse>

最新問題: 50

さまざまな量のデータを取り込むストリーミングデータソリューションを設計しています。

作成後にパーティション数を変更できることを確認する必要があります。

データを取り込むためにどのサービスを使用する必要がありますか？

- A. Azure Event Hubs Standard
- B. Azure Stream Analytics
- C. Azure Data Factory
- D. 専用のAzureイベントハブ

Answer: (解答を表示する)

専用のイベントハブクラスター内のイベントハブのパーティション数は、イベントハブの作成後に増やすことができます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/event-hubs/event-hubs-features#partitions>

最新問題: 51

Azureに移行した後、ManufacturingSQLDb1の構成を推奨する必要があります。ソリューションはビジネス要件を満たす必要があります。推奨事項には何を含める必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Quorum model:

▼
Cloud witness
Disk witness
File share witness

Azure resource for the availability group listener:



▼
Azure Application Gateway
Azure Basic Load Balancer

Answer:

Quorum model:

Microsoft ▼
Cloud witness
Disk witness
File share witness

Azure resource for the availability group listener:

▼
Azure Application Gateway
Azure Basic Load Balancer

参照：

<https://technet.microsoft.com/windows-server-docs/failover-clustering/deploy-cloud-witness>

https://azure.microsoft.com/en-us/support/legal/sla/load-balancer/v1_0/

最新問題: 52

注：この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。の各質問

このシリーズには、定められた目標を達成する可能性のある独自のソリューションが含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がありますが、他の人は正しい解決策を持っていない可能性があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。結果として、これらは質問はレビュー画面に表示されません。

Server1とServer2という名前の2つのAzureSQLデータベースサーバーがあります。各サーバーにはAzureSQLが含まれています Database1という名前のデータベース。

Database1をServer1からServer2に復元する必要があります。ソリューションは、上の既存のDatabase1を置き換える必要がありますサーバー2。

解決策 :RESTORETransact-SQLコマンドを使用して、Database1をServer1からServer2に復元します。

およびREPLACEオプション。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

Answer: A (メッセージを残す)

セクション [なし]

Explanation:

REPLACEオプションは、復元が通常実行するいくつかの重要な安全性チェックをオーバーライドします。オーバーライドされますチェックは次のとおりです。

*別のデータベースのバックアップを取得して既存のデータベースを復元する。

REPLACEオプションを使用すると、復元により、既存のデータベースを任意のデータベースで上書きできます。

指定されたデータベース名がバックアップに記録されたデータベース名と異なる場合でも、バックアップセット設定。これにより、データベースが別のデータベースによって誤って上書きされる可能性があります。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/statements/restore-statements-transact-sql>

最新問題: 53

Azure仮想マシンでホストされているSQLServerデータベースのデータベースバックアップソリューションを構築しています。

Azureの地域が停止した場合は、データベースのバックアップを復元できる必要があります。ソリューションはコストを最小限に抑える必要があります。

バックアップにはどのタイプのストレージアカウントを使用する必要がありますか？

A. ローカル冗長ストレージ (LRS)

B. 読み取りアクセス地理冗長ストレージ (RA-GRS)

C. ゾーン冗長ストレージ (ZRS)

D. 地理的冗長ストレージ

Answer: B (メッセージを残す)

セクション [なし]

Explanation:

地理的冗長ストレージ (GRSまたはGZRSを使用)は、データをセカンダリリージョン内の別の物理的な場所に複製して、リージョンの停止から保護します。ただし、そのデータは、お客様またはMicrosoftがプライマリリージョンからセカンダリリージョンへのフェイルオーバーを開始した場合にのみ読み取ることができます。セカンダリリージョンへの読み取りアクセスを有効にすると、プライマリリージョンが使用できなくなった場合にデータを読み取ることができます。セカンダリリージョンへの読み取りアクセスの場合は、読み取りアクセス地理冗長ストレージ (RA-GRS)または読み取りアクセス地理ゾーン冗長ストレージ (RA-GZRS)を有効にします。

不正解：

A :ローカル冗長ストレージ (LRS)は、プライマリリージョンの単一の物理的な場所にデータを同期的に3回コピーします。LRSは最も安価なレプリケーションオプションですが、高可用性を必要とするアプリケーションにはお勧めしません。

C :ゾーン冗長ストレージ (ZRS)は、プライマリリージョンの3つのAzureアベイラビリティゾーン間でデータを同期的にコピーします。

D：地理的冗長ストレージ（GRSまたはGZRSを使用）は、地域の停止から保護するために、データをセカンダリリージョンの別の物理的な場所に複製します。ただし、そのデータは、お客様またはMicrosoftがプライマリリージョンからセカンダリリージョンへのフェイルオーバーを開始した場合にのみ読み取ることができます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/storage/common/storage-redundancy>

最新問題: 54

AzureSQLデータベースがあります。

次の展示に示すように、クエリと関連する実行プランがあります。



ドロップダウンメニューを使用して、図に示されている情報に基づいて各ステートメントを完了する回答の選択肢を選択します。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

The performance issue stems from the **[answer choice]** operator.

	▼
Select	
Index Seek	
Key Lookup	
Nested Loops	

The performance issue can be resolved by adding include columns to the **[answer choice]**.

	▼
heap	
clustered index	
nonclustered index	

Answer:

The performance issue stems from the **[answer choice]** operator.

The performance issue can be resolved by adding include columns to the **[answer choice]**.

Select

- Index Seek
- Key Lookup**
- Nested Loops

heap

- clustered index
- nonclustered index**

最新問題: 55

user1@contoso.comという名前のユーザーとSQLMI1という名前のAzureSQL管理対象インスタンスを含むcontoso.comという名前のAzureActiveDirectory (Azure AD) テナントがあります。

user1@contoso.comがAzureADサービスプリンシパルにマップするログインをSQLMI1に作成できることを確認する必要があります。順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

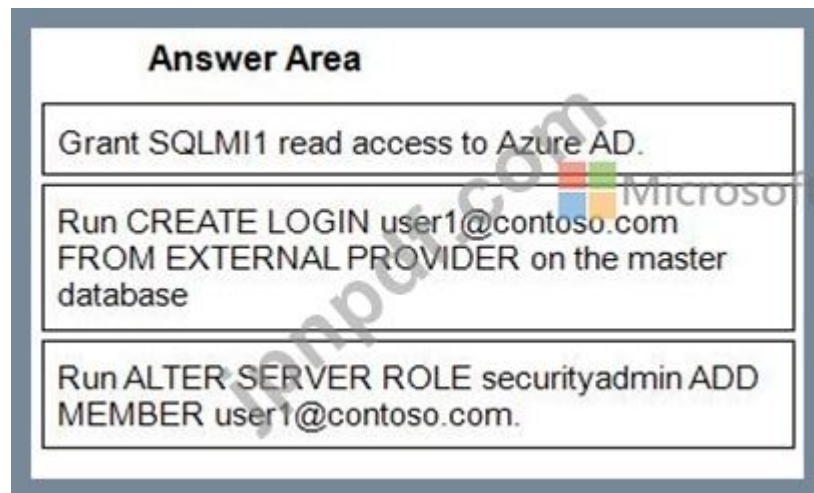
- Run CREATE LOGIN user1@contoso.com FROM EXTERNAL PROVIDER on the master database.
- Run ALTER SERVER ROLE securityadmin ADD MEMBER user1@contoso.com.
- Create a managed identity for SQLMI1.
- Grant SQLMI1 read access to Azure AD.
- Run CREATE USER user1@contoso.com FROM LOGIN user1@contoso.com.

Answer Area

Microsoft

Navigation icons: left arrow, right arrow, up arrow, down arrow.

Answer:



1-SQLMI1にAzureADへの読み取りアクセスを許可します。

2-マスターデータベースでCREATELOGINuser1@contoso.com FROMEXTERNALPROVIDERを実行します

3-ALTER SERVER ROLE securityadmin ADDMEMBERuser1@contoso.comを実行します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/managed-instance/aad-security-configure-tutorial>

最新問題: 56

次のAzureDataFactoryパイプラインがあります。

- * System1からデータを取り込む
- * System2からデータを取り込む
- * 寸法を入力します
- * 事実を入力します

System1からのデータの取り込みとSystem2からのデータの取り込みには依存関係がありません。ディメンションの取り込みは、System1からのデータの取り込みとSystem2からのデータの取り込みの後に実行する必要があります。Populate Factsは、PopulateDimensionsパイプラインの後に実行する必要があります。すべてのパイプラインは8時間ごとに実行する必要があります。

パイプラインの実行をスケジュールするにはどうすればよいですか？

- A. 4つのパイプラインすべてにスケジュールトリガーを追加します。
- B. 4つのパイプラインすべてにイベントトリガーを追加します。
- C. 4つのパイプラインを含む親パイプラインを作成し、イベントトリガーを使用します。
- D. 4つのパイプラインを含む親パイプラインを作成し、スケジュールトリガーを使用します。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

セクション {なし}

説明/参照：

<https://www.mssqltips.com/sqlservertip/6137/azure-data-factory-control-flow-activities-overview/>

最新問題: 57

DB1という名前のAzureSQLデータベースがあります。DB1の自動チューニング オプションは、次の図に示すように構成されています。

 Azure SQL Database built-in intelligence automatically tunes your databases to optimize performance. Click here to learn more about automatic tuning. 

Inherit from: 

 The database is inheriting automatic tuning configuration from Azure defaults.

Configure the automatic tuning options 

OPTION	DESIRED STATE	CURRENT STATE
 FORCE PLAN	ON OFF <input checked="" type="button" value="INHERIT"/>	ON Auto-configured by Azure
 CREATE INDEX	ON OFF <input checked="" type="button" value="INHERIT"/>	ON Auto-configured by Azure
 DROP INDEX	<input checked="" type="button" value="ON"/> OFF INHERIT	ON Forced by user

次の各ステートメントについて、ステートメントがtrueの場合は、[はい]を選択します。それ以外の場合は、[いいえ]を選択します。
注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Statements	Yes	No
Nonclustered indexes will be added to tables to improve performance.	☐	☐
Columns will be added to existing indexes automatically.	☐	☐
The query execution plan will revert to a previous plan if query performance degrades.	☐	☐

Answer:

Statements	Yes	No
Nonclustered indexes will be added to tables to improve performance.	☒	☐
Columns will be added to existing indexes automatically.	☐	☒
The query execution plan will revert to a previous plan if query performance degrades.	☒	☐

Explanation:

ボックス1 :はい

次のように表示されます。チューニングオプション :インデックスの作成ON

CREATE INDEX-ワークロードのパフォーマンスを向上させる可能性のあるインデックスを識別し、インデックスを作成し、クエリのパフォーマンスが向上したことを自動的に検証します。

ボックス2 :いいえ

ボックス3 :はい

FORCE LAST GOOD PLAN（自動プラン修正）-以前のグッドプランよりも遅い実行プランを使用してAzure SQLクエリを識別し、リグレッションプランの代わりに最後の既知のグッドプランを使用してクエリを識別します。

最新問題: 58

ホットスポット

Azure Data LakeStorageGen2コンテナがあります。

データはコンテナに取り込まれ、データ統合アプリケーションによって変換されます。その後、データは変更されません。ユーザーはコンテナ内のファイルを読み取ることはできますが、ファイルを変更することはできません。

次の要件を満たすデータアーカイブソリューションを設計する必要があります。

*新しいデータは頻繁にアクセスされるため、できるだけ早く利用できるようにする必要があります。

* 5年以上前のデータへのアクセスはまれですが、要求された場合は1秒以内に利用可能である必要があります。

※7年以上経過したデータはアクセスできません。7年後、データは可能な限り低いコストで永続化する必要があります。

*必要な可用性を維持しながら、コストを最小限に抑える必要があります。

データをどのように管理する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

ホットエリア：

Answer Area

Microsoft

Five-year-old data:

Delete the blob.

Move to archive storage.

Move to cool storage.

Move to hot storage.

Seven-year-old data:

Delete the blob.

Move to archive storage.

Move to cool storage.

Move to hot storage.

Answer:

Answer Area

Five-year-old data:

Delete the blob.

Move to archive storage.

Move to cool storage.

Move to hot storage.

Seven-year-old data:

Delete the blob.

Move to archive storage.

Move to cool storage.

Move to hot storage.

セクション [なし]

Explanation:

ボックス1 :クールストレージに移動

クールアクセス層は、ホットストレージと比較して、ストレージコストが低く、アクセスコストが高くなります。この層は、少なくとも30日間クール層にとどまるデータを対象としています。クールアクセス層の使用シナリオの例は次のとおりです。

短期バックアップと災害復旧

古いデータは頻繁には使用されませんが、アクセスするとすぐに利用できるかと予想されます。コスト効率よく保存する必要がある大きな

データセット。将来の処理のためにより多くのデータが収集されます。注 :ホット頻繁にアクセスされるデータを保存するために最適化されています。

クールアクセス頻度が低く、少なくとも30日間保存されるデータを保存するために最適化されています。

アーカイブアクセスがほとんどなく、少なくとも180日間保存されるデータを保存するように最適化されており、時間単位の柔軟な遅延要件があります。

ボックス2 :アーカイブストレージに移動

アーカイブアクセス層の使用シナリオの例は次のとおりです。

長期バックアップ、セカンダリバックアップ、およびアーカイブデータセット

最終的に使用可能な形式に処理された後でも保存する必要のある元の（生データ長期間保存する必要があり、ほとんどアクセスされないコンプライアンスおよびアーカイブデータ参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/storage/blobs/storage-blob-storage-tiers>

最新問題: 59

トランザクションデータの分析ストレージソリューションを設計する必要があります。ソリューションは、販売トランザクションデータセットの要件を満たす必要があります。

ソリューションに何を含める必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注 : 正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



Answer:



最新問題: 60

DB1という名前のデータベースを含むAzure仮想マシン上にSQLServerがあります。

クエリ1178902の各実行の期間をミリ秒単位で示す計画の概要を次のように表示します。

次の展示に示されています。



クエリが最小量で実行される実行プランを使用するようにするには、どうすればよいですか
時間？

- A. プラン1221065のクエリ実行プランを強制します。
- B. DBCCFREEPROCCACHEコマンドを実行します。
- C. プラン1220917のクエリ実行プランを強制します。
- D. パラメータスニффイングを無効にします。

Answer: ([解答を表示する](#))

セクション [なし]

説明/参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/performance/query-store-usage-scenarios>

最新問題: 61

Azure Data LakeStorageGen2コンテナがあります。

データはコンテナに取り込まれ、データ統合アプリケーションによって変換されます。その後、データは変更されません。ユーザーはコンテナ内のファイルを読み取ることはできますが、ファイルを変更することはできません。

次の要件を満たすデータアーカイブソリューションを設計する必要があります。

新しいデータは頻繁にアクセスされるため、できるだけ早く利用できる必要があります。

5年以上前のデータへのアクセスはまれですが、要求された場合は1秒以内に利用可能である必要があります。

7年以上経過したデータにはアクセスしません。7年後、データは可能な限り低いコストで永続化する必要があります。

必要な可用性を維持しながら、コストを最小限に抑える必要があります。

データをどのように管理する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Five-year-old data: ▼

- Delete the blob.
- Move to archive storage.
- Move to cool storage.
- Move to hot storage.

Seven-year-old data: ▼

- Delete the blob.
- Move to archive storage.
- Move to cool storage.
- Move to hot storage.

Answer:

Five-year-old data: Microsoft ▼

- Delete the blob.
- Move to archive storage.
- Move to cool storage.
- Move to hot storage.

Seven-year-old data: ▼

- Delete the blob.
- Move to archive storage.
- Move to cool storage.
- Move to hot storage.

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/storage/blobs/storage-blob-storage-tiers>

有効な **DP-300** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **DP-300** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (410**30%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: **62**

ドラッグドロップ

Azure仮想マシンを構築しています。
2つの1-TiB、P30プレミアムストレージディスクを仮想マシンに割り当てます。各ディスクは5,000IOPSを提供します。
MicrosoftSQLServerのオンプレミスインスタンスを仮想マシンに移行することを計画しています。インスタンスには、1.2TiBデータファイルを含むデータベースがあります。データベースには10,000IOPSが必要です。
データベースをサポートするには、仮想マシンのストレージを構成する必要があります。
どの3つのオブジェクトを順番に作成する必要がありますか？回答するには、適切なオブジェクトをオブジェクトのリストから回答領域に移動し、正しい順序で配置します。
選択して配置：

Actions

a virtual disk that uses the stripe layout

a virtual disk that uses the mirror layout

a volume

a virtual disk that uses the simple layout

a storage pool

Answer Area

Answer:

Actions

a virtual disk that uses the stripe layout

a virtual disk that uses the mirror layout

a volume

a virtual disk that uses the simple layout

a storage pool

Answer Area

a storage pool

a virtual disk that uses the stripe layout

a volume

セクション [なし]
Explanation:

次の同じ手順に従って、ストライプ仮想ディスクを作成します。

*ログストレージプールを作成します。

*仮想ディスクを作成する

*ボリュームを作成

ボックス1 :ストレージプール

ボックス2 :ストライプレイアウトを使用する仮想ディスク

ディスクストライピング：複数のディスクを使用し、それらを一緒にストライプ化して、IOPSとスループットの制限を組み合わせで高くします。

VMごとの合計制限は、接続されているプレミアムディスクの合計制限よりも高くする必要があります。

ボックス3 :ボリューム

参照：

<https://hanu.com/hanu-how-to-striping-of-disks-for-azure-sql-server/>

最新問題: 63

Webサイト分析システムから、ダウンロード、リンククリック、フォーム送信、ビデオ再生などのユーザーインタラクションに関するデータ抽出を受け取ります。

データには次の列が含まれています。

Name	Sample value
Date	15 Jan 2021
EventCategory	Videos
EventAction	Play
EventLabel	Contoso Promotional
ChannelGrouping	Social
TotalEvents	150
UniqueEvents	120
SessionsWithEvents	99

データの分析クエリをサポートするスタースキーマを設計する必要があります。スタースキーマには、日付ディメンションを含む4つのテーブルが含まれます。

各列をどのテーブルに追加する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Microsoft

EventCategory: ▼

- DimChannel
- DimDate
- DimEvent
- FactEvents

ChannelGrouping: ▼

- DimChannel
- DimDate
- DimEvent
- FactEvents

TotalEvents: ▼

- DimChannel
- DimDate
- DimEvent
- FactEvents

Answer:

Microsoft

EventCategory: ▼

- DimChannel
- DimDate
- DimEvent
- FactEvents

ChannelGrouping: ▼

- DimChannel
- DimDate
- DimEvent
- FactEvents

TotalEvents: ▼

- DimChannel
- DimDate
- DimEvent
- FactEvents

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/power-bi/guidance/star-schema>

最新問題: 64

ゲームデータを取得するためのAzureStreamAnalyticsジョブを構築しています。

各ゲームの5分間隔ごとに、ジョブが最高スコアのレコードを返すようにする必要があります。

Stream Analyticsクエリをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

SELECT as HighestScore

Collect(Score)
CollectTop(1)OVER(ORDER BY Score Desc)
Game, MAX(Score)
TopOne() OVER(PARTITION BY Game ORDER BY Score Desc)

FROM input TIMESTAMP BY CreatedAt

GROUP BY

Game
Hopping(minute, 5)
Tumbling(minute, 5)
Windows(TumblingWindow(minute, 5), Hopping(minute, 5))

Answer:

SELECT as HighestScore

Collect(Score)
CollectTop(1)OVER(ORDER BY Score Desc)
Game, MAX(Score)
TopOne() OVER(PARTITION BY Game ORDER BY Score Desc)

FROM input TIMESTAMP BY CreatedAt

GROUP BY

Game
Hopping(minute, 5)
Tumbling(minute, 5)
Windows(TumblingWindow(minute, 5), Hopping(minute, 5))

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/stream-analytics-query/topone-azure-stream-analytics>

<https://github.com/MicrosoftDocs/azure-docs/blob/master/articles/stream-analytics/stream-analytics-window-functions.md>

最新問題: 65

VNet1という名前の仮想ネットワーク上にVM1という名前のAzure仮想マシンがあります。

VM1からインターネットへのアウトバウンドトラフィックはブロックされます。

SqlSrv1という名前の論理サーバー上にSqlDb1という名前のAzureSQLデータベースがあります。

次の要件を満たすには、VM1とSqlDb1の間に接続を実装する必要があります。

SqlSrv1のパブリックエンドポイントへのすべてのトラフィックがブロックされていることを確認します。

VM1がSqlDb1に保存されているデータを盗み出す可能性を最小限に抑えます。

VNet1で何を作成する必要がありますか？

- A. VPNゲートウェイ
- B. サービスエンドポイント
- C. プライベートリンク
- D. ExpressRouteゲートウェイ

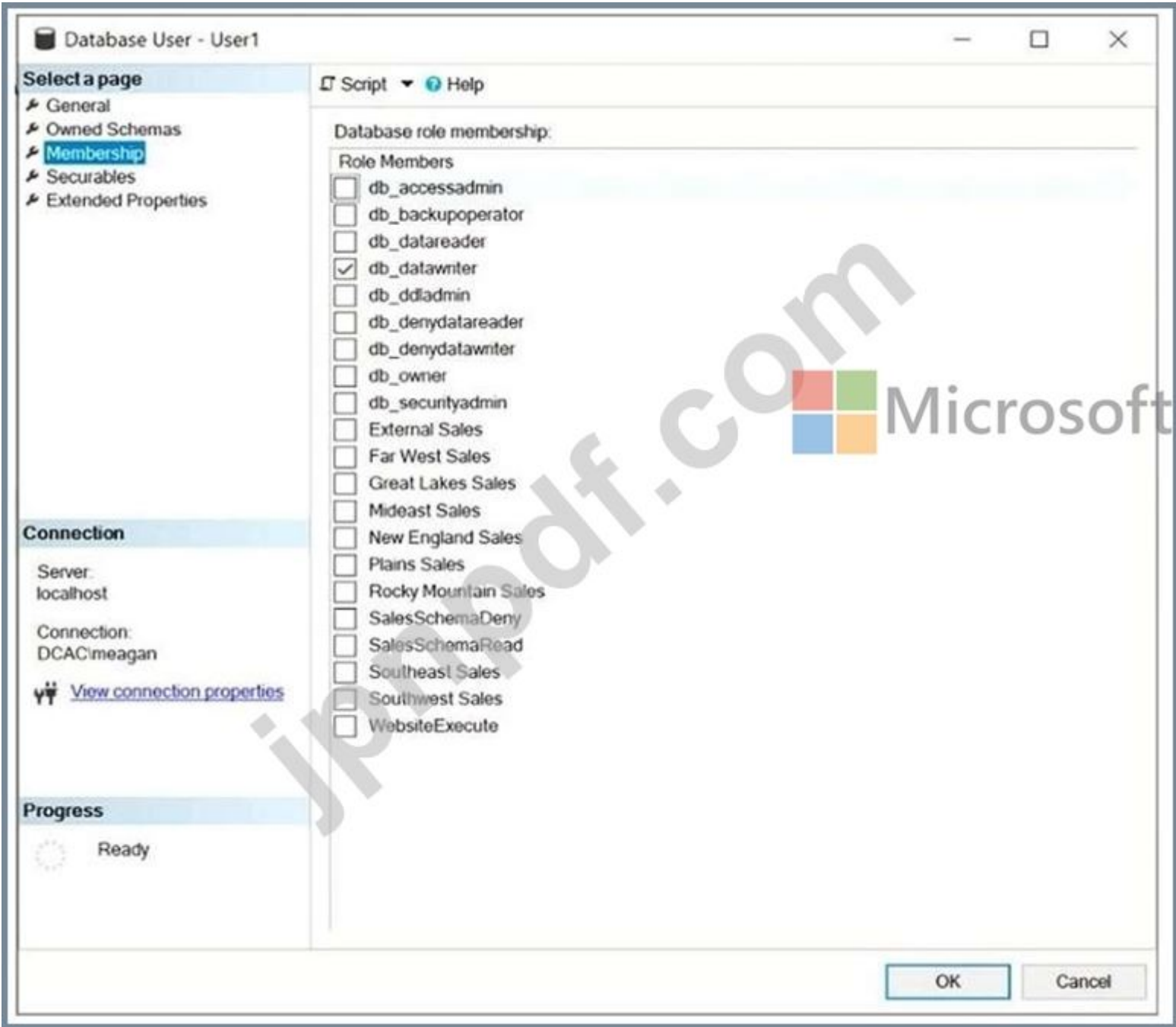
Answer: C ([メッセージを残す](#))

Azure Private Linkを使用すると、仮想ネットワークのプライベートエンドポイントを介して、Azure PaaSサービス（Azure StorageやSQLデータベースなど）およびAzureがホストする顧客所有/パートナーサービスにアクセスできます。仮想ネットワークとサービス間のトラフィックは、Microsoftバックボーンネットワークを通過します。サービスをパブリックインターネットに公開する必要はなくなりました。

参照：
<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/private-link/private-link-overview>

最新問題: 66
ホットスポット

Table1という名前のテーブルを含むDB1という名前のMicrosoftSQLServerデータベースがあります。次の展示では、User1という名前のユーザーのデータベースロールメンバーシップを示しています。



ドロップダウンメニューを使用して、図に示されている情報に基づいて各ステートメントを完了する回答の選択肢を選択します。
注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

ホットエリア：



User1 can [answer choice].

	▼
add a column to Table1	
delete a row from Table1	
delete Table1	

To ensure that User1 can run queries to retrieve data from DB1, you must assign User1 the [answer choice] database role.

	▼
db_datareader	
db_ddladmin	
db_denydatareader	
db_denydatawriter	

Answer:

Answer Area

User1 can [answer choice].

	▼
add a column to Table1	
delete a row from Table1	
delete Table1	

To ensure that User1 can run queries to retrieve data from DB1, you must assign User1 the [answer choice] database role.

	▼
db_datareader	
db_ddladmin	
db_denydatareader	
db_denydatawriter	

セクション [なし]

Explanation:

ボックス1 :Table1から行を削除します

db_datawriter固定データベースロールのメンバーは、すべてのユーザーテーブルのデータを追加、削除、または変更できます。

ボックス2 :db_datareader

db_datareader固定データベースロールのメンバーは、すべてのユーザーテーブルからすべてのデータを読み取ることができます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/security/authentication-access/database-level-roles>

最新問題: 67

DB1という名前のデータベースを含むAzure仮想マシン上にSQLServerがあります。

データベースはチェックサムエラーを報告します。

データベースを回復する必要があります。

どのようにステートメントを完成させる必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

USE master;

ALTER DATABASE [DB1] SET

▼

WITH ROLLBACK IMMEDIATE;

GO

OFFLINE

ONLINE

SINGLE_USER

TRUSTWORTHY

DBCC CHECKDB ('DB1',

▼

WITH NO_INFOMSGS;

GO

MOINDEX

PHYSICAL_ONLY

REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS

REPAIR_FAST

ALTER DATABASE [DB1] SET

▼

GO

MULTI_USER;

ONLINE;

OPEN;

TRUSTWORTHY;

Microsoft

Answer:

USE master;

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

▼
OFFLINE
ONLINE
SINGLE_USER
TRUSTWORTHY

WITH ROLLBACK IMMEDIATE

DBCC CHECKDB ('DB1',

GO

▼
MOINDEX
PHYSICAL_ONLY
REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS
REPAIR_FAST

WITH NO_INFOMSGS;



ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

▼
MULTI_USER;
ONLINE;
OPEN;
TRUSTWORTHY;

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/database-console-commands/dbcc-checkdb-transact-sql>

最新問題: 68

server1という名前のサーバー上にdb1という名前のAzureSQLデータベースがあります。

Intelligent Insights診断ログは、tempDBの競合が原因でパフォーマンスの問題を引き起こすクエリを識別します。

パフォーマンスの問題を解決する必要があります。

あなたは何をするべきか？

- A. メモリ最適化テーブルを実装します。
- B. dbccflushprocindBコマンドを実行します。
- C. シーケンシャルインデックスキーを非シーケンシャルキーに置き換えます。
- D. dbccdbreindexコマンドを実行します。

Answer: ([解答を表示する](#))

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/intelligent-insights-troubleshoot-performance#tempdb-contention>

最新問題: 69

Salesというデータベース名を含むsqldbmi1という名前のAzureSQLDatabaseマネージドインスタンスがあります。

Salesのバックアップを開始する必要があります。

Transact-SQLステートメントをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Microsoft

BACKUP DATABASE Sales

▼

TO DISK = \\BackupSystem\BackupDisk1\Sales.bak'

TO DISK = 'X:\BAK\Sales.bak'

TO 'Sales_Backup'

TO URL = 'https://storage1.blob.core.windows.net/blob1/Sales.bak'

WITH STATS = 5,

▼

WITH COPY_ONLY;

WITH ENCRYPTION;

WITH FILE_SNAPSHOT;

WITH NO_TRUNCATE

Answer:

Microsoft

BACKUP DATABASE Sales

▼

TO DISK = \\BackupSystem\BackupDisk1\Sales.bak'

TO DISK = 'X:\BAK\Sales.bak'

TO 'Sales_Backup'

TO URL = 'https://storage1.blob.core.windows.net/blob1/Sales.bak'

WITH STATS = 5,

▼

WITH COPY_ONLY;

WITH ENCRYPTION;

WITH FILE_SNAPSHOT;

WITH NO_TRUNCATE

参照：

<https://techcommunity.microsoft.com/t5/azure-sql-database/native-database-backup-in-azure-sql-managed-instance/ba-p/386154>

最新問題: 70

30の新しいデータベースに適切な購入モデルと展開オプションを推奨する必要があります。ソリューションは、技術要件とビジネス要件を満たしている必要があります。

何をお勧めしますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Purchasing model: ▼

Azure virtual machine reserved instances
DTU
vCore

Deployment option: ▼

An Azure SQL Database elastic pool
An Azure SQL Database managed instance
A SQL Server Always On availability group

Answer:

Purchasing model: ▼

Azure virtual machine reserved instances
DTU
vCore

Deployment option: ▼

An Azure SQL Database elastic pool
An Azure SQL Database managed instance
A SQL Server Always On availability group

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/elastic-pool-overview>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/reserved-capacity-overview>

最新問題: 71

あなたの会社はAzureStreamAnalyticsを使用してデバイスを監視しています。

同社は、監視対象のデバイスの数を2倍にすることを計画しています。

追加の負荷を処理するのに十分な処理リソースがあることを確認するために、StreamAnalyticsジョブを監視する必要があります。

どのメトリックを監視する必要がありますか？

- A. 入力逆シリアル化エラー
- B. 遅延入力イベント
- C. 初期入力イベント
- D. 透かしの遅延

Answer: D (メッセージを残す)

ウォーターマーク遅延メトリックは、処理ノードの実時間からこれまでに見た最大のウォーターマークを引いたものとして計算されます。

透かし遅延メトリックは、次の理由で上昇する可能性があります。

1. 入力イベントの量を処理するのに十分なStreamAnalyticsの処理リソースがありません。
2. 入力イベントブローカー内のスループットが十分でないため、それらは抑制されます。

3.出力シンクには十分な容量がプロビジョニングされていないため、スロットルされます。
参照：
<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/stream-analytics/stream-analytics-time-handling>

最新問題: 72

次のTransact-SQLクエリがあります。

```
[file_id] AS [File ID],
[type] AS [File Type],
substring([physical_name], 1,1) AS [Drive],
[name] AS [Logical Name],
[physical_name] AS [Physical Name],
CAST([size] as DECIMAL(38,0))/128.0 AS [ColumnA],
CAST(FILEPROPERTY([name], 'SpaceUsed') AS DECIMAL(38,0))/128.0 AS
ColumnB],
(CAST([size] AS DECIMAL(38,0))/128.0) - (CAST(FILEPROPERTY([name]
SpaceUsed') AS DECIMAL (38,0))/128.0) AS [ColumnC],
[max_size] AS [ColumnD],
[is_percent_growth] AS [Percent Growth Enabled],
[growth] AS [Growth Rate],
SYSDATETIME() AS [Current Date]
FROM sys.database_files;
```

クエリによって返される列のうち、各ファイルの空き領域を表すのはどれですか？

- A. ColumnA
- B. ColumnB
- C. ColumnC
- D. ColumnD

Answer: C ([メッセージを残す](#))

例：
以下のクエリ結果セットのファイルの空き領域は、FreeSpaceMB列によって返されます。
SELECT DB_NAME (AS DbName、
名前ASFileName、
type_desc、
サイズ/128.0AS CurrentSizeMB、
サイズ/128.0-CAST (FILEPROPERTY (name、'SpaceUsed')AS INT)/ 128.0 AS FreeSpaceMB FROM sys.database_files WHERE type
IN (0,1); 参照：
<https://www.sqlshack.com/how-to-determine-free-space-and-file-size-for-sql-server-databases/>

最新問題: 73

Customerという名前のテーブルを含むAzureSQLデータベースがあります。顧客には、次の表に示す列があります。

Customer_ID	Customer_Name	Customer_Phone
11001	Contoso, Ltd.	555-555-0173
11002	Litware, Inc.	555-505-3124
11003	ADatum Corporation	555-689-4312

Customer_Phone列に動的データマスクを実装することを計画しています。マスクは次の要件を満たしている必要があります。

*各顧客の電話番号の最初の6つの数字はマスクする必要があります。

*各顧客の電話番号の下4桁が表示されている必要があります。

*ハイフンは保持して表示する必要があります。

動的データマスクをどのように構成する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

Exposed Prefix:

▼

0

1

3

5

Padding String:

▼

X

XXXXXX

XXX-XXX

XXX-XXX-

X[3]-X[3]

 Microsoft

Exposed Suffix:

▼

0

1

3

5

Answer:

Exposed Prefix:

▼

0

1

3

5

Padding String:

▼

X

XXXXXX

XXX-XXX

XXX-XXX-

X[3]-X[3]

Exposed Suffix:

▼

0

1

3

5

Explanation:

ボックス1 :0

カスタム文字列：最初と最後の文字を公開し、中央にカスタムのパディング文字列を追加するマスキングメソッド。プレフィックス、[パディング]、サフィックスボックス2 xxx-xxxボックス3 :5参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/security/dynamic-data-masking>

最新問題: 74

PaaSプロトタイプに基づいて、どのAzure SQL Databaseコンピューティング層を使用する必要がありますか？

- A. ビジネスクリティカル4-vCore
- B. ハイパースケール
- C. 汎用v-vCore
- D. サーバーレス

Answer: A ([メッセージを残す](#))

セクション [なし]

Explanation:

PaaSプロトタイプにはCPUとデータI/Oの急増があります。ビジネスクリティカル4-vCoreが必要です。

不正解：

B :ハイパースケールは大規模なデータベース用です

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/reserved-capacity-overview>

最新問題: 75

新しいAzureSQLデータベースがあります。データベースには、機密情報を格納する列が含まれています。

列の値がクエリで返されるたびに追跡する必要があります。追跡情報は、クエリが実行された日から365日間保存する必要があります。

実行する必要がある3つのアクションはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

- A. 監査をオンにし、監査ログをAzureStorageアカウントに書き込みます。
- B. 列に拡張プロパティを追加します。
- C. AzureSQLサーバーの高度なデータセキュリティをオンにします。
- D. HighlyConfidentialという名前の感度ラベルを列に適用します。
- E. Azure Advanced Threat Protection (ATP)をオンにします。

Answer: A,C,D ([メッセージを残す](#))

C :Advanced Data Security (ADS)は、高度なSQLセキュリティ機能のための統合パッケージです。ADSは、Azure SQLデータベース、Azure SQLマネージドインスタンス、およびAzureSynapseAnalyticsで使用できます。機密データを検出および分類するための機能が含まれています。D :SQL Serverデータベースエンジンに追加された新しいメタデータ属性を使用して、機密分類ラベルを列に永続的に適用できます。このメタデータは、高度な機密性ベースの監査および保護シナリオに使用できます。

A : 情報保護パラダイムの重要な側面は、機密データへのアクセスを監視する機能です。Azure SQL Auditingが拡張さ

れ、data_sensitivity_informationという新しいフィールドが監査ログに含まれるようになりました。このフィールドは、クエリによって返されたデータの感度分類 (ラベル)をログに記録します。次に例を示します。

d	client_ip	application_name	duration_milliseconds	response_rows	affected_rows	connection	data_sensitivity_information
	7.125	Microsoft SQL Server Management Studio - Query	1	847	847	C244A066-2271-...	Confidential - GDPR
	7.125	Microsoft SQL Server Management Studio - Query	2	32	32	C244A066-2271-...	Confidential
	7.125	Microsoft SQL Server Management Studio - Query	41	32	32	A7088FD4-759E-...	Confidential, Confidential - GDPR

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/data-discovery-and-classification-overview>

最新問題: 76

次のTransact-SQLクエリがあります。

```

[file_id] AS [File ID],
[type] AS [File Type],
substring([physical_name], 1,1) AS [Drive],
[name] AS [Logical Name],
[physical_name] AS [Physical Name],
CAST([size] as DECIMAL(38,0))/128.0 AS [ColumnA],
CAST(FILEPROPERTY([name], 'SpaceUsed') AS DECIMAL(38,0))/128.0 AS
ColumnB],
(CAST([size] AS DECIMAL(38,0))/128.0) - (CAST(FILEPROPERTY([name]
SpaceUsed') AS DECIMAL (38,0))/128.0) AS [ColumnC],
[max_size] AS [ColumnD],
[is_percent_growth] AS [Percent Growth Enabled],
[growth] AS [Growth Rate],
SYSDATETIME() AS [Current Date]
FROM sys.database_files;
```

クエリによって返される列のうち、各ファイルの空き領域を表すのはどれですか？

- A. ColumnA
- B. ColumnB
- C. ColumnC
- D. ColumnD

Answer: C ([メッセージを残す](#))

セクション [なし]

Explanation:

例：

以下のクエリ結果セットのファイルの空き領域は、FreeSpaceMB列によって返されます。

SELECT DB_NAME (AS DbName、

名前ASFileName、

type_desc、

サイズ/128.0AS CurrentSizeMB、

サイズ/128.0-CAST (FILEPROPERTY (name、'SpaceUsed')AS INT)/ 128.0 AS FreeSpaceMB FROM sys.database_files WHERE type IN (0,1); 参照：

<https://www.sqlshack.com/how-to-determine-free-space-and-file-size-for-sql-server-databases/>

有効な **DP-300** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **DP-300** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (**41030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 77

Webサイト分析システムから、ダウンロード、リンククリック、フォーム送信、ビデオ再生などのユーザーインタラクションに関するデータ抽出を受け取ります。

データには次の列が含まれています。

Name	Sample value
Date	15 Jan 2021
EventCategory	Videos
EventAction	Play
EventLabel	Contoso Promotional
ChannelGrouping	Social
TotalEvents	150
UniqueEvents	120
SessionsWithEvents	99

データの分析クエリをサポートするスタースキーマを設計する必要があります。スタースキーマには、日付ディメンションを含む4つのテーブルが含まれます。

各列をどのテーブルに追加する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

EventCategory:

DimChannel

DimDate

DimEvent

FactEvents

ChannelGrouping:

DimChannel

DimDate

DimEvent

FactEvents

TotalEvents:

DimChannel

DimDate

DimEvent

FactEvents

Answer:

EventCategory: ▼
DimChannel
DimDate
DimEvent
FactEvents

ChannelGrouping: ▼
DimChannel
DimDate
DimEvent
FactEvents

TotalEvents: ▼
DimChannel
DimDate
DimEvent
FactEvents

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/power-bi/guidance/star-schema>

最新問題: 78

DB1という名前のAzureSQLデータベースがあります。

データセンターに障害が発生した場合に、DB1がデータを失うことなく自動フェイルオーバーをサポートすることを確認する必要があります。ソリューション

コストを最小限に抑える必要があります。

どの展開オプションと価格帯を構成する必要がありますか？

- A. Azure SQL Database Premium
- B. AzureSQLデータベースハイパースケール
- C. AzureSQLDatabaseマネージドインスタンスビジネスクリティカル
- D. AzureSQLデータベース標準

Answer: C ([メッセージを残す](#))

セクション {なし}

Explanation:

自動フェイルオーバーグループが必要です。SQLマネージドインスタンスは、自動フェイルオーバーグループをサポートしています。

注：自動フェイルオーバーグループ機能を使用すると、次のグループのレプリケーションとフェイルオーバーを管理できます。

サーバー上のデータベース、または別のリージョンへの管理対象インスタンス内のすべてのデータベース。

不正解：

B ハイパースケールは大規模なデータベース用です。ほとんどのビジネスワークロード向けに設計されており、拡張性に優れています。

ストレージ、読み取りスケールアウト、および高速データベース復元機能。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/auto-failover-group-overview>

最新問題: 79

AzureSQLマネージドインスタンスがあります。
Transact-SQLを使用して、DB1という名前のデータベースを復元する必要があります。
どのコマンドを実行する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。
注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

RESTORE

▼

 DB1 FROM

▼

DATABASE

FILE

LOG

DISK = N'\\NAS01\SSQLBackups\DB1.bak';
TAPE = N'\\Tape0'
URL = N'https://mybackups.blob.core.windows.net/bkups/DB1.bak'

Answer:

RESTORE

▼

 DB1 FROM

Microsoft ▼

DATABASE

FILE

LOG

DISK = N'\\NAS01\SSQLBackups\DB1.bak';
TAPE = N'\\Tape0'
URL = N'https://mybackups.blob.core.windows.net/bkups/DB1.bak'

最新問題: 80

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。の各質問
このシリーズには、定められた目標を達成する可能性のある独自のソリューションが含まれています。一部の質問セットには
複数の正しい解決策がありますが、他の人は正しい解決策を持っていない可能性があります。
このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。結果として、これらは
質問はレビュー画面に表示されません。
Server1とServer2という名前の2つのAzureSQLデータベースサーバーがあります。各サーバーにはAzureSQLが含まれています
Database1という名前のデータベース。
Database1をServer1からServer2に復元する必要があります。ソリューションは、上の既存のDatabase1を置き換える必要があります
サーバー2。
解決策 :Server2でDatabase1に対してRemove-AzSqlDatabasePowerShellコマンドレットを実行します。あなたは
Restore-Server2上のDatabase1のAzSqlDatabasePowerShellコマンドレット。
これは目標を達成していますか？

- A. はい
- B. いいえ

Answer: (解答を表示する)

セクション [なし]

Explanation:

代わりに、RESTORE Transact-SQLコマンドを使用してDatabase1をServer1からServer2に復元し、
REPLACEオプション。
注 :REPLACEはめったに使用しないでください。また、慎重に検討した後でのみ使用してください。通常、復元は防止します
誤ってデータベースを別のデータベースで上書きしてしまいました。データベースがRESTOREで指定されている場合
ステートメントは現在のサーバーにすでに存在し、指定されたデータベースファミリGUIDは
バックアップセットに記録されたデータベースファミリGUID。データベースは復元されません。これは重要な保護手段です。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/statements/restore-statements-transact-sql>

最新問題: 81

Azureに移行した後、ManufacturingSQLDb1の構成を推奨する必要があります。ソリューションはビジネス要件を満たす必要があります。推奨事項には何を含める必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Quorum model:

Cloud witness
Disk witness
File share witness

Azure resource for the availability group listener:

Azure Application Gateway
Azure Basic Load Balancer

シナリオ :ビジネス要件

Litwareは、ビジネス要件を次のように識別します。すべてのAzureデプロイメントで99.99%の可用性のSLAを満たします。

ボックス1 :クラウドの目撃者

すべてのノードが Azureの拡張機能によって)インターネットに到達できるフェールオーバークラスターの展開がある場合は、クォーラム監視リソースとしてクラウド監視を構成することをお勧めします。

ボックス2 :Azure Basic Load Balancer

Microsoftは、2つ以上の正常な仮想マシンインスタンスにサービスを提供するAzure Standard Load Balancerを使用する負荷分散エンドポイントが99.99%の時間利用可能であることを保証します。

注 :リスナーを設定するには、外部 (パブリック)または内部の2つの主なオプションがあります。外部 (パブリック)リスナーは、インターネットに面したロードバランサーを使用し、インターネット経由でアクセス可能なパブリック仮想IP (VIP)に関連付けられています。内部リスナーは内部ロードバランサーを使用し、同じ仮想ネットワーク内のクライアントのみをサポートします。

Answer:

Quorum model:

Cloud witness
Disk witness
File share witness

Azure resource for the availability group listener:

Azure Application Gateway
Azure Basic Load Balancer

参照：

<https://technet.microsoft.com/windows-server-docs/failover-clustering/deploy-cloud-witness>

https://azure.microsoft.com/en-us/support/legal/sla/load-balancer/v1_0/

最新問題: 82

AzureSQLデータベースを含むAzureサブスクリプションがあります。

データベースは、クエリにタイムリーに応答できません。

問題がresource_semaphore待機に関連しているかどうかを識別する必要があります。

Transact-SQLクエリをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

```
SELECT 

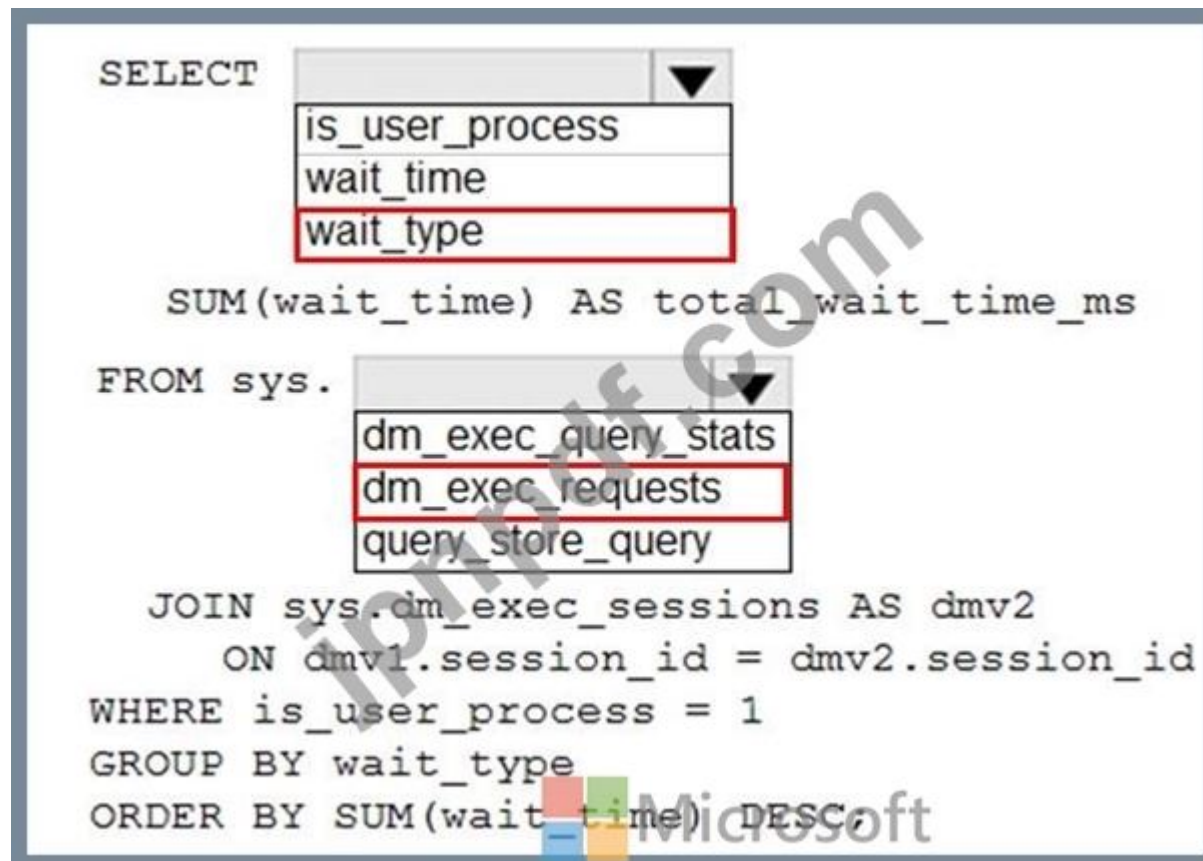
|                 |
|-----------------|
| is_user_process |
| wait_time       |
| wait_type       |

  
SUM(wait_time) AS total_wait_time_ms  
FROM sys. 

|                     |
|---------------------|
| dm_exec_query_stats |
| dm_exec_requests    |
| query_store_query   |

  
JOIN sys.dm_exec_sessions AS dmvs2  
ON dmvs1.session_id = dmvs2.session_id  
WHERE is_user_process = 1  
GROUP BY wait_type  
ORDER BY SUM(wait_time) DESC;
```

Answer:



参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/monitoring-with-dmvs>

最新問題: 83

10個のパイプラインを含むAzureDataFactoryがあります。

各パイプラインに、取り込み、変換、またはロードのいずれかの主な目的でラベルを付ける必要があります。Data Factoryの監視エクスペリエンスを使用する場合、ラベルはグループ化とフィルタリングに使用できる必要があります。

各パイプラインに何を追加する必要がありますか？

- A. 注釈
- B. リソースタグ
- C. 実行グループID
- D. ユーザープロパティ
- E. 関連ID

Answer: A (メッセージを残す)

Azure Data Factoryアノテーションは、タグに基づいてさまざまなAzureDataFactoryオブジェクトを簡単にフィルター処理するのに役立ちます。タグを定義して、タグのパフォーマンスを確認したり、エラーをすばやく見つけたりすることができます。

参照：

<https://www.techtalkcorner.com/monitor-azure-data-factory-annotations/>

最新問題: 84

ホットスポット

Webサイト分析システムから、ダウンロード、リンククリック、フォーム送信、ビデオ再生などのユーザーインタラクションに関するデータ抽出を受け取ります。

データには次の列が含まれています。

Name	Sample value
Date	15 Jan 2021
EventCategory	Videos
EventAction	Play
EventLabel	Contoso Promotional
ChannelGrouping	Social
TotalEvents	150
UniqueEvents	120
SessionsWithEvents	99

データの分析クエリをサポートするスタースキーマを設計する必要があります。スタースキーマには、日付ディメンションを含む4つのテーブルが含まれます。

各列をどのテーブルに追加する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

ホットエリア：

Answer Area

EventCategory: ▼

DimChannel

DimDate

DimEvent

FactEvents

ChannelGrouping: ▼

DimChannel

DimDate

DimEvent

FactEvents

TotalEvents: ▼

DimChannel

DimDate

DimEvent

FactEvents

Answer:

Answer Area

EventCategory: ▼

DimChannel
DimDate
DimEvent
FactEvents

ChannelGrouping: ▼

DimChannel
DimDate
DimEvent
FactEvents

TotalEvents: ▼

DimChannel
DimDate
DimEvent
FactEvents

セクション [なし]

Explanation:

ボックス1 :FactEvents

ファクトテーブルには、観測またはイベントが格納され、販売注文、在庫残高、為替レート、温度などがあります。

ボックス2 :DimChannel

ディメンションテーブルは、ビジネスエンティティ (モデル化するもの) を記述します。エンティティには、製品、人、場所、および時間自体を含む概念を含めることができます。スタースキーマで最も一貫性のあるテーブルは、日付ディメンションテーブルです。ディメンションテーブルには、一意の識別子として機能する1つまたは複数のキー列と説明列が含まれます。

ボックス3 :DimEvent

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/power-bi/guidance/star-schema>

最新問題: 85

SalesSQLDb1の監視を実装する必要があります。ソリューションは技術要件を満たしている必要があります。

メトリックをどのように収集してストリーミングする必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Collect metrics from:

▼
The database only
The elastic pool and the database
The elastic pool only
The server, the elastic pool, and the database

Stream metrics to:

▼
Azure Event Hubs
Azure Log Analytics
Azure Storage

Answer:

Collect metrics from:

▼
The database only
The elastic pool and the database
The elastic pool only
The server, the elastic pool, and the database

Stream metrics to:

▼
Azure Event Hubs
Azure Log Analytics
Azure Storage

Explanation:

ボックス1 :サーバー、エラスティックプール、およびデータベース

セナリオ :

SalesSQLDb1は、SalesSQLDb1Poolという名前のエラスティックプールにあります。

Litwareの技術要件には、次のものが含まれます。CPUとストレージの使用量および制限に関連するすべてのSQLServerおよびAzureSQL Databaseのメトリックは、Azureの組み込み機能を使用して分析する必要があります。

ボックス2 :Azureイベントハブ

シナリオ :ManufacturingSQLDb1をAzure仮想マシンプラットフォームに移行します。

イベントハブは、カスタムメトリックを処理できます。

不正解 :

Azure Log Analytics

Azureのメトリックとログデータは、以前はAzureLogAnalyticsと呼ばれていたAzureMonitorLogsにAzureから直接送信されます。Azure SQL Analyticsは、すべてのAzureSQLデータベースの診断テレメトリのストリーミングをサポートするクラウドのみの監視ソリューションです。

ただし、Azure SQLAnalyticsはエージェントを使用してAzureMonitorに接続しないため、オンプレミスまたは仮想マシンでホストされているSQLServerの監視をサポートしていません。

最新問題: 86

WindowsServer2019を実行するAzure仮想マシン上にSQLServer2019があります。仮想マシンには4つのvCPUと28GBのメモリがあります。

仮想マシンを16個のvCPUと64GBのメモリにスケールアップします。
tempdbのレイテンシーを最小にする必要があります。
tempdbに含める必要のあるデータファイルの総数はいくつですか？

- A. 2
- B. 4
- C. 8
- D. 64

Answer: (解答を表示する)

セクション [なし]

Explanation:

ファイルの数は、マシン上の（論理プロセッサの数によって異なります。原則として、論理プロセッサの数が8以下の場合は、論理プロセッサと同じ数のデータファイルを使用してください。論理プロセッサの数が8を超える場合は、8つのデータ・ファイルを使用し、競合が続く場合は、競合が許容レベルに減少するか、ワークロード/コードに変更を加えるまで、データ・ファイルの数を4の倍数増やします。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/databases/tempdb-database>

最新問題: 87

AzureSQLデータベースがあります。

プランキャッシュが、一度だけ使用されたコンパイル済みプランでいっぱいであることがわかります。

select * from sys.database_scoped_configurations Transact-SQLコマンドを実行すると、次の表に示す結果が得られます。

configuration_id	name	value	is_value_default
1	LEGACY_CARDINALITY_ESTIMATION	0	1
2	QUERY_OPTIMIZER_HOTFIXES	0	1
3	OPTIMIZE_FOR_AD_HOC_WORKLOADS	0	1
4	ACCELERATED_PLAN_FORCING	1	1

あなたは記憶の圧力を和らげる必要があります。
何を設定する必要がありますか？

- A. LEGACY_CARDINALITY_ESTIMATION
- B. QUERY_OPTIMIZER_HOTFIXES
- C. OPTIMIZE_FOR_AD_HOC_WORKLOADS
- D. ACCELERATED_PLAN_FORCING

Answer: C (メッセージを残す)

OPTIMIZE_FOR_AD_HOC_WORKLOADS = {ON | オフ }

バッチが初めてコンパイルされるときに、コンパイルされたプランスタブがキャッシュに格納されることを有効または無効にします。デフォルトはOFFです。データベーススコープ構成OPTIMIZE_FOR_AD_HOC_WORKLOADSがデータベースに対して有効になると、バッチが初めてコンパイルされるときに、コンパイルされたプランスタブがキャッシュに保存されます。プランスタブは、完全にコンパイルされたプランのサイズと比較して、メモリフットプリントが小さくなります。

不正解：

A LEGACY_CARDINALITY_ESTIMATION = {ON | オフ|主要な }

データベースの互換性レベルに関係なく、クエリオプティマイザのカーディナリティ推定モデルをSQLServer2012以前のバージョンに設定

できます。デフォルトはOFFで、データベースの互換性レベルに基づいてクエリオプティマイザのカーディナリティ推定モデルを設定します。

B :QUERY_OPTIMIZER_HOTFIXES = {ON | オフ|主要な }

データベースの互換性レベルに関係なく、クエリ最適化修正プログラムを有効または無効にします。デフォルトはOFFです。これは、特定のバージョン (RTM後)に利用可能な最高の互換性レベルが導入された後にリリースされたクエリ最適化ホットフィックスを無効にします。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/statements/alter-database-scoped-configuration-transact-sql>

最新問題: 88

db1という名前のAzureSQLデータベースがあります。

先週からdb1のリソース使用量を取得する必要があります。

どのようにステートメントを完成させる必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Microsoft

SELECT *

FROM

WHERE database_name = 'db1' AND

start_time >

ORDER BY start_time DESC;

▼

sys.dm_db_resource_stats
sys.dm_exec_requests
sys.dm_user_db_resource_governance
sys.resource_stats

(day, -7, GETDATE())

▼

DATEADD
DATEDIFF
DATEPART
DATETIMEOFFSET

Answer:

SELECT *

FROM

▼
sys.dm_db_resource_stats
sys.dm_exec_requests
sys.dm_user_db_resource_governance
sys.resource_stats

WHERE database_name = 'db1' AND

start_time >

▼
DATEADD
DATEDIFF
DATEPART
TODATETIMEOFFSET

(day, -7, GETDATE())

ORDER BY start_time DESC;

Explanation:

ボックス1 :sys.resource_stats

sys.resource_statsは、AzureSQLデータベースのCPU使用率とストレージデータを返します。database_name列とstart_time列があります。

ボックス2 :DateAdd

次の例では、過去1週間のコンピューティング使用率の平均が少なくとも80%であるすべてのデータベースを返します。

@s日時を宣言します。

@e日時を宣言します。

SET @ s = DateAdd 日、-7、GetUTCDate ();)

SET @ e = GETUTCDATE ();

SELECT database_name、AVG (avg_cpu_percent)AS Average_Compute_Utilization FROM sys.resource_stats WHERE start_time BETWEEN @s AND @e GROUP BY database_name HAVING AVG (avg_cpu_percent)> = 80不正解 :

sys.dm_exec_requests :

sys.dm_exec_requestsは、SQLServerで実行されている各要求に関する情報を返します。database_nameという名前の列はありません。

sys.dm_db_resource_stats :

sys.dm_db_resource_statsにはstart_time列がありません。

注 sys.dm_db_resource_statsは、Azure SQLデータベースデータベースのCPU、I / O、およびメモリの消費量を返します。データベースにアクティビティがない場合でも、15秒ごとに1つの行が存在します。履歴データは約1時間保持されます。

Sys.dm_user_db_resource_governanceは、現在のデータベースまたはエラスティックプールのリソースガバナンスメカニズムで使用される実際の構成と容量の設定を返します。start_time列はありません。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/system-catalog-views/sys-resource-stats-azure-sql-database>

最新問題: 89

次の表に示すリソースを含むAzureサブスクリプションがあります。

Name	Type	Configuration
DB1	Azure SQL Database	Hyperscale service tier No secondary replicas
App1	Azure Web Apps	App1 has read-only access to DB1. There are multiple instances of App1.

DB1の読み取り専用レプリカを作成し、そのレプリカを使用するようにApp1インスタンスを構成する必要があります。

あなたは何をすべきか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Answer Area

To add read-only replicas of DB1:

Create a replica on the same logical server.

Create a new logical server and configure geo-replication.

Create a new logical server and configure an auto-failover group.

To configure App1 instances to access the read-only replica:

Add an ApplicationIntent entry to the connection string.

Add a MultiSubnetFailover entry to the App1 connection string.

Create a dedicated endpoint and configure the App1 connection string to point to the endpoint.

Answer:

Answer Area

To add read-only replicas of DB1:

Create a replica on the same logical server.

Create a new logical server and configure geo-replication.

Create a new logical server and configure an auto-failover group.

To configure App1 instances to access the read-only replica:

Add an ApplicationIntent entry to the connection string.

Add a MultiSubnetFailover entry to the App1 connection string.

Create a dedicated endpoint and configure the App1 connection string to point to the endpoint.

参照：

<https://sqlserverguides.com/read-only-replica-azure-sql/>

最新問題: 90

10個のAzureSQLデータベースをホストするsqlsrv1という名前のAzureSQLデータベースサーバーがあります。

データベースのパフォーマンスは予想よりも遅くなります。

パフォーマンスの問題が、sqlsrv1上のAzureSQLデータベースによるtempdbの使用に関連しているかどうかを特定する必要があります。

あなたは何をすべきか？

A. クエリストアベースのクエリを実行する

- B. SQLServerプロファイラーベースのトレースによって提供される情報を確認します
- C. QueryPerformanceInsightによって提供された情報を確認します
- D. 動的管理ビューベースのクエリを実行する

Answer: (解答を表示する)

診断ログは、tempDB競合の詳細を出力します。この情報は、トラブルシューティングの開始点として使用できます。
Azure SQLDatabaseのIntelligentInsightsパフォーマンス診断ログを使用して、パフォーマンスの問題をトラブルシューティングできます。
参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/intelligent-insights-troubleshoot-performance#tempdb-contention>
<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/intelligent-insights-use-diagnostics-log>

最新問題: 91

ドラッグドロップ

SERVER1データベースのユーザー認証を構成する必要があります。ソリューションはセキュリティを満たす必要があります
およびコンプライアンス要件。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？答えるには、リストから適切なアクションを移動します
回答エリアへのアクションと正しい順序でそれらを配置します。

選択して配置：

Actions

Modify the Azure SQL server administrator account.

Create database users.

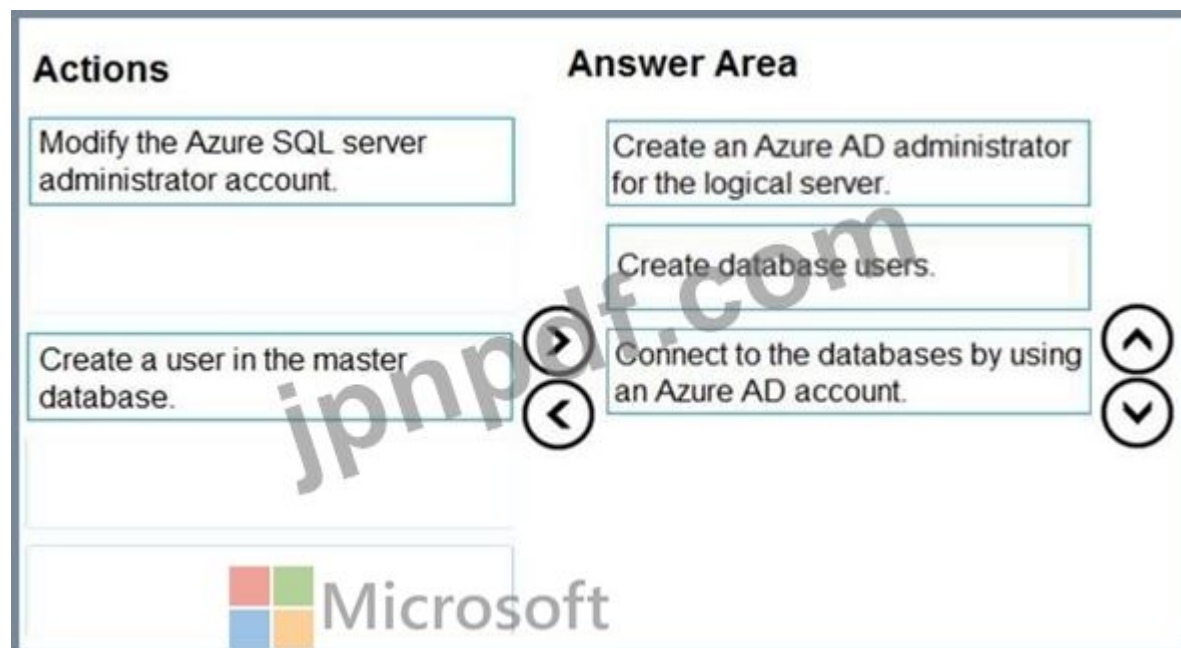
Create a user in the master database.

Create an Azure AD administrator for the logical server.

Connect to the databases by using an Azure AD account.

Answer Area

Answer:



セクション [なし]

Explanation:

シナリオ :ActiveDirectoryの資格情報を使用してデータベースユーザーを認証します。
構成手順には、AzureActiveDirectoryを構成して使用するための次の手順が含まれます
認証。

- 1.AzureADを作成してデータを入力します。
- 2.オプション：現在Azureサブスクリプションに関連付けられているActiveDirectoryを関連付けるか変更します。
3. AzureActiveDirectory管理者を作成します。(ステップ1)
- 4.クライアントコンピューターを構成します。
5. AzureADIDにマップされたデータベースに含まれるデータベースユーザーを作成します。(ステップ2)
6. AzureADIDを使用してデータベースに接続します。(ステップ3)

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/authentication-aad-overview>

テストレット2

ケーススタディ

これはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。あなたはあなたと同じくらい多くの試験時間を使うことができます

それぞれのケースを完了したいと思います。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。

あなたはあなたがこの試験に含まれるすべての質問を完了することができることを確実にするためにあなたの時間を管理しなければなりません

提供された時間。

ケーススタディに含まれる質問に答えるには、で提供されている情報を参照する必要があります。

ケーススタディ。ケーススタディには、展示やその他のリソースが含まれている場合があります。

ケーススタディで説明されているシナリオ。この場合、各質問は他の質問から独立しています。

勉強。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、回答を確認して

試験の次のセクションに進む前に変更を加えてください。新しいセクションを開始した後は、できません

このセクションに戻ります。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。左側のペインのボタンを使用して探索します

質問に答える前のケーススタディの内容。これらのボタンをクリックすると、次のような情報が表示されます

ビジネス要件、既存の環境、および問題の説明として。ケーススタディにすべてがある場合

[情報]タブ。表示される情報は、後続の情報に表示される情報と同じであることに注意してください。

タブ。質問に答える準備ができたなら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

既存の環境

Contoso、Ltd.は、100人の従業員を抱える財務データ会社です。同社は財務データを顧客。

Active Directory

Contosoには、オンプレミスのActiveに同期するハイブリッドAzure Active Directory (Azure AD) デプロイメントがあります

ディレクトリ。

データベース環境

Contosoには、次の表に示すAzure仮想マシン上のSQLServer2017があります。

Name	Role
SQL1	Primary data warehouse
SQL2	Secondary data warehouse
SQL3	Extract, transform, and load (ETL) server

SQL1とSQL2はAlwaysOn可用性グループに属し、アクティブに照会されます。SQL3はジョブを実行し、提供します

履歴データ、および顧客へのデータの配信を処理します。

オンプレミスのデータセンターには、50TBのデータベースを持つPostgreSQLサーバーが含まれています。

現在のビジネスモデル

Contosoは、Microsoft SQL Server Integration Services (SSIS) を使用して、顧客向けのフラットファイルを作成します。The

顧客はFTPを使用してファイルを受け取ります。

要件

計画された変更

Contosoは、プラットフォームとして実行される顧客データベースにデータを配信するモデルに移行することを計画しています。

サービス (PaaS) オファリング。顧客がContosoとサービス契約を結ぶと、別のリソース

AzureSQLデータベースを含むグループがお客様にプロビジョニングされます。データベースには

財務データの完全なコピー。各顧客がアクセスできるデータは、

サービス契約層。お客様は、サービス契約を変更することで階層を変更できます。

各PaaSデータベースの推定サイズは1TBです。

Contosoは、次の変更を実装する予定です。

*今後6か月間に、PostgreSQLデータベースをAzure DatabaseforPostgreSQLに移動します。

*今後数か月の間に、SQL1、SQL2、およびSQL3をSQLServer2019にアップグレードします。

*6か月以内に新しいPaaSソリューションへの顧客のオンボーディングを開始します。

ビジネス目標

Contosoは、次のビジネス要件を識別します。

*可能な限り組み込みのAzure機能を使用してください。

*可能な限り開発の労力を最小限に抑えます。

*PaaSソリューションの計算コストを最小限に抑えます。

* PaaSソリューションを使用して、すべての顧客にデータベースの独自のコピーを提供します。

*顧客のサービス契約に基づいて、顧客に異なるテーブルおよび行アクセスを提供します。

* Azureの地域的な停止が発生した場合は、お客様がPaaSソリューションにアクセスできることを確認してください。

最小限のダウンタイム。ソリューションは自動フェイルオーバーを提供する必要があります。

* PaaSソリューションのユーザーが独自のデータベースオブジェクトを作成できることを確認しますが、

Contosoによって提供される既存のデータベースオブジェクトのいずれかを変更します。

技術要件

Contosoは、次の技術要件を識別します。

* PaaSソリューションのユーザーは、独自の企業AzureADクレデンシャルを使用してサインインできる必要があります。

ContosoからAzureADクレデンシャルが提供されている。ソリューションでは、内部Azureの使用を回避する必要があります

ゲストユーザーを最小化するためのContosoのAD。

*すべてのお客様は、独自のリソースグループ、Azure SQLサーバー、およびAzureSQLデータベースを持っている必要があります。The各顧客のリソースの展開は、一貫した方法で行う必要があります。

*ユーザーは、PaaSデータベースに対して発行されたクエリを確認し、新しいオブジェクトを特定できる必要があります

作成した。

*PostgreSQLデータベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑える必要があります。

監視要件

Contosoは、次の監視要件を識別します。

* PaaSデータベースのCPU使用率が平均よりも高い場合は、管理者に通知してください。

*単一のダッシュボードを使用して、すべてのPaaSデータベースのセキュリティおよび監査データを確認します。

*単一のダッシュボードを使用して、すべてのPaaSデータベースにわたるクエリのパフォーマンスとボトルネックを監視します。

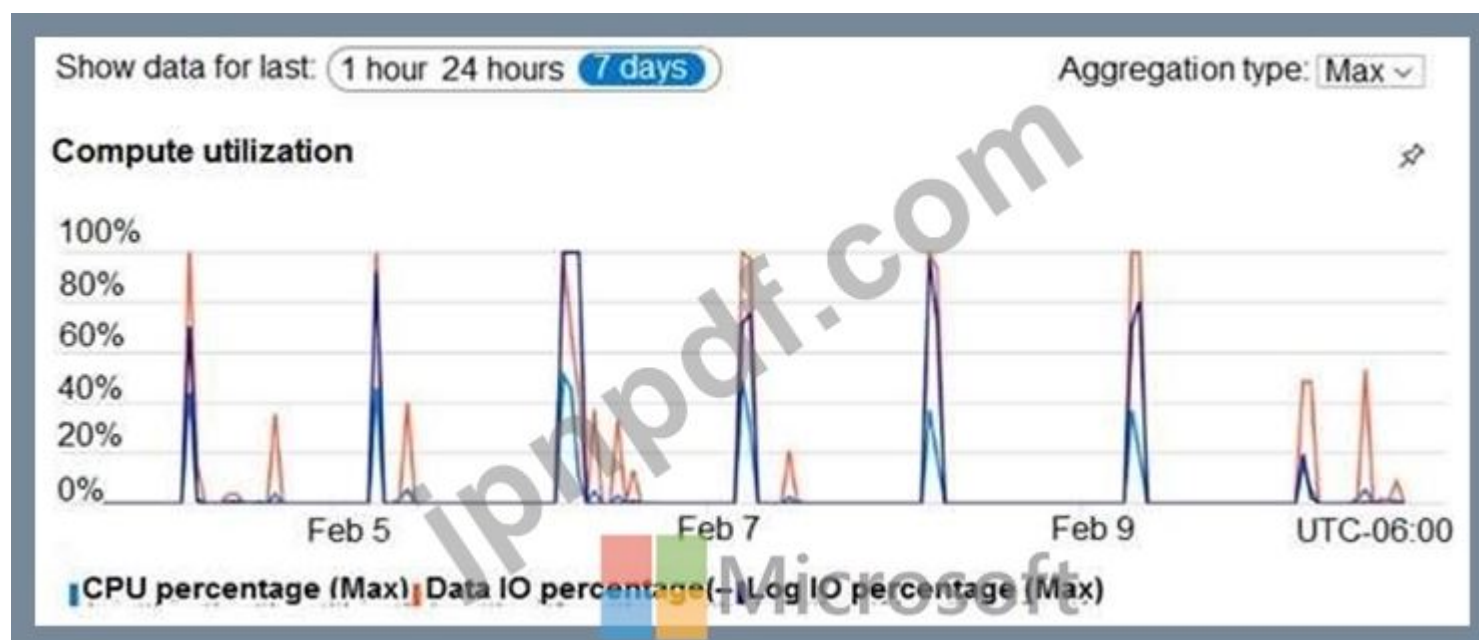
* PaaSデータベースを監視して、パフォーマンスの低いクエリを特定し、クエリのパフォーマンスの問題を解決します

可能な限り自動的に。

PaaSプロトタイプ

AzureでのPaaSソリューションのプロトタイピング中に、顧客のAzureSQLのコンピューティング使用率を記録します

次の展示に示すようなデータベース。



役割の割り当て

お客様のAzureSQLデータベースサーバーごとに、次の展示に示す役割を割り当てる予定です。

+ Add Edit columns Refresh Remove Got feedback?

Check access **Role assignments** Deny assignments Classic administrators Roles

Manage access to Azure resources for users, groups, service principals and managed identities at this scope by creating role assignments. [Learn more](#)

Number of role assignments for this subscription 15 2000

Name Type Role Scope

Search by name or email Groups 2 selected All scopes

Group by Role

Showing a filtered set of results. Total number of role assignments: 15

2 items (2 Groups)

	Name	Type	Role	Scope
Contributor				
☐	DBAGroup1	Group	Contributor	This resource
SQL DB Contributor				
☐	DBAGroup2	Group	SQL DB Contributor	This resource

有効な **DP-300** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **DP-300** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (**41030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: **92**

D18912E1457D5D1DDCBD40AB3BF70D5D

SalesSQLDb1のフェイルオーバー後に、データベースにSalesSQLDb1App1がアクセスできるようにするには、どうすればよいですか。

- A. SalesSQLDb1を書き込み可能として構成します。
- B. SalesSQLDb1App1の接続文字列を更新します。
- C. SalesSQLDb1のファイアウォールルールを更新します。
- D. SalesSQLDb1のユーザーを更新します。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

シナリオ :SalesSQLDb1は、データベースファイアウォールルールと含まれているデータベースユーザーを使用します。

最新問題: **93**

SalesSQLDb1のフェイルオーバー後に、データベースにSalesSQLDb1App1がアクセスできるようにするには、どうすればよいですか。

- A. SalesSQLDb1を書き込み可能として構成します。
- B. SalesSQLDb1App1の接続文字列を更新します。
- C. SalesSQLDb1のファイアウォールルールを更新します。
- D. SalesSQLDb1のユーザーを更新します。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

シナリオ :SalesSQLDb1は、データベースファイアウォールルールと含まれているデータベースユーザーを使用します。

最新問題: **94**

WindowsServer2019を実行するAzure仮想マシン上にSQLServer2019があります。仮想マシンには4つのvCPUと28GBのメモリがあります。

仮想マシンを8つのvCPUと64GBのメモリにスケールアップします。

tempdbのレイテンシーを最小にする必要があります。

tempdbに含める必要のあるデータファイルの総数はいくつですか？

- A. 2
- B. 4
- C. 8
- D. 64

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

ファイルの数は、マシン上の（論理プロセッサの数によって異なります。原則として、論理プロセッサの数が8以下の場合は、論理プロセッサと同じ数のデータファイルを使用してください。論理プロセッサの数が8を超える場合は、8つのデータ・ファイルを使用し、競合が続く場合は、競合が許容レベルに減少するか、ワークロード/コードに変更を加えるまで、データ・ファイルの数を4の倍数増やします。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/databases/tempdb-database> クエリパフォーマンステストレットの最適化1これはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。各ケースを完了するのに必要なだけの試験時間を使用できます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。提供された時間内にこの試験に含まれるすべての質問を確実に完了することができるように、時間を管理する必要があります。

ケーススタディに含まれている質問に答えるには、ケーススタディで提供されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれている場合があります。このケーススタディでは、各質問は他の質問から独立しています。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることに注意してください。質問に答える準備ができたなら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

Litware、Inc.は、ボストンに本社を置く再生可能エネルギー会社です。本社には、営業部門と会社の主要なデータセンターがあります。

物理的な場所

既存の環境

Litwareには製造オフィスがあり、研究オフィスはボストンの近くに別々の場所にあります。各オフィスには、独自のデータセンターとインターネット接続があります。

製造および研究データセンターは、VPNを使用してプライマリデータセンターに接続します。

ネットワーク環境

プライマリデータセンターには、Microsoftピアリングとプライベートピアリングの両方を使用するExpressRoute接続があります。

プライベートピアリングは、HubVNetという名前のAzure仮想ネットワークに接続します。

アイデンティティ環境

Litwareには、litwareinc.comという名前のドメインを使用するハイブリッドAzure Active Directory (Azure AD) 展開があります。

すべてのAzureサブスクリプションは、litwareinc.com Azure ADテナントに関連付けられています。

データベース環境

営業部門には、次のデータベースワークロードがあります。

* SERVER1という名前のオンプレミスは、Microsoft SQL Server 2012のインスタンスと2つの1-TBデータベースをホストします。

* SalesSrv01Aという名前の論理サーバーには、SalesSQLDb1という名前の地理的に複製されたAzure SQLデータベースが含まれています。

SalesSQLDb1は、SalesSQLDb1Poolという名前のエラスティックプールにあります。SalesSQLDb1は、データベースファイアウォールルールと含まれているデータベースユーザーを使用します。

* SalesSQLDb1App1という名前のアプリケーションはSalesSQLDb1を使用します。

製造オフィスには、SERVER2とSERVER3という名前の2つのオンプレミスSQL Server 2016サーバーが含まれています。サーバーは、同じAlwaysOn可用性グループ内のノードです。可用性グループには、ManufacturingSQLDb1という名前のデータベースが含まれます。データベース管理者は、Windows Server 2019を実行し、すべてのAzureデータベースを管理するために使用されるVM1およびVM2という名前の2つのAzure仮想マシンをHubVnetに持っています。

ライセンス契約

Litwareは、ソフトウェアアシュアランスによるライセンスモビリティを提供するマイクロソフトボリュームライセンスのお客様です。

現在の問題

SalesSQLDb1でパフォーマンスの問題が発生します。これは、古い統計と頻繁なブロッキングクエリが原因である可能性があります。

要件

計画された変更

Litwareは、次の変更を実装する予定です。

- * Azureに30個の新しいデータベースを実装します。これらのデータベースは、さまざまな使用パターンを持つ時間に敏感な製造アプリで使用されます。各データベースは約20GBになります。

- * ResearchSrv01という名前の論理サーバー上にResearchDB1という名前の新しいAzureSQLデータベースを作成します。

ResearchDB1には、個人情報 (PII) データが含まれます。

- * ResearchApp1という名前のアプリを開発します。このアプリは、研究部門がResearchDB1にデータを入力してアクセスするために使用します。

- * ManufacturingSQLDb1をAzure仮想マシンプラットフォームに移行します。

- * SERVER1データベースをAzureSQLデータベースプラットフォームに移行します。

技術要件

Litwareは、次の技術要件を識別します。

- * メンテナンスタスクは自動化する必要があります。

- * 30の新しいデータベースは自動的に拡張する必要があります。

- * オンプレミスインフラストラクチャの使用を最小限に抑える必要があります。

- * Azureハイブリッド使用のメリットは、AzureSQLデータベースの展開に活用する必要があります。

- * CPUとストレージの使用量と制限に関連するすべてのSQLServerとAzureSQLDatabaseのメトリックは、Azureの組み込み機能を使用して分析する必要があります。

セキュリティとコンプライアンスの要件

Litwareは、次のセキュリティおよびコンプライアンス要件を識別します。

- * 暗号化キーをAzureKeyVaultに保存します。

- * PIIデータのバックアップを2か月間保持します。

- * 保存中、転送中、および使用中のPIIデータを暗号化します。

- * 可能な限り、最小特権の原則を使用してください。

- * ActiveDirectoryの資格情報を使用してデータベースユーザーを認証します。

- * データベースレベルのファイアウォールルールを使用して、AzureSQLデータベースインスタンスを保護します。

- * パブリックエンドポイントに依存せずに、AzureでホストされているすべてのデータベースにVM1およびVM2からアクセスできることを確認します。

ビジネス要件

Litwareは、次のビジネス要件を識別します。

- * すべてのAzureデプロイメントで99.99%の可用性のSLAを満たします。

- * SERVER1データベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑えます。

- * ワークロードをAzureに移行する場合は、Azureハイブリッド使用のメリットを利用してください。

- * すべての要件が満たされたら、可能な限りコストを最小限に抑えます。

トランザクションデータの分析ストレージソリューションを設計する必要があります。ソリューションは、販売トランザクションデータセットの要件を満たす必要があります。

ソリューションに何を含める必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Microsoft

Table type to store retail store data:

▼

Hash

Replicated

Round-robin

Table type to store promotional data:

▼

Hash

Replicated

Round-robin

Answer:

Microsoft

Table type to store retail store data:

▼

Hash

Replicated

Round-robin

Table type to store promotional data:

▼

Hash

Replicated

Round-robin

参照：

<https://rajanieshkaushikk.com/2020/09/09/how-to-choose-right-data-distribution-strategy-for-azure-synapse/>

最新問題: 96

factSalesという名前のテーブルを含むAzureSQLデータベースがあります。FactSalesには列が含まれています次の表に示します。

Name	Data type
SalesID	Int
Product	Int
Total Number	Numeric(8,4)
Tax Number	Numeric(8,4)
SalesRep	Varchar(30)

FactSalesには60億行あり、バッチプロセスを使用して毎晩読み込まれます。どのタイプの圧縮がデータベースの最大のスペース削減を提供しますか？

- A. ページ圧縮
- B. 行の圧縮
- C. 列ストアの圧縮
- D. 列ストアアーカイブ圧縮

Answer: D (メッセージを残す)

セクション [なし]

Explanation:

列ストアのテーブルとインデックスは、常に列ストア圧縮で保存されます。あなたはさらに減らすことができますアーカイブ圧縮と呼ばれる追加の圧縮を構成することによる列ストアデータのサイズ。

注：列ストア列ストアインデックスも、行と列を含むテーブルとして論理的に編成されていますが、データは、列単位の詳細形式で物理的に保存されます。

不正解：

B：行ストア行ストアインデックスは、SQLの最初のリリース以来使用されてきた従来のスタイルです。サーバ。

行ストアのテーブルとインデックスの場合は、データ圧縮機能を使用してデータベースのサイズを縮小します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/data-compression/data-compression>

最新問題: 97

トランザクションデータの分析ストレージソリューションを設計する必要があります。ソリューションは、販売トランザクションデータセットの要件を満たす必要があります。

ソリューションに何を含める必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



Answer:



参照：

<https://rajanieshkaushikk.com/2020/09/09/how-to-choose-right-data-distribution-strategy-for-azure-synapse/>

最新問題: 98

DB1という名前のAzureSQLデータベースがあります。DB1に接続しているときにクエリを実行します。

クエリの実際の実行プランを確認し、クエリによって参照されるテーブルにインデックスを追加します。

クエリの以前の実際の実行プランをライブクエリ統計と比較する必要があります。

Microsoft SQL Server Management Studio (SSMS)で最初に何をすべきですか？

A. DB1の場合、クエリストアのQUERY_CAPTURE_MODEをAllに設定します。

B. SETSHOWPLAN_ALL Transact-SQLステートメントを実行します。

- C. 実際の実行プランを保存します。
- D. DB1のクエリストアを有効にします。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

[プランの比較]メニューオプションを使用すると、2つの異なる実行プランを並べて比較できるため、上記のすべての理由で異なる動作を説明する類似点と変更を簡単に識別できます。このオプションは、以下を比較できます。

以前に保存された2つの実行プランファイル (.sqlplan拡張子)。

1つのアクティブな実行プランと1つの以前に保存されたクエリ実行プラン。

クエリストアで選択された2つのクエリプラン。

最新問題: 99

AzureSQLデータベースがあります。データベースには、列ストアインデックスを使用し、アクセス頻度が低いテーブルが含まれています。列ストアのアーカイブ圧縮を有効にします。

構成の2つの可能な結果は何ですか？それぞれの正解は完全な解決策を提示します。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

- A. インデックスを使用するクエリは、より多くのディスクI/Oを消費します。
- B. インデックスを使用するクエリでは、取得するデータページが少なくなります。
- C. インデックスはより多くのディスクスペースを消費します。
- D. インデックスはより多くのメモリを消費します。
- E. インデックスを使用するクエリは、より多くのCPUリソースを消費します。

Answer: ([解答を表示する](#))

行ストアのテーブルとインデックスの場合は、データ圧縮機能を使用してデータベースのサイズを縮小します。スペースの節約に加えて、データ圧縮は、データがより少ないページに格納され、クエリがディスクからより少ないページを読み取る必要があるため、I/Oを集中的に使用するワークロードのパフォーマンスを向上させるのに役立ちます。

列ストアアーカイブ圧縮を使用して、データを格納および取得するための余分な時間とCPUリソースを確保できる状況で、データサイズをさらに削減します。

最新問題: 100

次の表に示すリソースを含むAzureサブスクリプションがあります。

Name	Type	Description
SQL1	SQL Server on Azure Virtual Machines	Not applicable
db1	Microsoft SQL Server database	Hosted on SQL1
mysqlbackups	General purpose v2 storage account	Not applicable

db1をmysqlbackupsにバックアップしてから、SQL1でホストされているdb2という名前の新しいデータベースにバックアップを復元する必要があります。ソリューションでは、db1がストライプセットにバックアップされていることを確認する必要があります。

どの3つのTransact-SQLステートメントを順番に実行する必要がありますか？回答するには、適切なステートメントをステートメントのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Statements

Answer Area

```
RESTORE DATABASE db2 FROM URL = URL =  
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net/  
/backups/db1_1.bak'  
, URL =
```

```
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_2.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_3.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_4.bak'
WITH CREDENTIAL = 'sqlbackup', RECOVERY,
    MOVE 'db1_mdf' TO
'D:\Data\db2_mdf.mdf',
    MOVE 'db1_log' TO
'D:\Logs\db2_log.ldf'
```

```
BACKUP DATABASE db1
TO URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_1.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_2.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_3.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_4.bak'
WITH CREDENTIAL = 'sqlbackup';
GO
```

```
RESTORE DATABASE db2 FROM URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_1.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_2.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_3.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_4.bak'
WITH RECOVERY,
    MOVE 'db1_mdf' TO
'D:\Data\db2_mdf.mdf',
    MOVE 'db1_log' TO
'D:\Logs\db2_log.ldf'
```

```
CREATE CREDENTIAL
[https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups]
WITH IDENTITY = 'SHARED ACCESS SIGNATURE',
SECRET = '<SAS_TOKEN>'
GO
```

```
BACKUP DATABASE db1
TO URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_1.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_2.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_3.bak'
, URL =
'https://mysqlbackups.blob.core.windows.net
/backups/db1_4.bak'

GO
```

```
CREATE CREDENTIAL [sqlbackup] WITH IDENTITY
```

```
'sqlsamplebackup'  
,SECRET = '<mystorageaccountaccesskey>';  
GO
```

Answer:

Answer Area
Create Credential,,,,
BACKUP DATABASE db1,,,,
RESTORE DATABASE db2 FROM URL =,,,,,,

- 1-クレデンシャルを作成します、、、、
- 2-バックアップデータベースdb1、、、、
- 3-RESTORE DATABASE db2 FROM URL = 、、、、、、、

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/backup-restore/sql-server-backup-to-url?view=sql-server-ver15>

最新問題: 101

AzureStreamAnalyticsジョブを監視しています。

バックログ入力イベントメトリックがゆっくりと増加しており、一貫してゼロ以外であることがわかります。

ジョブがすべてのイベントを処理できることを確認する必要があります。

あなたは何をするべきか？

- A. 接続から名前付きコンシューマーグループを削除し、\$defaultを使用します。
- B. StreamAnalyticsジョブの互換性レベルを変更します。
- C. 既存の入カストリーム用に追加の出カストリームを作成します。
- D. ストリーミングユニット (\$U)の数を増やします。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

バックログされた入力イベント バックログされた入力イベントの数。このメトリックのゼロ以外の値は、ジョブが着信イベントの数に追いつくことができないことを意味します。この値がゆっくりと増加している場合、または一貫してゼロ以外の場合は、SUを増やしてジョブをスケールアウトする必要があります。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/stream-analytics/stream-analytics-monitoring>

最新問題: 102

ホットスポット

db1という名前のAzureSQLデータベースがあります。

先週からdb1のリソース使用量を取得する必要があります。

どのようにステートメントを完成させる必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

ホットエリア：

Answer Area

SELECT *

FROM

	▼
sys.dm_db_resource_stats	
sys.dm_exec_requests	
sys.dm_user_db_resource_governance	
sys.resource_stats	

WHERE database_name = 'db1' AND

start_time >

	▼
DATEADD	
DATEDIFF	
DATEPART	
TODATETIMEOFFSET	

(day, -7, GETDATE())

ORDER BY start_time DESC;



Microsoft

Answer:
Answer Area

SELECT *

FROM

	▼
sys.dm_db_resource_stats	
sys.dm_exec_requests	
sys.dm_user_db_resource_governance	
sys.resource_stats	

WHERE database_name = 'db1' AND

start_time >

	▼
DATEADD	
DATEDIFF	
DATEPART	
TODATETIMEOFFSET	

(day, -7, GETDATE())

ORDER BY start_time DESC;



Microsoft

セクション [なし]

Explanation:

ボックス1 :sys.resource_stats

sys.resource_statsは、AzureSQLデータベースのCPU使用率とストレージデータを返します。database_name列とstart_time列があります。

ボックス2 :DateAdd

次の例では、過去1週間のコンピューティング使用率の平均が少なくとも80%であるすべてのデータベースを返します。

@s日時を宣言します。

@e日時を宣言します。

```
SET @ s = DateAdd @、-7、GetUTCDate ();)
```

```
SET @ e = GETUTCDATE ();
```

```
SELECT database_name、AVG (avg_cpu_percent)AS Average_Compute_Utilization FROM sys.resource_stats WHERE start_time  
BETWEEN @s AND @e GROUP BY database_name HAVING AVG (avg_cpu_percent)> = 80不正解：
```

sys.dm_exec_requests：

sys.dm_exec_requestsは、SQLServerで実行されている各要求に関する情報を返します。database_nameという名前の列はありません。

sys.dm_db_resource_stats：

sys.dm_db_resource_statsにはstart_time列がありません。

注 :sys.dm_db_resource_statsは、Azure SQLデータベースデータベースのCPU、I/O、およびメモリの消費量を返します。データベースにアクティビティがない場合でも、15秒ごとに1つの行が存在します。履歴データは約1時間保持されます。

Sys.dm_user_db_resource_governanceは、現在のデータベースまたはエラスティックプールのリソースガバナンスメカニズムで使用される実際の構成と容量の設定を返します。start_time列はありません。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/system-catalog-views/sys-resource-stats-azure-sql-データベース>

最新問題: 103

SQLServerがインストールされているAzure仮想マシンが10台あります。

特定のデータベースを他のSQLServerインスタンスに確実に復元できるように、バックアップ戦略を実装する必要があります。ソリューションは、バックアップの集中管理を提供する必要があります。

バックアップ戦略には何を含める必要がありますか？

A. SQL仮想マシン設定での自動バックアップ

B. Azureバックアップ

C. Azureサイトの回復

D. SQLServerエージェントジョブ

Answer: B (メッセージを残す)

Azure Backupは、AzureVM上のSQLServerにエンタープライズクラスのバックアップ機能を提供します。すべてのバックアップは、RecoveryServicesポータルに保存および管理されます。このソリューションが特に企業に提供するいくつかの利点があります。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/virtual-machines/windows/backup-restore#azbackup>

最新問題: 104

ホットスポット

SERVER1データベースの移行を計画しています。ソリューションはビジネスに適合している必要があります要件。

移行計画には何を含める必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。
注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

ホットエリア：
Answer Area

Azure Database Migration Service pricing tier:

▼

Standard 2-vCore

Standard 4-vCore

Premium 4-vCore

Required Azure resource:

▼

A virtual network that has service endpoints

A VPN gateway

An Azure Logic app

Answer:
Answer Area

Azure Database Migration Service pricing tier:

▼

Standard 2-vCore

Standard 4-vCore

Premium 4-vCore

Required Azure resource:

▼

A virtual network that has service endpoints

A VPN gateway

An Azure Logic app

セクション [なし]

Explanation:

Azureデータベース移行サービス

ボックス1 :プレミアム4-VCore

シナリオ :SERVER1データベースをAzureSQLデータベースプラットフォームに移行します。

*SERVER1データベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑えます。

Premium 4-vCoreは、大規模またはビジネスクリティカルなワークロード向けです。オンライン移行、オフライン移行、移行速度が速くなります。

不正解：

標準料金階層は、ほとんどの中小企業のワークロードに適していますが、オフライン移行をサポートしていません
それだけ。

ボックス2 :VPNゲートウェイ

を使用して、Azure DatabaseMigrationService用のMicrosoft Azure仮想ネットワークを作成する必要があります。
オンプレミスへのサイト間接続を提供するAzure Resource Managerデプロイメントモデル
ExpressRouteまたはVPNのいずれかを使用したソースサーバー。

参照：

<https://azure.microsoft.com/pricing/details/database-migration/>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/dms/tutorial-sql-server-azure-sql-online>

DP-300

Microsoft Azureでのリレーショナルデータベースの管理

バージョン2.0

テストレット1

これはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。あなたはあなたと同じくらい多くの試験時間を使うことができます

それぞれのケースを完了したいと思います。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。

あなたはあなたがこの試験に含まれるすべての質問を完了することができることを確実にするためにあなたの時間を管理しなければなりません

提供された時間。

ケーススタディに含まれる質問に答えるには、で提供されている情報を参照する必要があります。

ケーススタディ。ケーススタディには、展示やその他のリソースが含まれている場合があります。

ケーススタディで説明されているシナリオ。この場合、各質問は他の質問から独立しています。

勉強。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、回答を確認して

試験の次のセクションに進む前に変更を加えてください。新しいセクションを開始した後は、できません

このセクションに戻ります。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。左側のペインのボタンを使用して探索します

質問に答える前のケーススタディの内容。これらのボタンをクリックすると、次のような情報が表示されます

ビジネス要件、既存の環境、および問題の説明として。ケーススタディにすべてがある場合

[情報]タブ。表示される情報は、後続の情報に表示される情報と同じであることを注意してください。

タブ。質問に答える準備ができたら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

Litware、Inc.は、ボストンに本社を置く再生可能エネルギー会社です。本社が営業を行っています

部門および会社の主要なデータセンター。

物理的な場所

既存の環境

Litwareには製造オフィスがあり、研究オフィスはボストンの近くに別々の場所にあります。各オフィスには

独自のデータセンターとインターネット接続。

製造および研究データセンターは、VPNを使用してプライマリデータセンターに接続します。

ネットワーク環境

プライマリデータセンターには、Microsoftピアリングとプライベートピアリングの両方を使用するExpressRoute接続があります。

プライベートピアリングは、HubVNetという名前のAzure仮想ネットワークに接続します。

アイデンティティ環境

Litwareには、litwareinc.comという名前のドメインを使用するハイブリッドAzure Active Directory (Azure AD) 展開があります。

すべてのAzureサブスクリプションは、litwareinc.com Azure ADテナントに関連付けられています。

データベース環境

営業部門には、次のデータベースワークロードがあります。

* SERVER1という名前のオンプレミスは、Microsoft SQL Server 2012のインスタンスと2つの1-TBをホストします

データベース。

* SalesSrv01Aという名前の論理サーバーには、SalesSQLDb1という名前の地理的に複製されたAzure SQLデータベースが含まれています。

SalesSQLDb1は、SalesSQLDb1Poolという名前のエラスティックプールにあります。SalesSQLDb1はデータベースファイアウォールルールを使用します

含まれているデータベースユーザー。

*SalesSQLDb1App1という名前のアプリケーションはSalesSQLDb1を使用します。

製造オフィスには、SERVER2という名前の2つのオンプレミスSQL Server 2016サーバーと

SERVER3。サーバーは、同じAlwaysOn可用性グループ内のノードです。可用性グループには、

ManufacturingSQLDb1という名前のデータベース

データベース管理者は、Windowsを実行するVM1およびVM2という名前のHubVnetに2つのAzure仮想マシンを持っています

サーバー2019は、すべてのAzureデータベースを管理するために使用されます。

ライセンス契約

Litwareは、ソフトウェアアシュアランスによるライセンスモビリティを提供するマイクロソフトボリュームライセンスのお客様です。

現在の問題

SalesSQLDb1でパフォーマンスの問題が発生します。これは、統計が古く、頻繁にブロックされていることが原因である可能性があります。

クエリ。

要件

計画された変更

Litwareは、次の変更を実装する予定です。

* Azureに30個の新しいデータベースを実装します。これは、時間に敏感な製造アプリで使用されます。

さまざまな使用パターン。各データベースは約20GBになります。

*ResearchSrv01という名前の論理サーバー上にResearchDB1という名前の新しいAzure SQLデータベースを作成します。

ResearchDB1には、個人情報 (PII) データが含まれます。

*研究部門がデータを入力してアクセスするために使用するResearchApp1という名前のアプリを開発します

ResearchDB1。

*ManufacturingSQLDb1をAzure仮想マシンプラットフォームに移行します。

*SERVER1データベースをAzure SQLデータベースプラットフォームに移行します。

技術要件

Litwareは、次の技術要件を識別します。

*メンテナンスタスクは自動化する必要があります。

*30の新しいデータベースは自動的に拡張する必要があります。

*オンプレミスインフラストラクチャの使用を最小限に抑える必要があります。

* Azureハイブリッド使用のメリットは、AzureSQLデータベースの展開に活用する必要があります。

*CPUとストレージの使用量と制限に関連するすべてのSQLServerとAzureSQLデータベースのメトリックはAzureの組み込み機能を使用して分析します。

セキュリティとコンプライアンスの要件

Litwareは、次のセキュリティおよびコンプライアンス要件を識別します。

*暗号化キーをAzureKeyVaultに保存します。

*PIIデータのバックアップを2か月間保持します。

*保存中、転送中、および使用中のPIIデータを暗号化します。

*可能な限り、最小特権の原則を使用してください。

*ActiveDirectoryの資格情報を使用してデータベースユーザーを認証します。

*データベースレベルのファイアウォールルールを使用して、AzureSQLデータベースインスタンスを保護します。

* Azureでホストされているすべてのデータベースに、パブリックに依存せずにVM1およびVM2からアクセスできることを確認します

エンドポイント。

ビジネス要件

Litwareは、次のビジネス要件を識別します。

*すべてのAzureデプロイメントで99.99%の可用性のSLAを満たします。

*SERVER1データベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑えます。

*ワークロードをAzureに移行する場合は、Azureハイブリッド使用のメリットを利用してください。

*すべての要件が満たされたら、可能な限りコストを最小限に抑えます。

最新問題: 105

Azureサブスクリプションがあります。

AzureResourceManagerテンプレートを使用してAzureSQLデータベースをデプロイすることを計画しています。

テンプレートをどのように完成させる必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Answer Area



```
{
  "resources": [
    {
      "type": 
      "apiVersion": "2020-02-02-preview",
      "name": "[parameters('name1')]",
      "location": "[parameters('location')]",
      ...
    }
  ],
  "resources": [
    {
      "type": "databases",
      "apiVersion": "2020-02-02-preview",
      ...
    }
  ],
  ...
  "dependsOn": [
    "properties": [
      "tags": [
        "[resourceId('Microsoft.Sql/servers', concat(parameters('name1')))]"
      ]
    ]
  ]
}
```

Answer:

Answer Area

```
{
  "resources": [
    {
      "type": "Microsoft.Sql/servers",
      "apiVersion": "2020-02-02-preview",
      "name": "[parameters('name1')]",
      "location": "[parameters('location')]",
      ...
    }
  ],
  "resources": [
    {
      "type": "databases",
      "apiVersion": "2020-02-02-preview",
      "dependsOn": [
        "[resourceId('Microsoft.Sql/servers', concat(parameters('name1')))]"
      ],
      "properties": {
        "tags": {
          ...
        }
      }
    }
  ]
}
```

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/single-database-create-arm-template-quickstart>

最新問題: 106

注：この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Salesという名前のAzureSQLデータベースがあります。

次の要件を満たすには、Salesのディザスタリカバリを実装する必要があります。

*通常の操作中に、Salesの読み取り可能なコピーを少なくとも2つ提供します。

*データセンターに障害が発生した場合でも、セールスを引き続き利用できるようにします。

解決策: ビジネスクリティカルなサービス層とアベイラビリティゾーンを使用するAzureSQLデータベースをデプロイします。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

Answer: ([解答を表示する](#))

セクション [なし]

Explanation:

プレミアムおよびビジネスクリティカルなサービス層は、コンピューティングリソース (\$qlservr.exeプロセス)とストレージ (ローカルに接続されたSSD)を単一ノードに統合するプレミアム可用性モデルを活用します。高可用性は、コンピューティングとストレージの両方を追加のノードに複製して、3~4ノードのクラスターを作成することで実現されます。

デフォルトでは、プレミアム可用性モデルのノードのクラスターは同じデータセンターに作成されます。Azureアベイラビリティゾーンの導入により、SQLデータベースはビジネスクリティカルデータベースのさまざまなレプリカを同じリージョンのさまざまなアベイラビリティゾーンに配置できます。単一障害点を排除するために、制御リングも3つのゲートウェイリング (GW)として複数のゾーンに複製されます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/high-availability-sla>

有効な **DP-300** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **DP-300** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (**41030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 107

ホットスポット

DB1という名前のデータベースを含むAzure仮想マシン上にSQLServerがあります。

データベースはチェックサムエラーを報告します。

データベースを回復する必要があります。

どのようにステートメントを完成させる必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

ホットエリア：

Answer Area



USE master;

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

	▼
OFFLINE	
ONLINE	
SINGLE_USER	
TRUSTWORTHY	

WITH ROLLBACK IMMEDIATE;

DBCC CHECKDB ('DB1',

GO

	▼
NOINDEX	
PHYSICAL_ONLY	
REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS	
REPAIR_FAST	

WITH NO_INFOMSGS;

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

	▼
MULTI_USER;	
ONLINE;	
OPEN;	
TRUSTWORTHY;	

Answer:

Answer Area

USE master;

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

	▼
OFFLINE	
ONLINE	
SINGLE_USER	
TRUSTWORTHY	

WITH ROLLBACK IMMEDIATE;

DBCC CHECKDB ('DB1',

GO

	▼
NOINDEX	
PHYSICAL_ONLY	
REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS	
REPAIR_FAST	

WITH NO_INFOMSGS;

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

	▼
MULTI_USER;	
ONLINE;	
OPEN;	
TRUSTWORTHY;	

セクション [なし]

Explanation:

ボックス1 :SINGLE_USER

次のいずれかの修復オプションを使用するには、指定したデータベースがシングルユーザーモードである必要があります。

ボックス2 :REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS

REPAIR_ALLOW_DATA_LOSSは、報告されたすべてのエラーを修復しようとします。これらの修復により、データが失われる可能性があります。

注 :REPAIR_ALLOW_DATA_LOSSオプションはサポートされている機能ですが、データベースを物理的に整合性のある状態にするための最良のオプションであるとは限りません。成功した場合、REPAIR_ALLOW_DATA_LOSSオプションによってデータが失われる可能性があります。実際、ユーザーが最後の既知の正常なバックアップからデータベースを復元する場合よりも多くのデータが失われる可能性があります。

不正解：

REPAIR_FAST

下位互換性のためにのみ構文を維持します。修復アクションは実行されません。

ボックス3 :MULTI_USER

MULTI_USER

データベースに接続するための適切な権限を持つすべてのユーザーが許可されます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/database-console-commands/dbcc-checkdb-transact-sql>

最新問題: 108

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。の各質問

このシリーズには、定められた目標を達成する可能性のある独自のソリューションが含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がありますが、他の人は正しい解決策を持っていない可能性があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。結果として、これらは質問はレビュー画面に表示されません。

Salesという名前のAzureSQLデータベースがあります。

次の要件を満たすには、Salesのディザスタリカバリを実装する必要があります。

*通常の操作中に、Salesの読み取り可能なコピーを少なくとも2つ提供します。

*データセンターに障害が発生した場合でも、セールスを引き続き利用できるようにします。

解決策：汎用サービス層とフェールオーバーグループを使用するAzureSQLデータベースをデプロイします。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

Answer: B (メッセージを残す)

セクション {なし}

Explanation:

代わりに、ビジネスクリティカルなサービス層とアベイラビリティゾーンを使用するAzureSQLデータベースをデプロイします。

注 :プレミアムおよびビジネスクリティカルなサービス層は、統合されたプレミアム可用性モデルを活用します

単一ノード上のリソース (\$qlservr.exeプロセス)とストレージ (ローカルに接続されたSSD)を計算します。高い

可用性は、コンピューティングとストレージの両方を追加のノードに複製して3~4つ作成することで実現されます。

ノードクラスター。

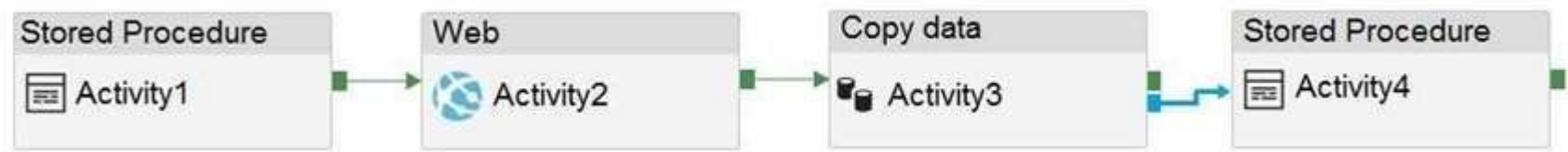
デフォルトでは、プレミアム可用性モデルのノードのクラスターは同じデータセンターに作成されます。とともに Azureアベイラビリティゾーンの導入により、SQLデータベースはビジネスクリティカルのさまざまなレプリカを配置できます 同じリージョン内の異なるアベイラビリティゾーンへのデータベース。単一障害点を排除するために、コントロールリング また、3つのゲートウェイリング GW)として複数のゾーンに複製されます。

参照：
<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/high-availability-sla>

最新問題: 109

ホットスポット

PipelineAとPipelineBという名前の2つのパイプラインを持つAzureデータファクトリがあります。
PipelineAには、次の展示に示すように4つのアクティビティがあります。



PipelineBには、次の展示に示すように2つのアクティビティがあります。



失敗したパイプラインを使用するデータファクトリのアラートを作成し、パイプラインとすべての失敗タイプの両方のメトリックを実行します。メトリックには次の設定があります。

- *演算子 :より大きい
- *集計タイプ : 合計
- *しきい値 2
- *集計粒度 (期間)5分
- *評価の頻度 :5分ごと

データファクトリモニタリングは、次の表に示す障害を記録します。

Pipeline	Activity	Time
PipelineA	Activity1	31-Jan-2020 10:44:00
PipelineA	Activity3	31-Jan-2020 10:47:00
PipelineB	Activity1	31-Jan-2020 10:50:00

次の各ステートメントについて、ステートメントがtrueの場合は、[はい]を選択します。それ以外の場合は、[いいえ]を選択します。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

ホットエリア：

Answer Area

Statements	Yes	No
An alert notification was sent after the failure of Activity1 in PipelineA.	☐	☐
An alert notification was sent after the failure of Activity3 in PipelineA.	☐	☐
An alert notification was sent after the failure of Activity1 in PipelineB.	☐	☐

Answer:

Answer Area

Statements	Yes	No
An alert notification was sent after the failure of Activity1 in PipelineA.	☐	☒
An alert notification was sent after the failure of Activity3 in PipelineA.	☐	☒
An alert notification was sent after the failure of Activity1 in PipelineB.	☐	☒

セクション [なし]

Explanation:

ボックス1 :いいえ

5分間隔内に1回だけ失敗。

ボックス2 :いいえ

5分間隔内に2回だけ失敗。

ボックス3 :いいえ

5分間隔内に2回だけ失敗。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/alerts/alerts-metric-overview>

最新問題: 110

SalesSQLDb1のフェイルオーバー後に、データベースにSalesSQLDb1App1がアクセスできるようにするには、どうすればよいですか。

- A. SalesSQLDb1を書き込み可能として構成します。
- B. SalesSQLDb1App1の接続文字列を更新します。
- C. SalesSQLDb1のファイアウォールルールを更新します。
- D. SalesSQLDb1のユーザーを更新します。

Answer: C (メッセージを残す)

シナリオ :SalesSQLDb1は、データベースファイアウォールルールと含まれているデータベースユーザーを使用します。

最新問題: 111

DB1という名前のデータベースを含むAzure仮想マシン上にSQLServerがあります。

データベースはチェックサムエラーを報告します。

データベースを回復する必要があります。

どのようにステートメントを完成させる必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

USE master;

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

▼

OFFLINE

ONLINE

SINGLE_USER

TRUSTWORTHY

WITH ROLLBACK IMMEDIATE;

DBCC CHECKDB ('DB1',

GO

▼

MOINDEX

PHYSICAL_ONLY

REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS

REPAIR_FAST

WITH NO_INFOMSGS;

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

▼

MULTI_USER;

ONLINE;

OPEN;

TRUSTWORTHY;

Microsoft

Answer:

USE master;

ALTER DATABASE [DB1] SET ▼ WITH ROLLBACK IMMEDIATE;

GO

DBCC CHECKDB ('DB1', ▼ WITH NO_INFOMSGS;

GO

ALTER DATABASE [DB1] SET ▼

GO

Microsoft

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/database-console-commands/dbcc-checkdb-transact-sql>

最新問題: 112

DB1という名前のデータベースを含むServer1という名前のオンプレミスのMicrosoftSQLServer2016サーバーがあります。

Azure Database Migration Serviceを使用して、DB1からAzureSQLDatabaseマネージドインスタンスへのオンライン移行を実行する必要があります。

DB1のバックアップをどのように構成する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Backup type: ▼

Full and log backups only

Full backup only

Log backup only

Microsoft

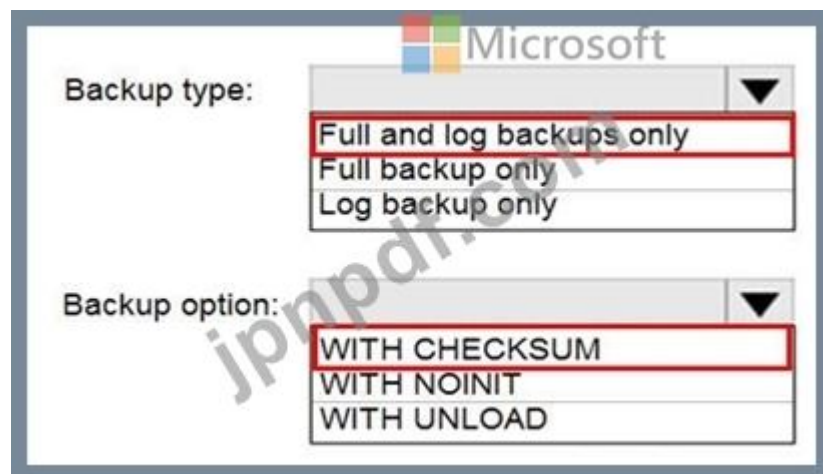
Backup option: ▼

WITH CHECKSUM

WITH NOINIT

WITH UNLOAD

Answer:



Microsoft

Backup type:

- Full and log backups only
- Full backup only
- Log backup only

Backup option:

- WITH CHECKSUM
- WITH NOINIT
- WITH UNLOAD

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/dms/known-issues-azure-sql-db-managed-instance-online>

最新問題: 113

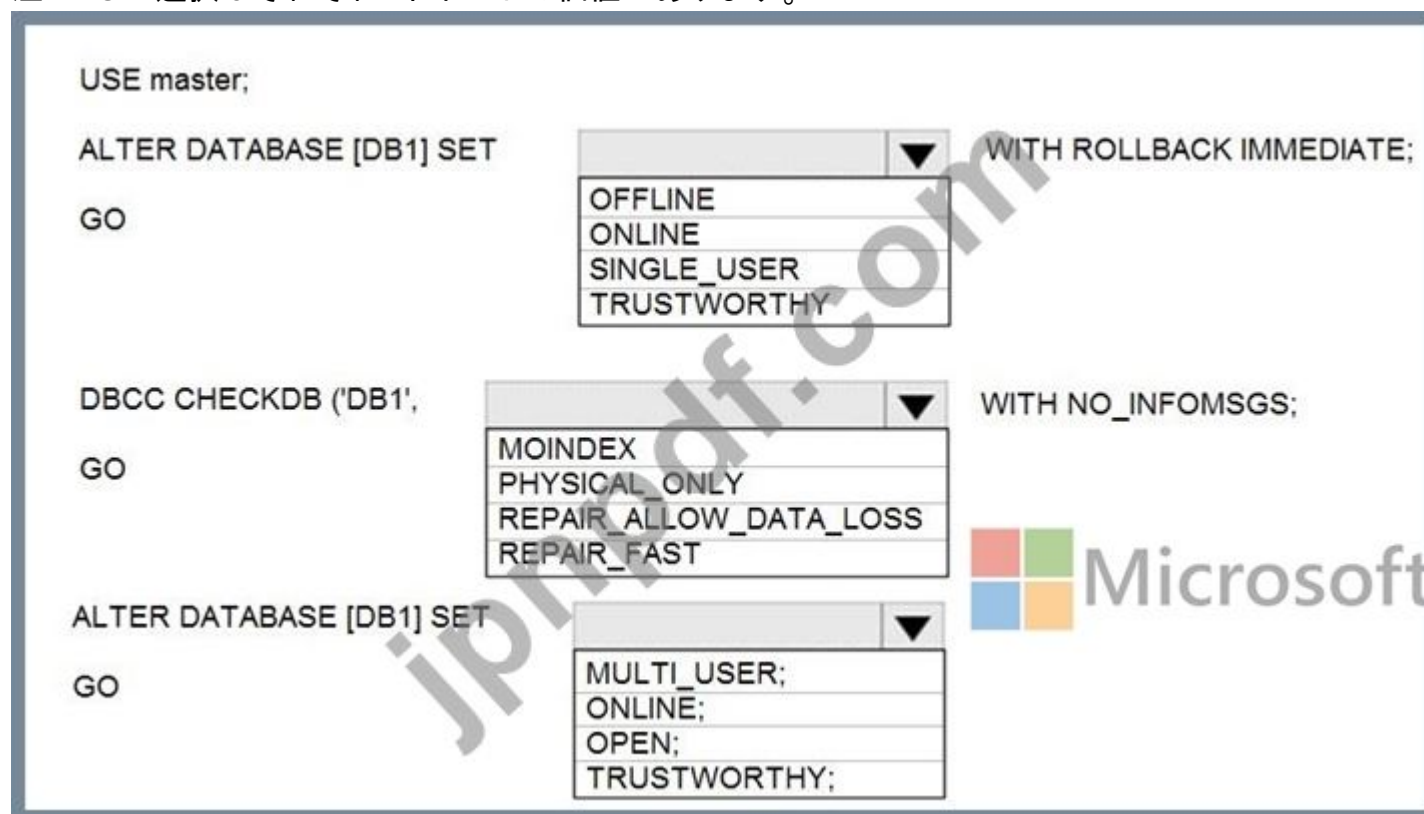
DB1という名前のデータベースを含むAzure仮想マシン上にSQLServerがあります。

データベースはチェックサムエラーを報告します。

データベースを回復する必要があります。

どのようにステートメントを完成させる必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



USE master;

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

DBCC CHECKDB ('DB1',

GO

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

WITH ROLLBACK IMMEDIATE;

- OFFLINE
- ONLINE
- SINGLE_USER
- TRUSTWORTHY

WITH NO_INFOMSGS;

- MOINDEX
- PHYSICAL_ONLY
- REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS
- REPAIR_FAST

MULTI_USER;

ONLINE;

OPEN;

TRUSTWORTHY;

Microsoft

Answer:

USE master;

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

	▼
OFFLINE	
ONLINE	
SINGLE_USER	
TRUSTWORTHY	

WITH ROLLBACK IMMEDIATE;

DBCC CHECKDB ('DB1',

GO

	▼
MOINDEX	
PHYSICAL_ONLY	
REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS	
REPAIR_FAST	

WITH NO_INFOMSGS;



ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

	▼
MULTI_USER;	
ONLINE;	
OPEN;	
TRUSTWORTHY;	

Explanation:

ボックス1 :SINGLE_USER

次のいずれかの修復オプションを使用するには、指定したデータベースがシングルユーザーモードである必要があります。

ボックス2 :REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS

REPAIR_ALLOW_DATA_LOSSは、報告されたすべてのエラーを修復しようとします。これらの修復により、データが失われる可能性があります。

注 :REPAIR_ALLOW_DATA_LOSSオプションはサポートされている機能ですが、データベースを物理的に整合性のある状態にするための最良のオプションであるとは限りません。成功した場合、REPAIR_ALLOW_DATA_LOSSオプションによってデータが失われる可能性があります。実際、ユーザーが最後の既知の正常なバックアップからデータベースを復元する場合よりも多くのデータが失われる可能性があります。

不正解：

REPAIR_FAST

下位互換性のためにのみ構文を維持します。修復アクションは実行されません。

ボックス3 :MULTI_USER

MULTI_USER

データベースに接続するための適切な権限を持つすべてのユーザーが許可されます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/database-console-commands/dbcc-checkdb-transact-sql>

最新問題: 114

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。の各質問

このシリーズには、定められた目標を達成する可能性のある独自のソリューションが含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がありますが、他の人は正しい解決策を持っていない可能性があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。結果として、これらは質問はレビュー画面に表示されません。

Server1とServer2という名前の2つのAzureSQLデータベースサーバーがあります。各サーバーにはAzureSQLが含まれていますDatabase1という名前のデータベース。

Database1をServer1からServer2に復元する必要があります。ソリューションは、上の既存のDatabase1を置き換える必要がありますサーバー2。

解決策 :Microsoft SQL Server Management Studio (SSMS)から、Server2のDatabase1の名前を次のように変更します。

データベース2。Azureポータルから、次のバックアップを復元することにより、Server2に新しいデータベースを作成します。

Server1からDatabase1を削除してから、Database2を削除します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

Answer: B (メッセージを残す)

セクション [なし]

Explanation:

代わりに、RESTORE Transact-SQLコマンドを使用してDatabase1をServer1からServer2に復元し、REPLACEオプション。

注 :REPLACEはめったに使用しないでください。また、慎重に検討した後でのみ使用してください。通常、復元は防止します誤ってデータベースを別のデータベースで上書きしてしまいました。データベースがRESTOREで指定されている場合

ステートメントは現在のサーバーにすでに存在し、指定されたデータベースファミリGUIDは

バックアップセットに記録されたデータベースファミリGUID。データベースは復元されません。これは重要な保護手段です。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/statements/restore-statements-transact-sql>

テストレット1

これはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。あなたはあなたと同じくらい多くの試験時間を使うことができます

それぞれのケースを完了したいと思います。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。

あなたはあなたがこの試験に含まれるすべての質問を完了することができることを確実にするためにあなたの時間を管理しなければなりません

提供された時間。

ケーススタディに含まれる質問に答えるには、で提供されている情報を参照する必要があります。

ケーススタディ。ケーススタディには、展示やその他のリソースが含まれている場合があります。

ケーススタディで説明されているシナリオ。この場合、各質問は他の質問から独立しています。

勉強。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、回答を確認して試験の次のセクションに進む前に変更を加えてください。新しいセクションを開始した後は、できませんこのセクションに戻ります。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。左側のペインのボタンを使用して探索します質問に答える前のケーススタディの内容。これらのボタンをクリックすると、次のような情報が表示されますビジネス要件、既存の環境、および問題の説明として。ケーススタディにすべてがある場合[情報]タブ。表示される情報は、後続の情報に表示される情報と同じであることに注意してください。タブ。質問に答える準備ができたなら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

Litware、Inc.は、ボストンに本社を置く再生可能エネルギー会社です。本社が営業を行っています部門および会社の主要なデータセンター。

物理的な場所

既存の環境

Litwareには製造オフィスがあり、研究オフィスはボストンの近くに別々の場所にあります。各オフィスには独自のデータセンターとインターネット接続。

製造および研究データセンターは、VPNを使用してプライマリデータセンターに接続します。

ネットワーク環境

プライマリデータセンターには、Microsoftピアリングとプライベートピアリングの両方を使用するExpressRoute接続があります。プライベートピアリングは、HubVNetという名前のAzure仮想ネットワークに接続します。

アイデンティティ環境

Litwareには、litwareinc.comという名前のドメインを使用するハイブリッドAzure Active Directory (Azure AD) 展開があります。すべてのAzureサブスクリプションは、litwareinc.com Azure ADテナントに関連付けられています。

データベース環境

営業部門には、次のデータベースワークロードがあります。

* SERVER1という名前のオンプレミスは、Microsoft SQL Server 2012のインスタンスと2つの1-TBをホストしますデータベース。

* SalesSrv01Aという名前の論理サーバーには、SalesSQLDb1という名前の地理的に複製されたAzure SQL データベースが含まれています。SalesSQLDb1は、SalesSQLDb1Poolという名前のエラスティックプールにあります。SalesSQLDb1はデータベースファイアウォールルールを使用します

含まれているデータベースユーザー。

*SalesSQLDb1App1という名前のアプリケーションはSalesSQLDb1を使用します。

製造オフィスには、SERVER2という名前の2つのオンプレミスSQL Server 2016サーバーとSERVER3。サーバーは、同じAlwaysOn可用性グループ内のノードです。可用性グループには、ManufacturingSQLDb1という名前のデータベース

データベース管理者は、Windowsを実行するVM1およびVM2という名前のHubVnetに2つのAzure仮想マシンを持っています

サーバー2019は、すべてのAzureデータベースを管理するために使用されます。

ライセンス契約

Litwareは、ソフトウェアアシュアランスによるライセンスモビリティを提供するマイクロソフトボリュームライセンスのお客様です。

現在の問題

SalesSQLDb1でパフォーマンスの問題が発生します。これは、統計が古く、頻繁にブロックされていることが原因である可能性があります。

クエリ。

要件

計画された変更

Litwareは、次の変更を実装する予定です。

* Azureに30個の新しいデータベースを実装します。これは、時間に敏感な製造アプリで使用されます。

さまざまな使用パターン。各データベースは約20GBになります。

*ResearchSrv01という名前の論理サーバー上にResearchDB1という名前の新しいAzureSQLデータベースを作成します。

ResearchDB1には、個人情報 (PII) データが含まれます。

*研究部門がデータを入力してアクセスするために使用するResearchApp1という名前のアプリを開発します

ResearchDB1。

*ManufacturingSQLDb1をAzure仮想マシンプラットフォームに移行します。

*SERVER1データベースをAzureSQLデータベースプラットフォームに移行します。

技術要件

Litwareは、次の技術要件を識別します。

*メンテナンスタスクは自動化する必要があります。

*30の新しいデータベースは自動的に拡張する必要があります。

*オンプレミスインフラストラクチャの使用を最小限に抑える必要があります。

* Azureハイブリッド使用のメリットは、AzureSQLデータベースの展開に活用する必要があります。

*CPUとストレージの使用量と制限に関連するすべてのSQLServerとAzureSQLデータベースのメトリックは

Azureの組み込み機能を使用して分析します。

セキュリティとコンプライアンスの要件

Litwareは、次のセキュリティおよびコンプライアンス要件を識別します。

*暗号化キーをAzureKeyVaultに保存します。

*PIIデータのバックアップを2か月間保持します。

*保存中、転送中、および使用中のPIIデータを暗号化します。

*可能な限り、最小特権の原則を使用してください。

*ActiveDirectoryの資格情報を使用してデータベースユーザーを認証します。

*データベースレベルのファイアウォールルールを使用して、AzureSQLデータベースインスタンスを保護します。

* Azureでホストされているすべてのデータベースに、パブリックに依存せずにVM1およびVM2からアクセスできることを確認します
エンドポイント。

ビジネス要件

Litwareは、次のビジネス要件を識別します。

*すべてのAzureデプロイメントで99.99%の可用性のSLAを満たします。

*SERVER1データベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑えます。

*ワークロードをAzureに移行する場合は、Azureハイブリッド使用のメリットを利用してください。

*すべての要件が満たされたら、可能な限りコストを最小限に抑えます。

最新問題: 115

Pool1という名前のAzureSynapseAnalytics専用SQLプールと、Account1という名前のAzure Data LakeStorageGen2アカウントがあります。

外部テーブルを使用して、Account1のファイルにアクセスすることを計画しています。

外部テーブルを作成するときに参照できるデータソースをPool1に作成する必要があります。

Transact-SQLステートメントをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

CREATE EXTERNAL DATA SOURCE source1

WITH

(LOCATION = 'https://account1.

blob

dfs

table

.core.windows.net',

PUSHDOWN = ON

TYPE = BLOB_STORAGE

TYPE = HADOOP

)

Answer:

REATE EXTERNAL DATA SOURCE source1

ITH

(LOCATION = 'https://account1.

blob

dfs

table

.core.windows.net'

PUSHDOWN = ON

TYPE = BLOB_STORAGE

TYPE = HADOOP

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/sql/develop-tables-external-tables>

最新問題: 116

Azure仮想マシン上にSQLServerがあります。

次の要件を満たす4TBボリュームを追加する必要があります。

プロプライエタリシステムドライブ (\$SD)を使用

あなたは何をすべきか？

- A. ミラーリングされた2つの4TBSSDを接続します。
- B. 4つの1TBSSDを含むストライプセットを接続します。

C. 5つの1TBSSDを含むRAID-5アレイを接続します。

D. 単一の4TBSSDを接続します。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/virtual-machines/windows/storage-configuration?tabs=windows2016>

最新問題: 117

Azure Databricksで、Rを第一言語としてサポートするだけでなく、ScalaとSQLもサポートする新しいノートブックを作成しています。

言語を切り替えるには、どのスイッチを使用する必要がありますか？

A. エラー！ハイパーリンク参照が無効です。]

B. %<言語>

C. エラー！ハイパーリンク参照が無効です。]

D. @<言語>

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

セルの先頭に言語マジックコマンド%<language>を指定すると、デフォルトの言語を上書きできます。サポートされているマジックコマンドは、%python、%r、%scala、および%sqlです。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/databricks/notebooks/notebooks-use>

最新問題: 118

Azure Synapse Analyticsで、Customersという名前のテーブルを含むエンタープライズデータウェアハウスを設計しています。顧客にはクレジットカード情報が含まれます。

営業担当者に顧客のすべてのエントリを表示する機能を提供するソリューションを推奨する必要があります。

このソリューションでは、すべての営業担当者がクレジットカード情報を表示または推測できないようにする必要があります。

推奨事項には何を含める必要がありますか？

A. 行レベルのセキュリティ

B. データマスキング

C. 常に暗号化

D. 列レベルのセキュリティ

Answer: B ([メッセージを残す](#))

セクション {なし}

Explanation:

Azure SQLデータベース、Azure SQLマネージドインスタンス、およびAzure Synapse Analyticsは、動的データマスキングをサポートしています。動的データマスキングは、非特権ユーザーにデータをマスキングすることにより、機密データの公開を制限します。

クレジットカードのマスキング方法では、指定されたフィールドの最後の4桁が公開され、クレジットカードの形式でプレフィックスとして定数文字列が追加されます。

例：

XXXX-XXXX-XXXX-1234

最新問題: 119

DB1という名前のデータベースをホストするオンプレミスのMicrosoftSQLServer2019インスタンスがあります。

Azure Database Migration Serviceを使用して、DB1からAzureSQL マネージドインスタンスへのオンライン移行を実行することを計画しています。

Azure DatabaseMigrationServiceにアクセスできるDB1のバックアップを作成する必要があります。

バックアップのために何を実行し、バックアップをどこに保存する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Run:

A full backup and a log backup appended to the same file by using the WITH CHECKSUM option

A full backup and a log backup to separate files by using the WITH CHECKSUM option

A full backup and a log backup to separate files by using the WITH FILE_SNAPSHOT option

Store the backup in:

A Recovery Services vault

An Azure Blob storage account

An SMB file share



Answer:

Run:

A full backup and a log backup appended to the same file by using the WITH CHECKSUM option

A full backup and a log backup to separate files by using the WITH CHECKSUM option

A full backup and a log backup to separate files by using the WITH FILE_SNAPSHOT option

Store the backup in:

A Recovery Services vault

An Azure Blob storage account

An SMB file share

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/dms/tutorial-sql-server-managed-instance-online>

最新問題: 120

役割の割り当てを評価しています。

次の各ステートメントについて、ステートメントがtrueの場合は、[はい]を選択します。それ以外の場合は、[いいえ]を選択します。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Statements	Yes	No
DBAGroup1 will be able to sign in to each customer's Azure SQL database by using Azure Data Studio.	☐	☐
DBAGroup1 will be able to assign the SQL DB Contributor role to other users.	☐	☐
DBAGroup2 will be able to create a new Azure SQL database on each customer's Azure SQL Database server.	☐	☐

Answer:

Statements	Yes	No
DBAGroup1 will be able to sign in to each customer's Azure SQL database by using Azure Data Studio.	☒	☐
DBAGroup1 will be able to assign the SQL DB Contributor role to other users.	☐	☒
DBAGroup2 will be able to create a new Azure SQL database on each customer's Azure SQL Database server.	☒	☐

Explanation:

ボックス1 :はい

DBAGroup1は、寄稿者ロールのメンバーです。

寄稿者の役割は、すべてのリソースを管理するためのフルアクセスを許可しますが、Azure RBACでの役割の割り当て、Azure ブレープリン トでの割り当ての管理、またはイメージギャラリーの共有を許可しません。

ボックス2 :いいえ

ボックス3 :はい

DBAGroup2は、SQLDBコントリビューターロールのメンバーです。

SQL DBコントリビューターロールを使用すると、SQLデータベースを管理できますが、それらにアクセスすることはできません。また、セ キュリティ関連のポリシーや親SQLサーバーを管理することはできません。このロールのメンバーとして、SQLデータベースを作成および 管理できます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/role-based-access-control/built-in-roles>

最新問題: 121

複数の会社をサポートするAzureSynapseAnalytics専用SQLプールのセキュリティモデルを設計しています。

各会社のユーザーがそれぞれの会社のデータのみを表示できるようにする必要があります。

ソリューションに含める必要がある2つのオブジェクトはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

A. 列暗号化キー

B. 非対称鍵

- C. 関数
- D. カスタムの役割ベースのアクセス制御 (RBAC)の役割
- E. セキュリティポリシー

Answer: D,E (メッセージを残す)

Azure RBACは、SynapseワークスペースとそのSQLプール、Apache Sparkプール、およびIntegrationランタイムを作成、更新、または削除できるユーザーを管理するために使用されます。

Azureポリシーを使用して、専用SQLプールに関連するリソースのネットワークセキュリティ構成を定義および実装します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/security/synapse-workspace-synapse-rbac>

<https://docs.microsoft.com/en-us/security/benchmark/azure/baselines/synapse-analytics-security-baseline>

有効な **DP-300** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **DP-300** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (**41030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 122

Azure仮想マシン上にSQLServerがあります。

Microsoft SQL Serverのポリシーベースの管理を使用して、命名規則に準拠していないストアードプロシージャを特定する必要があります。順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

Export a built-in policy.

Create a custom policy based on a condition.

Create a custom condition based on a built-in facet.

View the policy history.

Import a policy file.

Run a policy evaluation.

Answer Area

←

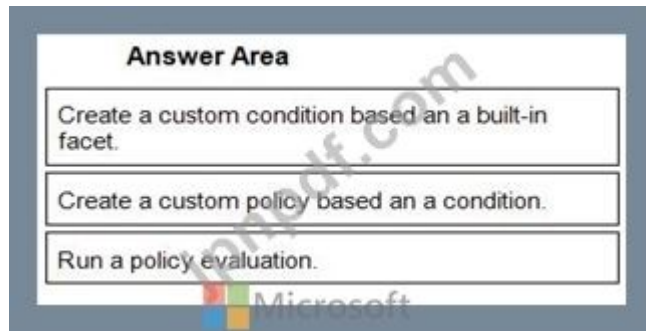
→

↑

↓



Answer:



1-組み込みファセットに基づいてカスタム条件を作成します。

2-条件に基づいてカスタムポリシーを作成します。

3-ポリシー評価を実行します。

参照：

<https://www.mssqltips.com/sqlservertip/2298/enforce-sql-server-database-naming-conventions-using-policy-based-management/>

最新問題: 123

50個のAzureSQLデータベースがあります。

Azureでデータベースのサイズや料金階層などのデータベース設定が変更された場合は、データベースの所有者に通知する必要があります。

あなたは何をするべきか？

A. セキュリティログが有効になっているアクティビティログの診断設定を作成します。

B. データベースの場合、InstanceAndAppAdvancedメトリックが有効になっている診断設定を作成します。

C. メトリック信号タイプを使用するアラートルールを作成します。

D. アクティビティログシグナルタイプを使用するアラートルールを作成します。

Answer: D (メッセージを残す)

アクティビティログイベントアラートは、すべてのイベントでトリガーできます。または、特定の数のイベントが発生した場合にのみトリガーできます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/alerts-insights-configure-portal>

最新問題: 124

Azure仮想マシンを構築しています。

2つの1-TiB、P30プレミアムストレージディスクを仮想マシンに割り当てます。各ディスクは5,000IOPSを提供します。

MicrosoftSQLServerのオンプレミスインスタンスを仮想マシンに移行することを計画しています。インスタンスには、1.2TiBデータファイルを含むデータベースがあります。データベースには10,000IOPSが必要です。

データベースをサポートするには、仮想マシンのストレージを構成する必要があります。

どの3つのオブジェクトを順番に作成する必要がありますか？回答するには、適切なオブジェクトをオブジェクトのリストから回答領域に移動し、正しい順序で配置します。

Actions

a virtual disk that uses the stripe layout

a virtual disk that uses the mirror layout

a volume

a virtual disk that uses the simple layout

a storage pool

Answer Area

Microsoft

>

<

↑

↓

Answer:

Answer Area

Microsoft

a storage pool

a virtual disk that uses stripe layout

a volume

1-ストレージプール

2-ストライプレイアウトを使用する仮想ディスク

3-ボリューム

参照：

<https://hanu.com/hanu-how-to-striping-of-disks-for-azure-sql-server/>

最新問題: 125

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Server1とServer2という名前の2つのAzureSQLデータベースサーバーがあります。各サーバーには、Database1という名前のAzureSQLデータベースが含まれています。

Database1をServer1からServer2に復元する必要があります。ソリューションは、Server2上の既存のDatabase1を置き換える必要があります。

解決策 Azureポータルから、Server2からDatabase1を削除してから、Server1からのDatabase1のバックアップを使用して、Server2上に新しいデータベースを作成します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

Answer: B (メッセージを残す)

セクション [なし]

Explanation:

代わりに、RESTORE Transact-SQLコマンドとREPLACEオプションを使用して、Database1をServer1からServer2に復元します。

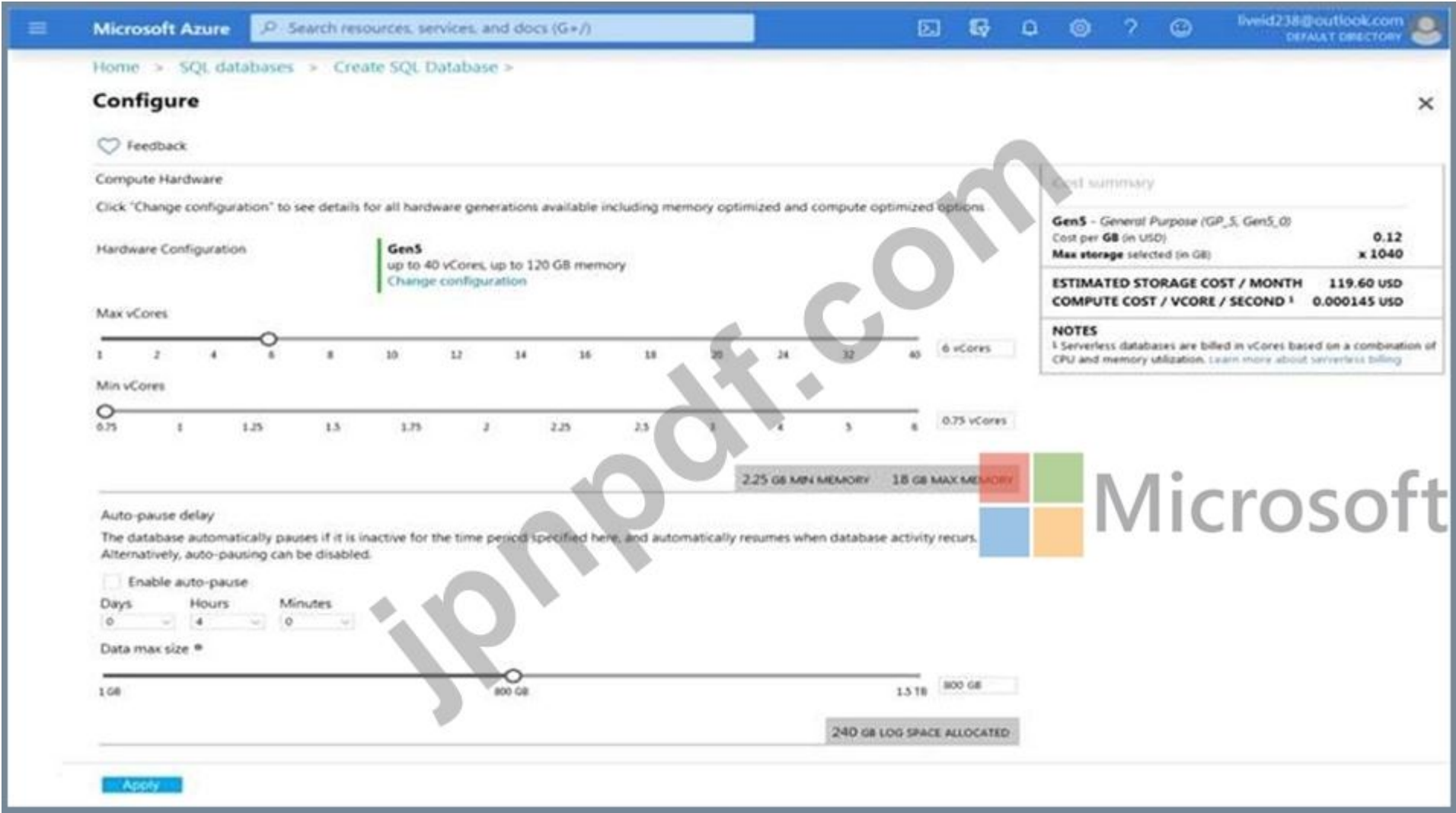
注 :REPLACEはめったに使用しないでください。また、慎重に検討した後でのみ使用してください。復元は通常、データベースを別のデータベースで誤って上書きすることを防ぎます。RESTOREステートメントで指定されたデータベースが現在のサーバーにすでに存在し、指定されたデータベースファミリGUIDがバックアップセットに記録されているデータベースファミリGUIDと異なる場合、データベースは復元されません。これは重要な保護手段です。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/statements/restore-statements-transact-sql>

最新問題: 126

次の展示に示すように、AzureポータルでAzureSQLデータベースをプロビジョニングしています。



ドロップダウンメニューを使用して、図に示されている情報に基づいて各ステートメントを完了する回答の選択肢を選択します。

注 : 正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

After four hours of inactivity, the database requires [answer choice] to resume operations for new activities.

▼
no extra time
up to 10 minutes
up to one minute

The database configuration reduces the cost of [answer choice] usage patterns.

▼
intermittent and unpredictable
regular and high
steady and low

Answer:

After four hours of inactivity, the database requires [answer choice] to resume operations for new activities.

▼
no extra time
up to 10 minutes
up to one minute

The database configuration reduces the cost of [answer choice] usage patterns.

▼
intermittent and unpredictable
regular and high
steady and low

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/serverless-tier-overview>

最新問題: 127

DB1という名前のデータベースを含むAzure仮想マシン上にSQLServerがあります。

DB1にクエリを実行して売上レポートを生成するアプリケーションがあります。

クエリが最後に実行されたときのパラメータ値を確認する必要があります。

実行する必要がある2つのアクションはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

A. マスターデータベースでLast_Query_Plan_Statを有効にする

B. DB1でLightweight_Query_Profilingを有効にする

C. Last_Query_Plan_StatsinDB1を有効にする

D. マスターデータベースでLightweight_Query_Profilingを有効にします

E. DB1でPARAMETER_SNIFFINGを有効にします

Answer: A,C (メッセージを残す)

セクション {なし}

Explanation:

Last_Query_Plan_Statsを使用すると、sys.dm_exec_query_plan_statsで最後のクエリプラン統計（実際の実行プランに相当）の収集を有効

または無効にできます。
軽量プロファイリングは、LIGHTWEIGHT_QUERY_PROFILINGデータベーススコープ構成を使用してデータベースレベルで無効にできます。
ALTER DATABASE SCOPED CONFIGURATION SET LIGHTWEIGHT_QUERY_PROFILING=OFF;。
不正解：

E :パラメータ感度は、「パラメータスニッフィング」とも呼ばれ、SQL Serverがコンパイルまたは再コンパイル中に現在のパラメータ値を「スニッフィング」し、クエリオプティマイザに渡して、潜在的により多くの値を生成するために使用できるようにするプロセスを指します。効率的なクエリ実行プラン。

次のタイプのバッチのコンパイルまたは再コンパイル中に、パラメーター値がスニッフィングされます。

*ストアードプロシージャ

*sp_executesqlを介して送信されたクエリ

*準備されたクエリ

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/performance/query-profiling-infrastructure>

最新問題: 128

AzureSQLデータベースがあります。

プランキャッシュが、一度だけ使用されたコンパイル済みプランでいっぱいであることがわかります。

select *from sys.database_scoped_configurationsTransact-SQLコマンドを実行して

次の表に示す結果を受け取ります。

configuration_id	name	value	is_value_default
1	LEGACY_CARDINALITY_ESTIMATION	0	1
2	QUERY_OPTIMIZER_HOTFIXES	0	1
3	OPTIMIZE_FOR_AD_HOC_WORKLOADS	0	1
4	ACCELERATED_PLAN_FORCING	1	1

あなたは記憶の圧力を和らげる必要があります。

何を設定する必要がありますか？

- A. LEGACY_CARDINALITY_ESTIMATION
- B. QUERY_OPTIMIZER_HOTFIXES
- C. OPTIMIZE_FOR_AD_HOC_WORKLOADS
- D. ACCELERATED_PLAN_FORCING

Answer: C (メッセージを残す)

セクション {なし}

Explanation:

OPTIMIZE_FOR_AD_HOC_WORKLOADS = {ON | オフ }

バッチが初めてコンパイルされるときに、コンパイルされたプランスタブがキャッシュに格納されることを有効または無効にします。The デフォルトはOFFです。データベーススコープの構成OPTIMIZE_FOR_AD_HOC_WORKLOADSが有効になったらデータベースの場合、バッチが初めてコンパイルされるときに、コンパイルされたプランスタブがキャッシュに保存されます。プランスタブは、完全にコンパイルされたプランのサイズと比較して、メモリフットプリントが小さくなります。

不正解：

A :LEGACY_CARDINALITY_ESTIMATION = {ON | オフ | 主要な }

クエリオプティマイザのカーディナリティ 推定モデルをSQLServer2012以前のバージョンに設定できます

データベースの互換性レベルに依存しません。デフォルトはOFFで、クエリオプティマイザを設定します
データベースの互換性レベルに基づくカーディナリティ推定モデル。

B :QUERY_OPTIMIZER_HOTFIXES = {ON | オフ | 主要な }

データベースの互換性レベルに関係なく、クエリ最適化修正プログラムを有効または無効にします。デフォルトはオフです。これにより、利用可能な最高の互換性の後にリリースされたクエリ最適化修正プログラムが無効になります。レベルは特定のバージョン (RTM後)に導入されました。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/statements/alter-database-scoped-configuration-transact-sql>

最新問題: 129

2つの100GBデータベースをAzureに移動することを計画しています。

ワークロードに基づいてリソース消費を動的にスケーリングする必要があります。ソリューションは最小化する必要があります
スケーリング操作中のダウンタイム。

何を使うべきですか？

- A. AzureSQLデータベースのエラスティックプール
- B. Azure仮想マシン上のSQL Server
- C. AzureSQLデータベースの管理対象インスタンス
- D. AzureSQLデータベース

Answer: A ([メッセージを残す](#))

セクション {なし}

Explanation:

Azure SQL Databaseエラスティックプールは、複数を管理およびスケーリングするためのシンプルで費用効果の高いソリューションです。さまざまに予測不可能な使用要求があるデータベース。エラスティックプール内のデータベースは単一のサーバーで、設定された数のリソースを設定された価格で共有します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/elastic-pool-overview>

最新問題: 130

ドラッグドロップ

SERVER1データベースのユーザー認証を構成する必要があります。ソリューションはセキュリティを満たす必要があります
およびコンプライアンス要件。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？答えるには、リストから適切なアクションを移動します
回答エリアへのアクションと正しい順序でそれらを配置します。

選択して配置 :

Actions

Create a user in the master database

Modify the Azure SQL server administrator account

Create contained database users

Create an Azure AD administrator for the logical server

Connect to the databases by using an Azure AD account

Enable the contained database authentication option

Answer Area

>

<

Microsoft

Answer:

Actions

Create a user in the master database

Modify the Azure SQL server administrator account

Create contained database users

Create an Azure AD administrator for the logical server

Connect to the databases by using an Azure AD account

Enable the contained database authentication option

Answer Area

>

<

Create an Azure AD administrator for the logical server

Create contained database users

Connect to the databases by using an Azure AD account

セクション [なし]

Explanation:

シナリオ ActiveDirectoryの資格情報を使用してデータベースユーザーを認証します。
構成手順には、AzureActiveDirectoryを構成して使用するための次の手順が含まれます
認証。

- 1.AzureADを作成してデータを入力します。
- 2.オプション：現在Azureサブスクリプションに関連付けられているActiveDirectoryを関連付けるか変更します。

- 3. AzureActiveDirectory管理者を作成します。(ステップ1)
- 4. クライアントコンピューターを構成します。
- 5. AzureADIDにマップされたデータベースに含まれるデータベースユーザーを作成します。(ステップ2)
- 6. AzureADIDを使用してデータベースに接続します。(ステップ3)

参照：
<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/authentication-aad-overview>

最新問題: 131
server1という名前のサーバー上にdb1という名前のAzureSQLデータベースがあります。
db1のMAXDOP設定を変更する必要があります。
あなたは何をすべきか？
A. db1に接続し、sp_configureコマンドを実行します。
B. server1のマスターデータベースに接続し、sp_configureコマンドを実行します。
C. db1の拡張プロパティを構成します。
D. db1のデータベーススコープ構成を変更します。

Answer: D (メッセージを残す)
参照：
<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/configure-max-degree-of-parallelism>

最新問題: 132
Azureサブスクリプション内のすべての新規および既存のAzureSQLデータベースデプロイメントに20の組み込みAzureポリシー定義を適用する必要があります。ソリューションは、管理作業を最小限に抑える必要があります。
順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

Duplicate Azure Policy definitions

Run Azure Policy remediation tasks

Create an Azure Blueprints assignment

Create an Azure Policy initiative

Create an Azure Policy initiative assignment

Answer Area

Microsoft

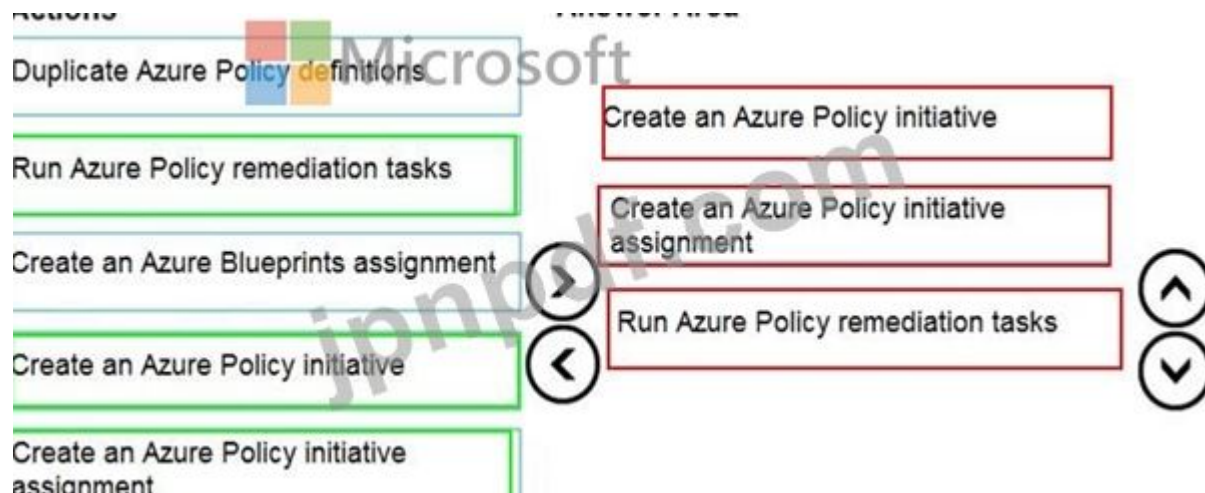
➡

⬅

⬆

⬆

Answer:



Explanation:

ステップ1 :Azureポリシーイニシアチブを作成する

Azureポリシーへの準拠を強制するための最初のステップは、ポリシー定義を割り当てることです。ポリシー定義は、ポリシーが適用される条件と実行する効果を定義します。

イニシアチブ定義を使用すると、複数のポリシー定義をグループ化して、1つの包括的な目標を達成できます。イニシアチブは、割り当ての範囲内のリソースを評価して、含まれているポリシーに準拠しているかどうかを確認します。

手順2 :Azureポリシーイニシアチブの割り当てを作成する

前の手順で作成したイニシアチブ定義を割り当てます。

手順3 :Azureポリシー修復タスクを実行する

ポリシーイニシアチブを既存のSQLデータベースに適用します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/governance/policy/tutorials/create-and-manage>

最新問題: 133

DB1という名前のAzureSQLデータベースがあります。DB1の自動チューニング オプションは、次の図に示すように構成されています。

 Azure SQL Database built-in intelligence automatically tunes your databases to optimize performance. Click here to learn more about automatic tuning. 

Inherit from: 

 The database is inheriting automatic tuning configuration from Azure defaults.

Configure the automatic tuning options 

OPTION	DESIRED STATE	CURRENT STATE
 FORCE PLAN	ON OFF <input checked="" type="button" value="INHERIT"/>	ON Auto-configured by Azure
 CREATE INDEX	ON OFF <input checked="" type="button" value="INHERIT"/>	ON Auto-configured by Azure
 DROP INDEX	<input checked="" type="button" value="ON"/> OFF INHERIT	ON Forced by user

次の各ステートメントについて、ステートメントがtrueの場合は、[はい]を選択します。それ以外の場合は、[いいえ]を選択します。
注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Statements	Yes	No
Nonclustered indexes will be added to tables to improve performance.	☐	☐
Columns will be added to existing indexes automatically.	☐	☐
The query execution plan will revert to a previous plan if query performance degrades.	☐	☐

Answer:

Statements	Yes	No
Nonclustered indexes will be added to tables to improve performance.	☒	☐
Columns will be added to existing indexes automatically.	☐	☒
The query execution plan will revert to a previous plan if query performance degrades.	☒	☐

最新問題: 134

ドラッグドロップ

Azure仮想マシンを構築しています。

2つの1-TiB、P30プレミアムストレージディスクを仮想マシンに割り当てます。各ディスクは5,000IOPSを提供します。

MicrosoftSQLServerのオンプレミスインスタンスを仮想マシンに移行することを計画しています。インスタンスには

1.2-TiBデータファイルを含むデータベース。データベースには10,000IOPSが必要です。

データベースをサポートするには、仮想マシンのストレージを構成する必要があります。

どの3つのオブジェクトを順番に作成する必要がありますか？答えるには、リストから適切なオブジェクトを移動します

回答エリアにオブジェクトを配置し、正しい順序で配置します。

選択して配置：

Actions

a virtual disk that uses the stripe layout

a virtual disk that uses the mirror layout

a volume

a virtual disk that uses the simple layout

a storage pool

Answer Area

>

<

↑

↓

Answer:

Actions

a virtual disk that uses the stripe layout

a virtual disk that uses the mirror layout

a volume

a virtual disk that uses the simple layout

a storage pool

Answer Area

a storage pool

a virtual disk that uses the stripe layout

a volume

セクション [なし]

Explanation:

次の同じ手順に従って、ストライプ仮想ディスクを作成します。

*ログストレージプールを作成します。

*仮想ディスクを作成する

*ボリュームを作成

ボックス1 :ストレージプール

ボックス2 :ストライプレイアウトを使用する仮想ディスク

ディスクストライピング：複数のディスクを使用し、それらを一緒にストライプ化して、IOPSとスループットの制限を組み合わせで高くします。

VMごとの合計制限は、接続されているプレミアムディスクの合計制限よりも高くする必要があります。

ボックス3 :ボリューム

参照：

<https://hanu.com/hanu-how-to-striping-of-disks-for-azure-sql-server/>

最新問題: 135

AzureSQLデータベースの可用性戦略を推奨する必要があります。戦略は、次の要件を満たす必要があります。

*クライアントアプリケーションが接続文字列を変更する必要のないフェイルオーバーをサポートします。

*データベースをセカンダリAzureリージョンに複製します。

*セカンダリリージョンへのフェイルオーバーをサポートします。

推奨事項には何を含める必要がありますか？

A. フェイルオーバーグループ

B. トランザクションレプリケーション

C. アベイラビリティゾーン

D. ジオレプリケーション

Answer: D (メッセージを残す)

アクティブジオレプリケーションは、同じまたは異なるデータセンター（リージョン）内のサーバー上に個々のデータベースの読み取り可能なセカンダリデータベースを作成できるようにするAzureSQLデータベース機能です。

不正解：

C :アベイラビリティゾーンは、リージョン内の一意の物理的な場所です。各ゾーンは、独立した電源、冷却、およびネットワークを備えた1つ以上のデータセンターで構成されています。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/active-geo-replication-overview>

トピック1、Litwareの既存の環境

ネットワーク環境

製造および研究データセンターは、VPNを使用してプライマリデータセンターに接続します。

プライマリデータセンターには、Microsoftピアリングとプライベートピアリングの両方を使用するExpressRoute接続があります。プライベートピアリングは、HubVNetという名前のAzure仮想ネットワークに接続します。

アイデンティティ環境

Litwareには、litwareinc.comという名前のドメインを使用するハイブリッドAzure Active Directory（Azure AD）展開があります。すべてのAzureサブスクリプションは、litwareinc.com Azure ADテナントに関連付けられています。

データベース環境

営業部門には、次のデータベースワークロードがあります。

* SERVER1という名前のオンプレミスは、Microsoft SQL Server 2012のインスタンスと2つの1-TBデータベースをホストします。

* SalesSrv01Aという名前の論理サーバーには、SalesSQLDb1という名前の地理的に複製されたAzureSQLデータベースが含まれています。SalesSQLDb1は、SalesSQLDb1Poolという名前のエラスティックプールにあります。SalesSQLDb1は、データベースファイアウォールルールと含まれているデータベースユーザーを使用します。

* SalesSQLDb1App1という名前のアプリケーションはSalesSQLDb1を使用します。

製造オフィスには、SERVER2とSERVER3という名前の2つのオンプレミスSQL Server 2016サーバーが含まれています。サーバーは、同じAlwaysOn可用性グループ内のノードです。可用性グループには、ManufacturingSQLDb1という名前のデータベースが含まれます。データベース管理者は、Windows Server 2019を実行し、すべてのAzureデータベースを管理するために使用されるVM1およびVM2という名前の2つのAzure仮想マシンをHubVnetに持っています。

ライセンス契約

Litwareは、ソフトウェアアシュアランスによるライセンスモビリティを提供するマイクロソフトボリュームライセンスのお客様です。

現在の問題

SalesSQLDb1でパフォーマンスの問題が発生します。これは、古い統計と頻繁なブロッキングクエリが原因である可能性があります。

要件

計画された変更

Litwareは、次の変更を実装する予定です。

* Azureに30個の新しいデータベースを実装します。これらのデータベースは、さまざまな使用パターンを持つ時間に敏感な製造アプリで使用されます。各データベースは約20GBになります。

* ResearchSrv01という名前の論理サーバー上にResearchDB1という名前の新しいAzureSQLデータベースを作成します。ResearchDB1には、個人情報（PII）データが含まれます。

* ResearchApp1という名前のアプリを開発します。このアプリは、研究部門がResearchDB1にデータを入力してアクセスするために使用し

ます。

*ManufacturingSQLDb1をAzure仮想マシンプラットフォームに移行します。

*SERVER1データベースをAzureSQLデータベースプラットフォームに移行します。

技術要件

Litwareは、次の技術要件を識別します。

*メンテナンスタスクは自動化する必要があります。

*30の新しいデータベースは自動的に拡張する必要があります。

*オンプレミスインフラストラクチャの使用を最小限に抑える必要があります。

* Azureハイブリッド使用のメリットは、AzureSQLデータベースの展開に活用する必要があります。

*CPUとストレージの使用量と制限に関連するすべてのSQLServerとAzureSQLDatabaseのメトリックは、Azureの組み込み機能を使用して分析する必要があります。

セキュリティとコンプライアンスの要件

Litwareは、次のセキュリティおよびコンプライアンス要件を識別します。

*暗号化キーをAzureKeyVaultに保存します。

*PIIデータのバックアップを2か月間保持します。

*保存中、転送中、および使用中のPIIデータを暗号化します。

*可能な限り、最小特権の原則を使用してください。

*ActiveDirectoryの資格情報を使用してデータベースユーザーを認証します。

*データベースレベルのファイアウォールルールを使用して、AzureSQLデータベースインスタンスを保護します。

*パブリックエンドポイントに依存せずに、AzureでホストされているすべてのデータベースにVM1およびVM2からアクセスできることを確認します。

ビジネス要件

Litwareは、次のビジネス要件を識別します。

*すべてのAzureデプロイメントで99.99%の可用性のSLAを満たします。

*SERVER1データベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑えます。

*ワークロードをAzureに移行する場合は、Azureハイブリッド使用のメリットを利用してください。

*すべての要件が満たされたら、可能な限りコストを最小限に抑えます。

最新問題: 136

AzureSQLデータベースがあります。データベースには、列ストアインデックスを使用し、アクセス頻度が低いテーブルが含まれています。

列ストアのアーカイブ圧縮を有効にします。

構成の2つの可能な結果は何ですか？それぞれの正解は完全な解決策を提示します。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

A. インデックスを使用するクエリは、より多くのディスクI/Oを消費します。

B. インデックスを使用するクエリでは、取得するデータページが少なくなります。

C. インデックスはより多くのディスクスペースを消費します。

D. インデックスはより多くのメモリを消費します。

E. インデックスを使用するクエリは、より多くのCPUリソースを消費します。

Answer: B,E ([メッセージを残す](#))

セクション [なし]

Explanation:

行ストアのテーブルとインデックスの場合は、データ圧縮機能を使用してデータベースのサイズを縮小します。スペースの節約に加えて、データ圧縮は、データがより少ないページに格納され、クエリがディスクからより少ないページを読み取る必要があるため、I/Oを集中的に使用するワークロードのパフォーマンスを向上させるのに役立ちます。

列ストアアーカイブ圧縮を使用して、データを格納および取得するための余分な時間とCPUリソースを確保できる状況で、データサイズをさらに削減します。

有効な **DP-300** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **DP-300** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (**41030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 137

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。
Server1とServer2という名前の2つのAzureSQLデータベースサーバーがあります。各サーバーには、Database1という名前のAzureSQLデータベースが含まれています。

Database1をServer1からServer2に復元する必要があります。ソリューションは、Server2上の既存のDatabase1を置き換える必要があります。

解決策 :Microsoft SQL Server Management Studio (SSMS)から、Server2のDatabase1の名前をDatabase2に変更します。Azureポータルから、Server1からDatabase1のバックアップを復元することにより、Server2に新しいデータベースを作成してから、Database2を削除します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

Answer: ([解答を表示する](#))

代わりに、RESTORE Transact-SQLコマンドとREPLACEオプションを使用して、Database1をServer1からServer2に復元します。

注 :REPLACEはめったに使用しないでください。また、慎重に検討した後でのみ使用してください。復元は通常、データベースを別のデータベースで誤って上書きすることを防ぎます。RESTOREステートメントで指定されたデータベースが現在のサーバーにすでに存在し、指定されたデータベースファミリGUIDがバックアップセットに記録されているデータベースファミリGUIDと異なる場合、データベースは復元されません。これは重要な保護手段です。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/statements/restore-statements-transact-sql>T-SQLテストレットを使用した管理の実行1これはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。各ケースを完了するのに必要なだけの試験時間を使用できます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。提供された時間内にこの試験に含まれるすべての質問を確実に完了することができるよう、時間を管理する必要があります。

ケーススタディに含まれている質問に答えるには、ケーススタディで提供されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれている場合があります。このケーススタディでは、各質問は他の質問から独立しています。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることを注意してください。質問に答える準備ができたなら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

Litware、Inc.は、ボストンに本社を置く再生可能エネルギー会社です。本社には、営業部門と会社の主要なデータセンターがあります。

物理的な場所

既存の環境

Litwareには製造オフィスがあり、研究オフィスはボストンの近くに別々の場所にあります。各オフィスには、独自のデータセンターとインターネット接続があります。

製造および研究データセンターは、VPNを使用してプライマリデータセンターに接続します。

ネットワーク環境

プライマリデータセンターには、Microsoftピアリングとプライベートピアリングの両方を使用するExpressRoute接続があります。

プライベートピアリングは、HubVNetという名前のAzure仮想ネットワークに接続します。

アイデンティティ環境

Litwareには、litwareinc.comという名前のドメインを使用するハイブリッドAzure Active Directory (Azure AD) 展開があります。

すべてのAzureサブスクリプションは、litwareinc.com Azure ADテナントに関連付けられています。

データベース環境

営業部門には、次のデータベースワークロードがあります。

* SERVER1という名前のオンプレミスは、Microsoft SQL Server 2012のインスタンスと2つの1-TBデータベースをホストします。

* SalesSrv01Aという名前の論理サーバーには、SalesSQLDb1という名前の地理的に複製されたAzure SQLデータベースが含まれています。

SalesSQLDb1は、SalesSQLDb1Poolという名前のエラスティックプールにあります。SalesSQLDb1は、データベースファイアウォールルールと含まれているデータベースユーザーを使用します。

* SalesSQLDb1App1という名前のアプリケーションはSalesSQLDb1を使用します。

製造オフィスには、SERVER2とSERVER3という名前の2つのオンプレミスSQL Server 2016サーバーが含まれています。サーバーは、同じAlwaysOn可用性グループ内のノードです。可用性グループには、ManufacturingSQLDb1という名前のデータベースが含まれます。データベース管理者は、Windows Server 2019を実行し、すべてのAzureデータベースを管理するために使用されるVM1およびVM2という名前の2つのAzure仮想マシンをHubVnetに持っています。

ライセンス契約

Litwareは、ソフトウェアアシュアランスによるライセンスモビリティを提供するマイクロソフトボリュームライセンスのお客様です。

現在の問題

SalesSQLDb1でパフォーマンスの問題が発生します。これは、古い統計と頻繁なブロッキングクエリが原因である可能性があります。

要件

計画された変更

Litwareは、次の変更を実装する予定です。

- * Azureに30個の新しいデータベースを実装します。これらのデータベースは、さまざまな使用パターンを持つ時間に敏感な製造アプリで使用されます。各データベースは約20GBになります。
- * ResearchSrv01という名前の論理サーバー上にResearchDB1という名前の新しいAzureSQLデータベースを作成します。
- ResearchDB1には、個人情報 (PII) データが含まれます。
- * ResearchApp1という名前のアプリを開発します。このアプリは、研究部門がResearchDB1にデータを入力してアクセスするために使用します。
- * ManufacturingSQLDb1をAzure仮想マシンプラットフォームに移行します。
- * SERVER1データベースをAzureSQLデータベースプラットフォームに移行します。

技術要件

Litwareは、次の技術要件を識別します。

- * メンテナンスタスクは自動化する必要があります。
- * 30の新しいデータベースは自動的に拡張する必要があります。
- * オンプレミスインフラストラクチャの使用を最小限に抑える必要があります。
- * Azureハイブリッド使用のメリットは、AzureSQLデータベースの展開に活用する必要があります。
- * CPUとストレージの使用量と制限に関連するすべてのSQLServerとAzureSQLDatabaseのメトリックは、Azureの組み込み機能を使用して分析する必要があります。

セキュリティとコンプライアンスの要件

Litwareは、次のセキュリティおよびコンプライアンス要件を識別します。

- * 暗号化キーをAzureKeyVaultに保存します。
- * PIIデータのバックアップを2か月間保持します。
- * 保存中、転送中、および使用中のPIIデータを暗号化します。
- * 可能な限り、最小特権の原則を使用してください。
- * ActiveDirectoryの資格情報を使用してデータベースユーザーを認証します。
- * データベースレベルのファイアウォールルールを使用して、AzureSQLデータベースインスタンスを保護します。
- * パブリックエンドポイントに依存せずに、AzureでホストされているすべてのデータベースにVM1およびVM2からアクセスできることを確認します。

ビジネス要件

Litwareは、次のビジネス要件を識別します。

- * すべてのAzureデプロイメントで99.99%の可用性のSLAを満たします。
- * SERVER1データベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑えます。
- * ワークロードをAzureに移行する場合は、Azureハイブリッド使用のメリットを利用してください。
- * すべての要件が満たされたら、可能な限りコストを最小限に抑えます。

最新問題: 138

Customerという名前のテーブルを含むAzureSQLデータベースがあります。顧客には、次の表に示す列があります。

Customer_ID	Customer_Name	Customer_Phone
11001	Contoso, Ltd.	555-555-0173
11002	Litware, Inc.	555-505-3124
11003	ADatum Corporation	555-689-4312

Customer_Phone列に動的データマスクを実装することを計画しています。マスクは次の要件を満たしている必要があります。

各顧客の電話番号の最初の6つの数字はマスクする必要があります。

各顧客の電話番号の下4桁が表示されている必要があります。

ハイフンは保持して表示する必要があります。

動的データマスクをどのように構成する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

Exposed Prefix:

▼

0

1

3

5

Padding String:

▼

X

XXXXXX

XXX-XXX

XXX-XXX-

x[3]-x[3]

Microsoft

Exposed Suffix:

▼

0

1

3

5

Answer:

Exposed Prefix:

0
1
3
5

Padding String:

X
XXXXXX
XXX-XXX
XXX-XXX-
x[3]-x[3]

Exposed Suffix:

0
1
3
5

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/security/dynamic-data-masking>

最新問題: 139

server1という名前のサーバー上にdb1という名前のAzureSQLデータベースがあります。

QueryPerformanceInsightを使用してdb1をモニターします。

パフォーマンス監視データをできるだけ早く利用できるようにするには、クエリストアの構成を変更する必要があります。

どの構成設定を変更し、どの値を構成する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

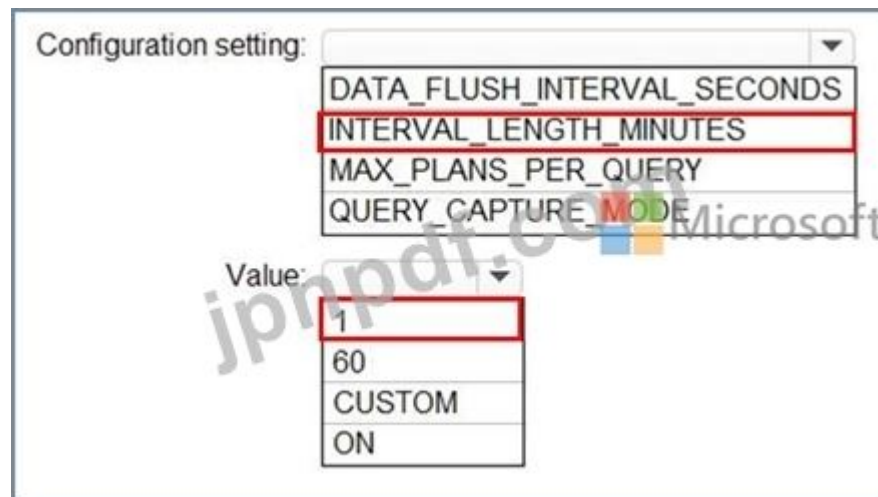
Configuration setting:

DATA_FLUSH_INTERVAL_SECONDS
INTERVAL_LENGTH_MINUTES
MAX_PLANS_PER_QUERY
QUERY_CAPTURE_MODE

Value:

1
60
CUSTOM
ON

Answer:



最新問題: 140

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Salesという名前のAzureSQLデータベースがあります。

次の要件を満たすには、Salesのディザスタリカバリを実装する必要があります。

通常の操作中に、Salesの読み取り可能なコピーを少なくとも2つ提供します。

データセンターに障害が発生した場合でも、Salesが引き続き利用可能であることを確認してください。

解決策 :ビジネスクリティカルなサービス層とアベイラビリティゾーンを使用するAzureSQLデータベースをデプロイします。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

Answer: A (メッセージを残す)

プレミアムおよびビジネスクリティカルなサービス層は、コンピューティングリソース (\$qlservr.exeプロセス)とストレージ (ローカルに接続されたSSD)を単一ノードに統合するプレミアム可用性モデルを活用します。高可用性は、コンピューティングとストレージの両方を追加のノードに複製して、3~4ノードのクラスターを作成することで実現されます。

デフォルトでは、プレミアム可用性モデルのノードのクラスターは同じデータセンターに作成されます。Azureアベイラビリティゾーンの導入により、SQLデータベースはビジネスクリティカルデータベースのさまざまなレプリカを同じリージョンのさまざまなアベイラビリティゾーンに配置できます。単一障害点を排除するために、制御リングも3つのゲートウェイリング (GW)として複数のゾーンに複製されます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/high-availability-sla>

最新問題: 141

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Salesという名前のAzureSQLデータベースがあります。

次の要件を満たすには、Salesのディザスタリカバリを実装する必要があります。

通常の操作中に、Salesの読み取り可能なコピーを少なくとも2つ提供します。

データセンターに障害が発生した場合でも、Salesが引き続き利用可能であることを確認してください。

解決策 :ビジネスクリティカルなサービス層とアベイラビリティゾーンを使用するAzureSQLデータベースをデプロイします。

これは目標を達成していますか？

A. いいえ

B. はい

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 142

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Azure仮想マシン上にSQLServer2019があります。

SQLServerインスタンスのクエリのパフォーマンスの問題をトラブルシューティングしています。

詳細情報を収集するには、sys.dm_exec_requestsにクエリを実行し、待機タイプがPAGELATCH_UPであり、wait_resourceが2 :3 :905856であることを確認します。

システムパフォーマンスを改善する必要があります。

解決策 :トランザクションログファイルを縮小します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

Answer: ([解答を表示する](#))

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-US/troubleshoot/sql/performance/recommendations-reduce-allocation-contention>

最新問題: 143

SSISDBデータベースを含むAzure仮想マシン上にSQLServer2019があります。

最近の障害により、マスターデータベースが失われます。

すべてのMicrosoftSQLServer統合サービス (SSIS) パッケージが仮想マシンで実行できないことがわかりました。

問題を解決するために順番に実行する必要がある4つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい位置に配置します。

Actions

Add a certificate to an Azure key vault

Enable Transparent Data Encryption (TDE)

Encrypt a copy of the master key by using the service master key

Turn on the TRUSTWORTHY property and the CLR property

Attach the SSISDB database

Open the master key for the SSISDB database

Answer Area



Microsoft



Answer:

Actions

Add a certificate to an Azure key vault

Enable Transparent Data Encryption (TDE)

Encrypt a copy of the master key by using the service master key

Turn on the TRUSTWORTHY property and the CLR property

Attach the SSISDB database

Open the master key for the SSISDB database

Answer Area

Attach the SSISDB database

Turn on the TRUSTWORTHY property and the CLR property

Open the master key for the SSISDB database

Encrypt a copy of the master key by using the service master key



Microsoft

Explanation:

ステップ1 :SSISDBデータベースを接続する

手順2 :TRUSTWORTHYプロパティとCLRプロパティをオンにします

SSISDBデータベースをSSISDBカタログが作成されていないSQLServerインスタンスに復元する場合は、共通言語ランタイム (clr) を有効

にします。手順3 :SSISDBデータベースのマスターキーを開く元のデータベースがある場合は、この方法でマスターキーを復元します。
SSISDBの作成に使用されたパスワード。
パスワードによるマスターキーの復号化を開く='LS1Setup !' --'SSISDBの作成時に使用されるパスワード'マスターキーの変更サービス
マスターキーによる暗号化の追加ステップ4 :サービスマスターキーを使用して、母キーのコピーを暗号化します。参照 :
<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/integration-services/backup-restore-and-move-the-ssis-catalog>

最新問題: 144

VNet1という名前の仮想ネットワーク上にVM1という名前のAzure仮想マシンがあります。VM1からインターネットへのアウトバウンドトラフィックはブロックされます。

SqlSrv1という名前の論理サーバー上にSqlDb1という名前のAzureSQLデータベースがあります。

次の要件を満たすには、VM1とSqlDb1の間に接続を実装する必要があります。

VM1がSqlSrv1以外のAzureSQLServerに接続できないことを確認します。

ネットワーク接続をSqlSrv1に制限します。

VNet1で何を作成する必要がありますか？

- A. VPNゲートウェイ
- B. サービスエンドポイント
- C. プライベートリンク
- D. ExpressRouteゲートウェイ

Answer: C ([メッセージを残す](#))

Azure Private Linkを使用すると、仮想ネットワークのプライベートエンドポイントを通じて、Azure PaaSサービス Azure StorageやSQLデータベースなど)およびAzureがホストする顧客所有/パートナーサービスにアクセスできます。

仮想ネットワークとサービス間のトラフィックは、Microsoftバックボーンネットワークを通過します。サービスをパブリックインターネットに公開する必要はなくなりました。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/private-link/private-link-overview>運用リソースの監視と最適化テストレット1ケーススタディこれはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。各ケースを完了するのに必要なだけの試験時間を使用できます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。提供された時間内にこの試験に含まれるすべての質問を確実に完了することができるように、時間を管理する必要があります。

ケーススタディに含まれている質問に答えるには、ケーススタディで提供されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれている場合があります。このケーススタディでは、各質問は他の質問から独立しています。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることを注意してください。質問に答える準備ができれば、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

既存の環境

Contoso、Ltd.は、100人の従業員を抱える財務データ会社です。同社は顧客に財務データを提供しています。

Active Directory

Contosoには、オンプレミスのActiveDirectoryと同期するハイブリッドAzureActive Directory (Azure AD)デプロイメントがあります。

データベース環境

Contosoには、次の表に示すAzure仮想マシン上のSQLServer2017があります。

Name	Role
SQL1	Primary data warehouse
SQL2	Secondary data warehouse
SQL3	Extract, transform, and load (ETL) server

SQL1とSQL2はAlwaysOn可用性グループに属し、アクティブに照会されます。SQL3は、ジョブを実行し、履歴データを提供し、顧客へのデータの配信を処理します。

オンプレミスのデータセンターには、50TBのデータベースを持つPostgreSQLサーバーが含まれています。

現在のビジネスモデル

Contosoは、Microsoft SQL Server Integration Services (SSIS)を使用して、顧客向けのフラットファイルを作成します。顧客はFTPを使用してファイルを受け取ります。

要件

計画された変更

Contosoは、PaaS (Platform as a Service)オファリングとして実行される顧客データベースにデータを配信するモデルに移行することを計画しています。お客様がContosoとサービス契約を結ぶと、AzureSQLデータベースを含む別のリソースグループがお客様にプロビジョニングされます。データベースには、財務データの完全なコピーがあります。各顧客がアクセスできるデータは、サービス契約の階層によって異なります。お客様は、サービス契約を変更することで階層を変更できます。

各PaaSデータベースの推定サイズは1TBです。

Contosoは、次の変更を実装する予定です。

- *今後6か月間に、PostgreSQLデータベースをAzure DatabaseforPostgreSQLに移動します。
- *今後数か月の間に、SQL1、SQL2、およびSQL3をSQLServer2019にアップグレードします。
- *6か月以内に新しいPaaSソリューションへの顧客のオンボーディングを開始します。

ビジネス目標

Contosoは、次のビジネス要件を識別します。

- *可能な限り組み込みのAzure機能を使用してください。
 - *可能な限り開発の労力を最小限に抑えます。
 - *PaaSソリューションの計算コストを最小限に抑えます。
 - * PaaSソリューションを使用して、すべての顧客にデータベースの独自のコピーを提供します。
 - *顧客のサービス契約に基づいて、顧客に異なるテーブルおよび行アクセスを提供します。
 - * Azureの地域的な停止が発生した場合は、お客様が最小限のダウンタイムでPaaSソリューションにアクセスできるようにしてください。
- ソリューションは自動フェイルオーバーを提供する必要があります。
- * PaaSソリューションのユーザーが独自のデータベースオブジェクトを作成できることを確認しますが、Contosoが提供する既存のデータベースオブジェクトを変更することはできません。

技術要件

Contosoは、次の技術要件を識別します。

- * PaaSソリューションのユーザーは、自社のAzure ADクレデンシャルを使用してサインインできるか、ContosoからAzureADクレデンシャル

ルが提供されている必要があります。ソリューションでは、ゲストユーザーを最小限に抑えるために、Contosoの内部AzureADの使用を回避する必要があります。

*すべてのお客様は、独自のリソースグループ、Azure SQLサーバー、およびAzureSQLデータベースを持っている必要があります。各顧客のリソースの展開は、一貫した方法で行う必要があります。

*ユーザーは、PaaSデータベースに対して発行されたクエリを確認し、作成された新しいオブジェクトを特定できる必要があります。

*PostgreSQLデータベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑える必要があります。

監視要件

Contosoは、次の監視要件を識別します。

* PaaSデータベースのCPU使用率が平均よりも高い場合は、管理者に通知してください。

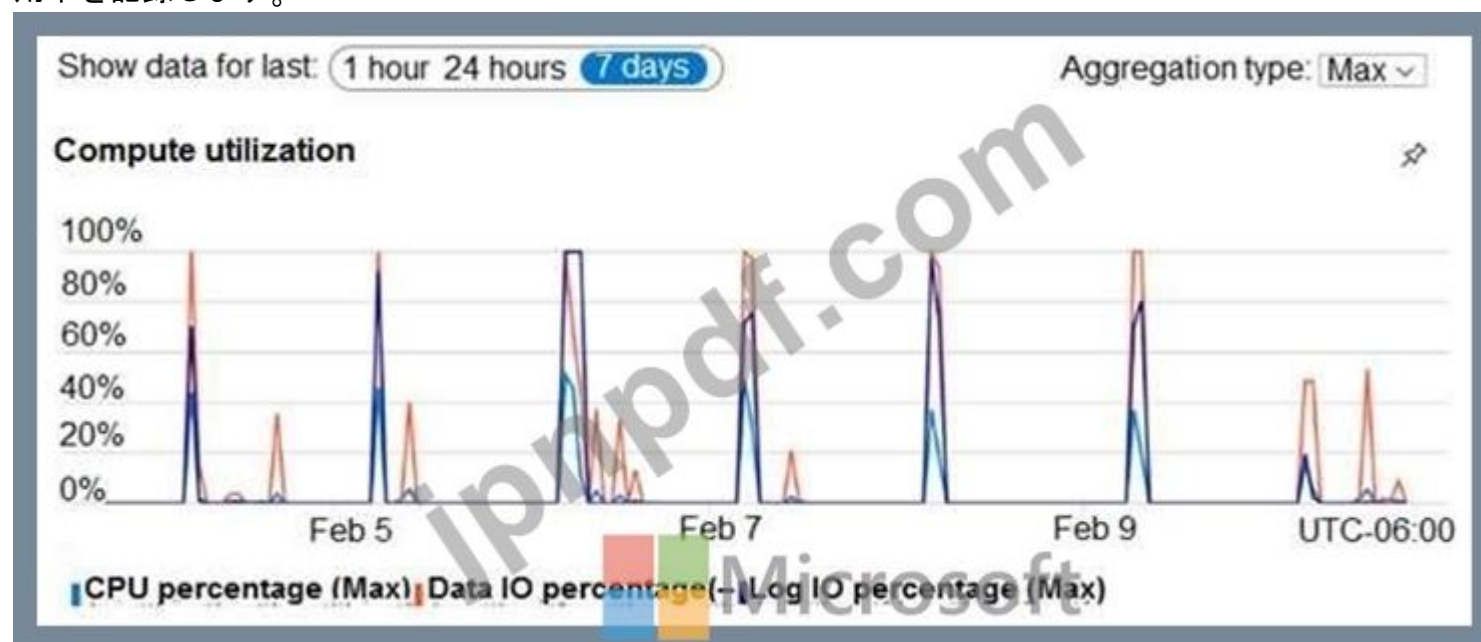
*単一のダッシュボードを使用して、すべてのPaaSデータベースのセキュリティおよび監査データを確認します。

*単一のダッシュボードを使用して、すべてのPaaSデータベースにわたるクエリのパフォーマンスとボトルネックを監視します。

* PaaSデータベースを監視して、パフォーマンスの低いクエリを特定し、可能な場合はいつでもクエリのパフォーマンスの問題を自動的に解決します。

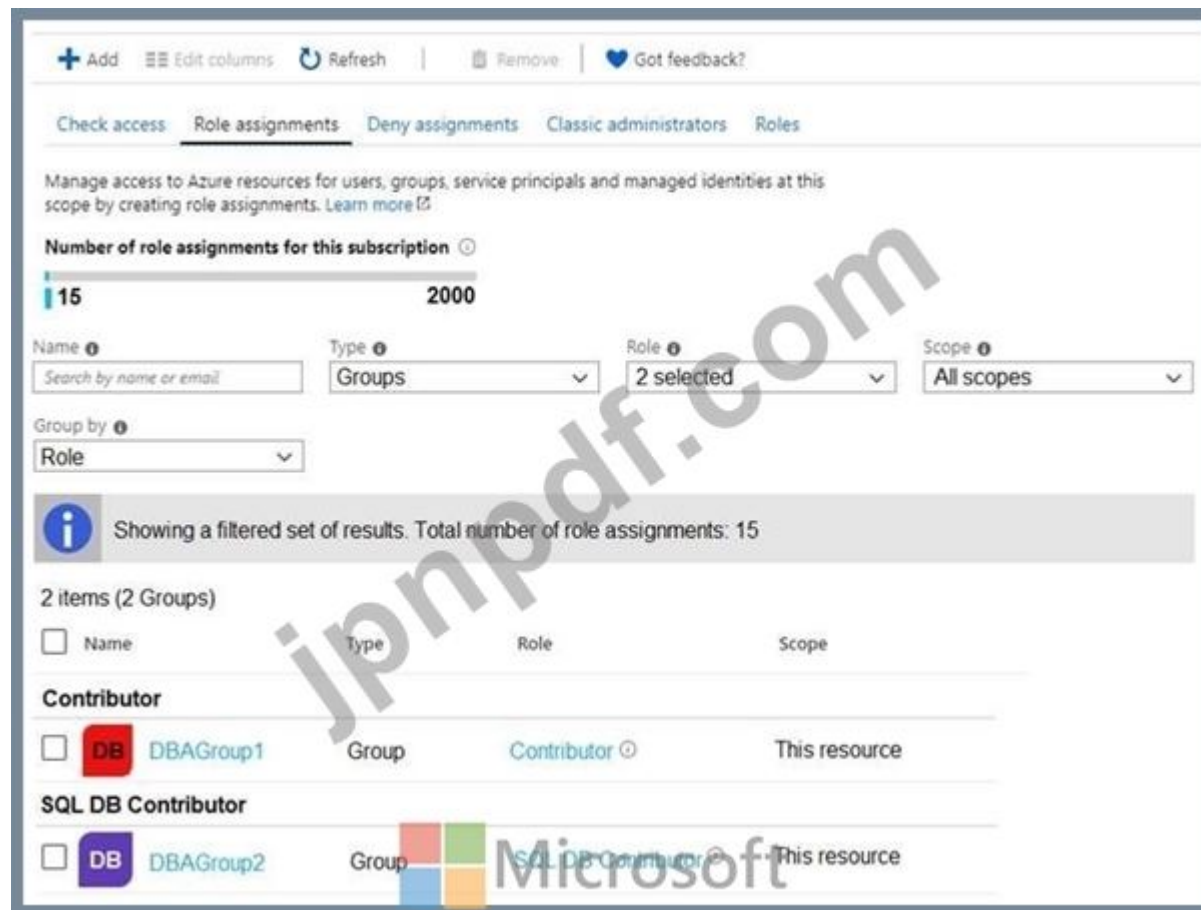
PaaSプロトタイプ

AzureでのPaaSソリューションのプロトタイピング中に、次の展示に示すように、顧客のAzureSQLデータベースのコンピューティング使用率を記録します。



役割の割り当て

お客様のAzureSQLデータベースサーバーごとに、次の展示に示す役割を割り当てる予定です。



最新問題: 145

VNet1という名前の仮想ネットワーク上にVM1という名前のAzure仮想マシンがあります。VM1からインターネットへのアウトバウンドトラフィックはブロックされます。

SqlSrv1という名前の論理サーバー上にSqlDb1という名前のAzureSQLデータベースがあります。

次の要件を満たすには、VM1とSqlDb1の間に接続を実装する必要があります。

SqlSrv1のパブリックエンドポイントへのすべてのトラフィックがブロックされていることを確認します。

VM1がSqlDb1に保存されているデータを盗み出す可能性を最小限に抑えます。

D18912E1457D5D1DDCBD40AB3BF70D5D

VNet1で何を作成する必要がありますか？

- A. VPNゲートウェイ
- B. サービスエンドポイント
- C. プライベートリンク
- D. ExpressRouteゲートウェイ

Answer: C (メッセージを残す)

Azure Private Linkを使用すると、仮想ネットワークのプライベートエンドポイントを介して、Azure PaaSサービス Azure StorageやSQLデータベースなど)およびAzureがホストする顧客所有/パートナーサービスにアクセスできます。

仮想ネットワークとサービス間のトラフィックは、Microsoftバックボーンネットワークを通過します。サービスをパブリックインターネットに公開する必要はなくなりました。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/private-link/private-link-overview>

最新問題: 146

AzureSQLデータベースを含むAzureサブスクリプションがあります。

データベースは、クエリにタイムリーに応答できません。

問題がresource_semaphore待機に関連しているかどうかを識別する必要があります。

Transact-SQLクエリをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

```
SELECT 

|                 |   |
|-----------------|---|
|                 | ▼ |
| is_user_process |   |
| wait_time       |   |
| wait_type       |   |


```

SUM(wait_time) AS total_wait_time_ms

```
FROM sys. 

|                     |   |
|---------------------|---|
|                     | ▼ |
| dm_exec_query_stats |   |
| dm_exec_requests    |   |
| query_store_query   |   |


```

```
JOIN sys.dm_exec_sessions AS dmvs2
ON dmvs1.session_id = dmvs2.session_id
WHERE is_user_process = 1
GROUP BY wait_type
ORDER BY SUM(wait_time) DESC;
```

SELECT

is_user_process
wait_time
wait_type

SUM(wait_time) AS total_wait_time_ms

FROM sys.

dm_exec_query_stats
dm_exec_requests
query_store_query

JOIN sys.dm_exec_sessions AS dmvs2

ON dmvs1.session_id = dmvs2.session_id

WHERE is_user_process = 1

GROUP BY wait_type

ORDER BY SUM(wait_time) DESC;

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/monitoring-with-dmvs>

最新問題: 147

WindowsServer2019を実行するAzure仮想マシン上にSQLServer2019があります。仮想マシン4つのvCPUと28GBのメモリがあります。

仮想マシンを8つのvCPUと64GBのメモリにスケールアップします。

tempdbのレイテンシーを最小にする必要があります。

tempdbに含める必要のあるデータファイルの総数はいくつですか？

- A. 2
- B. 4
- C. 8
- D. 64

Answer: C ([メッセージを残す](#))

セクション [なし]

Explanation:

ファイルの数は、マシン上の（論理プロセッサの数によって異なります。原則として、

論理プロセッサの数が8以下の場合、論理と同じ数のデータファイルを使用します

プロセッサ。論理プロセッサの数が8を超える場合は、8つのデータファイルを使用し、競合がある場合は

続行し、競合が許容範囲に減少するまで、データファイルの数を4の倍数だけ増やします。
レベルを設定するか、ワークロード/コードに変更を加えます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/databases/tempdb-database>

テストレット1

これはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。あなたはあなたと同じくらい多くの試験時間を使うことができます

それぞれのケースを完了したいと思います。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。

あなたはあなたがこの試験に含まれるすべての質問を完了することができることを確実にするためにあなたの時間を管理しなければなりません

提供された時間。

ケーススタディに含まれる質問に答えるには、で提供されている情報を参照する必要があります。

ケーススタディ。ケーススタディには、展示やその他のリソースが含まれている場合があります。

ケーススタディで説明されているシナリオ。この場合、各質問は他の質問から独立しています。

勉強。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、回答を確認して

試験の次のセクションに進む前に変更を加えてください。新しいセクションを開始した後は、できません

このセクションに戻ります。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。左側のペインのボタンを使用して探索します

質問に答える前のケーススタディの内容。これらのボタンをクリックすると、次のような情報が表示されます

ビジネス要件、既存の環境、および問題の説明として。ケーススタディにすべてがある場合

[情報]タブ。表示される情報は、後続の情報に表示される情報と同じであることを注意してください。

タブ。質問に答える準備ができたなら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

Litware、Inc.は、ボストンに本社を置く再生可能エネルギー会社です。本社が営業を行っています

部門および会社の主要なデータセンター。

物理的な場所

既存の環境

Litwareには製造オフィスがあり、研究オフィスはボストンの近くに別々の場所にあります。各オフィスには

独自のデータセンターとインターネット接続。

製造および研究データセンターは、VPNを使用してプライマリデータセンターに接続します。

ネットワーク環境

プライマリデータセンターには、Microsoftピアリングとプライベートピアリングの両方を使用するExpressRoute接続があります。

プライベートピアリングは、HubVNetという名前のAzure仮想ネットワークに接続します。

アイデンティティ環境

Litwareには、litwareinc.comという名前のドメインを使用するハイブリッドAzure Active Directory (Azure AD) 展開があります。

すべてのAzureサブスクリプションは、litwareinc.com Azure ADテナントに関連付けられています。

データベース環境

営業部門には、次のデータベースワークロードがあります。

* SERVER1という名前のオンプレミスは、Microsoft SQLServer2012のインスタンスと2つの1-TBをホストします
データベース。

* SalesSrv01Aという名前の論理サーバーには、SalesSQLDb1という名前の地理的に複製されたAzureSQLデータベースが含まれています。
SalesSQLDb1は、SalesSQLDb1Poolという名前のエラスティックプールにあります。SalesSQLDb1はデータベースファイアウォールルールを使用します

含まれているデータベースユーザー。

*SalesSQLDb1App1という名前のアプリケーションはSalesSQLDb1を使用します。

製造オフィスには、SERVER2という名前の2つのオンプレミスSQLServer2016サーバーと
SERVER3。サーバーは、同じAlwaysOn可用性グループ内のノードです。可用性グループには、
ManufacturingSQLDb1という名前のデータベース

データベース管理者は、Windowsを実行するVM1およびVM2という名前のHubVnetに2つのAzure仮想マシンを持っています
サーバー2019は、すべてのAzureデータベースを管理するために使用されます。

ライセンス契約

Litwareは、ソフトウェアアシュアランスによるライセンスモビリティを提供するマイクロソフトボリュームライセンスのお客様です。

現在の問題

SalesSQLDb1でパフォーマンスの問題が発生します。これは、統計が古く、頻繁にブロックされていることが原因である可能性があります。

クエリ。

要件

計画された変更

Litwareは、次の変更を実装する予定です。

* Azureに30個の新しいデータベースを実装します。これは、時間に敏感な製造アプリで使用されます。

さまざまな使用パターン。各データベースは約20GBになります。

*ResearchSrv01という名前の論理サーバー上にResearchDB1という名前の新しいAzureSQLデータベースを作成します。

ResearchDB1には、個人情報 (PII) データが含まれます。

*研究部門がデータを入力してアクセスするために使用するResearchApp1という名前のアプリを開発します

ResearchDB1。

*ManufacturingSQLDb1をAzure仮想マシンプラットフォームに移行します。

*SERVER1データベースをAzureSQLデータベースプラットフォームに移行します。

技術要件

Litwareは、次の技術要件を識別します。

*メンテナンスタスクは自動化する必要があります。

*30の新しいデータベースは自動的に拡張する必要があります。

*オンプレミスインフラストラクチャの使用を最小限に抑える必要があります。

* Azureハイブリッド使用のメリットは、AzureSQLデータベースの展開に活用する必要があります。

*CPUとストレージの使用量と制限に関連するすべてのSQLServerとAzureSQLデータベースのメトリックは
Azureの組み込み機能を使用して分析します。

セキュリティとコンプライアンスの要件

Litwareは、次のセキュリティおよびコンプライアンス要件を識別します。

*暗号化キーをAzureKeyVaultに保存します。

- *PIIデータのバックアップを2か月間保持します。
 - *保存中、転送中、および使用中のPIIデータを暗号化します。
 - *可能な限り、最小特権の原則を使用してください。
 - *ActiveDirectoryの資格情報を使用してデータベースユーザーを認証します。
 - *データベースレベルのファイアウォールルールを使用して、AzureSQLデータベースインスタンスを保護します。
 - * Azureでホストされているすべてのデータベースに、パブリックに依存せずにVM1およびVM2からアクセスできることを確認します
- エンドポイント。

ビジネス要件

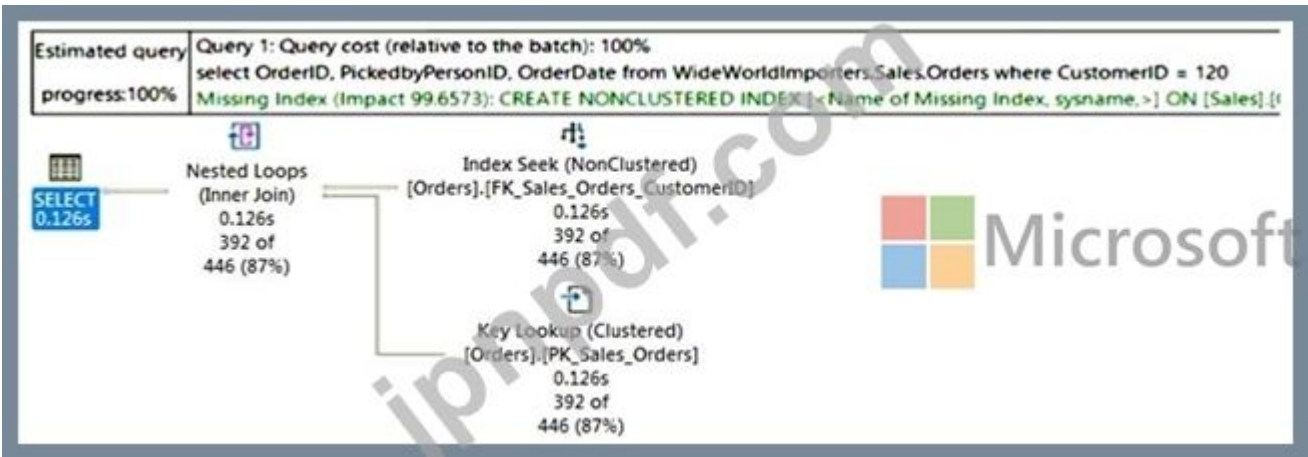
Litwareは、次のビジネス要件を識別します。

- *すべてのAzureデプロイメントで99.99%の可用性のSLAを満たします。
- *SERVER1データベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑えます。
- *ワークロードをAzureに移行する場合は、Azureハイブリッド使用のメリットを利用してください。
- *すべての要件が満たされたら、可能な限りコストを最小限に抑えます。

最新問題: 148

AzureSQLデータベースがあります。

次の展示に示すように、パフォーマンスの遅いクエリを確認しています。



ドロップダウンメニューを使用して、図に示されている情報に基づいて各ステートメントを完了する回答の選択肢を選択します。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

The exhibit shows [answer choice].

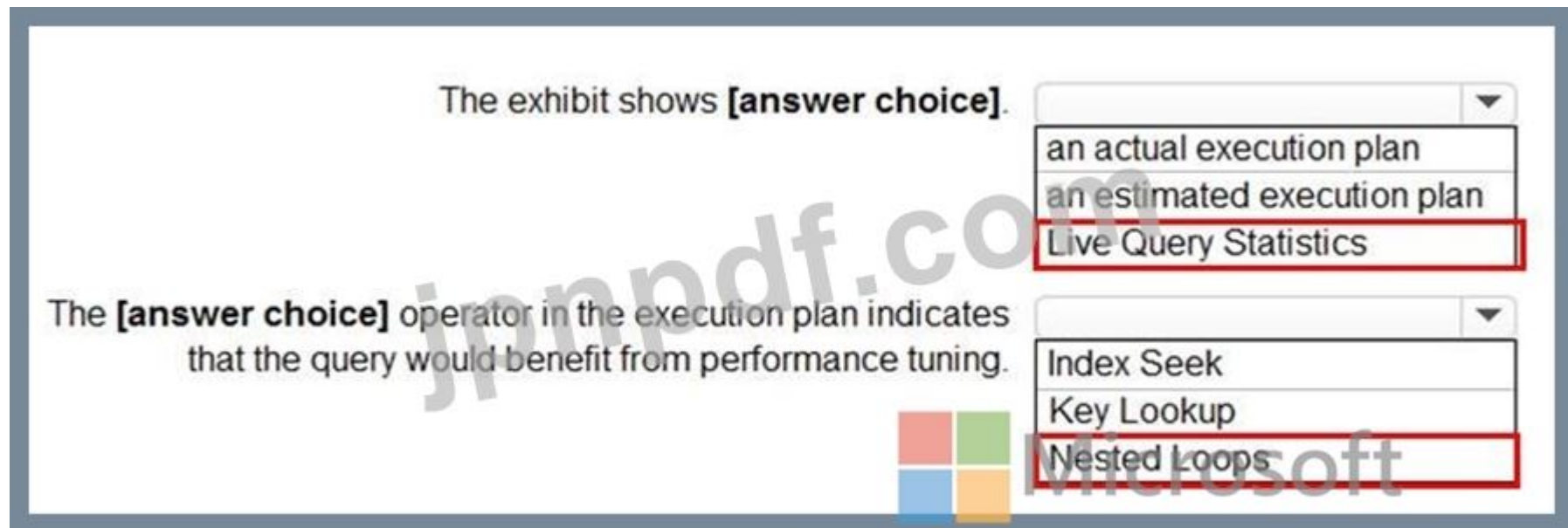
The [answer choice] operator in the execution plan indicates that the query would benefit from performance tuning.

Microsoft

an actual execution plan
an estimated execution plan
Live Query Statistics

Index Seek
Key Lookup
Nested Loops

Answer:



参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/performance/live-query-statistics?view=sql-server-ver15>

最新問題: 149

監視要件を満たすために、どの監査ログの宛先を使用する必要がありますか？

- A. Azureストレージ
- B. Azureイベントハブ
- C. Azure Log Analytics

Answer: ([解答を表示する](#))

セクション {なし}

Explanation:

シナリオ：単一のダッシュボードを使用して、すべてのPaaSデータベースのセキュリティと監査データを確認します。

ダッシュボードを使用すると、すべてのAzure全体でITにとって最も重要な運用データをまとめることができます

AzureLogAnalyticsからのテレメトリを含むリソース。

注：AzureSQLデータベースとAzureSynapse Analyticsの監査は、データベースイベントを追跡し、それらを書き込みます

Azureストレージアカウント、Log Analyticsワークスペース、またはイベントハブの監査ログに移動します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/visualize/tutorial-logs-dashboards>

質問セット3

最新問題: 150

SalesSQLDb1のフェイルオーバー後に、データベースにSalesSQLDb1App1がアクセスできるようにするには、どうすればよいですか。

- A. SalesSQLDb1を書き込み可能として構成します。
- B. SalesSQLDb1App1の接続文字列を更新します。
- C. SalesSQLDb1のファイアウォールルールを更新します。
- D. SalesSQLDb1のユーザーを更新します。

Answer: ([解答を表示する](#))

シナリオ：SalesSQLDb1は、データベースファイアウォールルールと含まれているデータベースユーザーを使用します。

これはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。各ケースを完了するのに必要なだけの試験時間を使用できます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。提供された時間内にこの試験に含まれるすべての質問を確実に完了することができるように、時間を管理する必要があります。

ケーススタディに含まれている質問に答えるには、ケーススタディで提供されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれている場合があります。このケーススタディでは、各質問は他の質問から独立しています。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。

質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。

これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。

ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることに注意してください。

質問に答える準備ができたなら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

トピック3、ADatum Corporation

既存の環境

ADatumには、Microsoft SQL Server 2016がインストールされているデータベースサーバーが1つあります。サーバー

は、SALESDB、DOCDB、およびREPORTINGDBという名前の3つのミッションクリティカルなデータベースをホストします。

SALESDBは、店舗およびWebサイトからデータを収集します。

DOCDBは、販売データに接続するドキュメントをSALESDBに保存します。ドキュメントは、販売チャネルに基づいて2つの異なるJSON形式で保存されます。

REPORTINGDBは、レポートデータを格納し、いくつかの列ストアインデックスを含みます。毎日のプロセスでは、SALESDBのデータからREPORTINGDBのレポートデータが作成されます。このプロセスは、SALESDBからストアドプロシージャを実行するSQL Server Integration Services (SSIS) パッケージとして実装されます。

要件

計画された変更

ADatumは、現在のデータインフラストラクチャをAzureに移行することを計画しています。新しいインフラストラクチャには、次の要件があります。

SALESDBとREPORTINGDBをAzure SQL データベースに移行します。

DOCDBをAzure Cosmos DBに移行します。

JSON形式のドキュメントを含む販売データは、到着時に収集し、Azure Stream Analyticsを使用してオンラインで分析する必要があります。分析プロセスは、ギャップや重複なしに継続的に実行する必要のある集計を実行します。

到着したら、JSON形式のすべての販売ドキュメントを1つの一貫した形式に変換する必要があります。

Azure Data Factoryは、SALESDBからREPORTINGDBにデータをコピーするSSISプロセスに取って代わります。

技術要件

新しいAzureデータインフラストラクチャは、次の技術要件を満たす必要があります。

SALESDBのデータは、透過的データ暗号化 (TDE) を使用して暗号化する必要があります。暗号化には独自のキーを使用する必要があります。

SALESDBは、過去3週間以内の任意の分に復元可能である必要があります。

リアルタイム処理を監視して、実際の使用パターンに基づいてワークロードのサイズが適切に設定されていることを確認する必要があります。

欠落しているインデックスは、REPORTINGDB用に自動的に作成する必要があります。

SALESDBのディスクIO、CPU、およびメモリ使用量を監視する必要があります。

最新問題: 151

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。
Server1とServer2という名前の2つのAzureSQLデータベースサーバーがあります。各サーバーには、Database1という名前のAzureSQLデータベースが含まれています。

Database1をServer1からServer2に復元する必要があります。ソリューションは、Server2上の既存のDatabase1を置き換える必要があります。

解決策 :Server2でDatabase1に対してRemove-AzSqlDatabasePowerShellコマンドレットを実行します。Server2でDatabase1のRestore-AzSqlDatabasePowerShellコマンドレットを実行します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

Answer: B ([メッセージを残す](#))

セクション {なし}

Explanation:

代わりに、RESTORE Transact-SQLコマンドとREPLACEオプションを使用して、Database1をServer1からServer2に復元します。

注 :REPLACEはめったに使用しないでください。また、慎重に検討した後でのみ使用してください。復元は通常、データベースを別のデータベースで誤って上書きすることを防ぎます。RESTOREステートメントで指定されたデータベースが現在のサーバーにすでに存在し、指定されたデータベースファミリGUIDがバックアップセットに記録されているデータベースファミリGUIDと異なる場合、データベースは復元されません。これは重要な保護手段です。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/statements/restore-statements-transact-sql>

有効な **DP-300** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **DP-300** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (**41030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 152

ResearchDB1の認証を実装する必要があります。ソリューションは、セキュリティとコンプライアンスの要件を満たす必要があります。実装の一部として何を実行する必要がありますか？

- A. CREATELOGINおよびFROMWINDOWS句
- B. CREATEUSERおよびFROMCERTIFICATE句
- C. CREATEUSERとFROMLOGIN句
- D. CREATEUSERおよびASYMMETRICKEY句
- E. CREATEUSERおよびFROMEXTERNALPROVIDER句

Answer: E ([メッセージを残す](#))

セクション {なし}

Explanation:

シナリオ: ActiveDirectoryの資格情報を使用してデータベースユーザーを認証します。

ResearchSrv01という名前の論理サーバー上にResearchDB1という名前の新しいAzure SQLデータベースを作成します。) AzureActiveDirectoryユーザーに基づいてSQLデータベースまたはSQLデータウェアハウスでユーザーを認証します。外部プロバイダーからユーザー[Fritz@contoso.com]を作成します。

参照:

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/statements/create-user-transact-sql> 質問セット2

最新問題: 153

ホットスポット

db1という名前のAzureSQLデータベースがあります。

先週からdb1のリソース使用量を取得する必要があります。

どのようにステートメントを完成させる必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注: 正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

ホットエリア:

Answer Area

SELECT *

FROM

	▼
sys.dm_db_resource_stats	
sys.dm_exec_requests	
sys.dm_user_db_resource_governance	
sys.resource_stats	

WHERE database_name = 'db1' AND

start_time >

	▼
DATEADD	
DATEDIFF	
DATEPART	
TODATETIMEOFFSET	

(day, -7, GETDATE())

ORDER BY start_time DESC;



Microsoft

Answer:
Answer Area

SELECT *

FROM

	▼
sys.dm_db_resource_stats	
sys.dm_exec_requests	
sys.dm_user_db_resource_governance	
sys.resource_stats	

WHERE database_name = 'db1' AND

start_time >

	▼
DATEADD	
DATEDIFF	
DATEPART	
TODATETIMEOFFSET	

(day, -7, GETDATE())

ORDER BY start_time DESC;



Microsoft

セクション [なし]

Explanation:

ボックス1 :sys.resource_stats

sys.resource_statsは、AzureSQLデータベースのCPU使用率とストレージデータを返します。database_nameがあります
およびstart_time列。

ボックス2 :DateAdd

次の例では、過去の計算使用率の少なくとも80%を平均しているすべてのデータベースを返します。
一週間。

@s日時を宣言します。

@e日時を宣言します。

```
SET @ s = DateAdd 日、-7、GetUTCDate ();)
```

```
SET @ e = GETUTCDATE ();
```

```
SELECT database_name、AVG (avg_cpu_percent)AS Average_Compute_Utilization
```

```
FROM sys.resource_stats
```

```
@sと@eの間のstart_timeの場所
```

```
GROUP BY database_name
```

```
HAVING AVG (avg_cpu_percent)> = 80
```

不正解：

sys.dm_exec_requests：

sys.dm_exec_requestsは、SQLServerで実行されている各要求に関する情報を返します。それはしません
database_nameという名前の列があります。

sys.dm_db_resource_stats：

sys.dm_db_resource_statsにはstart_time列がありません。

注 :sys.dm_db_resource_statsは、Azure SQLデータベースのCPU、I / O、およびメモリ消費量を返します
データベース。データベースにアクティビティがない場合でも、15秒ごとに1つの行が存在します。履歴データは
約1時間維持。

Sys.dm_user_db_resource_governanceは、リソースによって使用される実際の構成と容量設定を返します
現在のデータベースまたはエラスティックプールのガバナンスメカニズム。start_time列はありません。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/system-catalog-views/sys-resource-stats-azure-sql-データベース>

最新問題: 154

AzureSQLデータベースがあります。

実行時間の長いクエリを特定します。

クエリ内のどの操作がパフォーマンスの問題を引き起こしているのかを特定する必要があります。

Microsoft SQL Server Management Studio (SSMS)でクエリ実行プランを表示するには何を使用する必要がありますか？

A. ライブクエリ統計

B. 推定実行計画

C. 実際の実行計画

D. クライアント統計

Answer: ([解答を表示する](#))

実行中にクエリの実行プランを含めるには

- 1. SQL Server Management Studioツールバーで、[データベースエンジンクエリ]をクリックします。[ファイルを開く]ツールバーボタンをクリックして既存のクエリを見つけることにより、既存のクエリを開いて推定実行プランを表示することもできます。
- 2. 実際の実行プランを表示するクエリを入力します。
- 3. [クエリ]メニューで、[実際の実行プランを含める]をクリックするか、[実際の実行プランを含める]ツールバーボタンをクリックします。



注：実際の実行プランは、Transact-SQLクエリまたはバッチの実行後に生成されます。このため、実際の実行プランには、実際のリソース使用状況メトリックやランタイム警告（存在する場合）などのランタイム情報が含まれています。生成される実行プランには、SQLServerデータベースエンジンがクエリの実行に使用した実際のクエリ実行プランが表示されます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/performance/display-an-actual-execution-plan>

最新問題: 155

オンプレミスのMicrosoftSQLServerデータベースをAzureに移行することを計画しています。

次の要件を満たす展開と復元のオプションを特定する必要があります。

ユーザーが開始するバックアップをサポートします。

Azureリージョン間で自動的に複製された複数のインスタンスをサポートします。

ビジネスの継続性を実装および維持するための管理作業を最小限に抑えます。

何を特定する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Deployment option:	Azure SQL Managed Instance SQL Server on Azure Virtual Machines An Azure SQL Database single database
Resiliency option:	Auto-failover group Active geo-replication Zone-redundant deployment

Answer:

Deployment option:

- Azure SQL Managed Instance
- SQL Server on Azure Virtual Machines
- An Azure SQL Database single database

Resiliency option:

- Auto-failover group
- Active geo-replication
- Zone-redundant deployment

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/virtual-machines/windows/sql-server-on-azure-vm-iaas-what-is-overview>

<https://docs.microsoft.com/en-us/dotnet/architecture/cloud-native/infrastructure-resiliency-azure>

最新問題: 156

Pool1という名前のApacheSparkプールを含むWS1という名前のAzureSynapseAnalyticsワークスペースがあります。

Pool1にDB1という名前のデータベースを作成することを計画しています。

DB1でテーブルを作成するときに、テーブルが組み込みのサーバーレスSQLプールの外部テーブルとして自動的に使用可能になるようにする必要があります。

DB1のテーブルにはどの形式を使用する必要がありますか？

- A. JSON
- B. CSV
- C. 寄木細工
- D. ORC

Answer: C (メッセージを残す)

サーバーレスSQLプールは、ApacheSparkからのメタデータを自動的に同期できます。サーバーレスSQLプールデータベースは、サーバーレスApacheSparkプールに存在するデータベースごとに作成されます。

Parquetに基づいてAzureStorageに配置されたSpark外部テーブルごとに、サーバーレスSQLプールデータベースに外部テーブルが作成されます。そのため、Sparkプールをシャットダウンしても、サーバーレスSQLプールからSpark外部テーブルにクエリを実行できます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/sql/develop-storage-files-spark-tables>

最新問題: 157

ホットスポット

SERVER1データベースの移行を計画しています。ソリューションはビジネス要件を満たす必要があります。

移行計画には何を含める必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

ホットエリア：

Answer Area

Azure Database Migration Service pricing tier:

▼

Standard 2-vCore

Standard 4-vCore

Premium 4-vCore

Required Azure resource:

▼

A virtual network that has service endpoints

A VPN gateway

An Azure Logic app

Answer:

Answer Area

Azure Database Migration Service pricing tier:

▼

Standard 2-vCore

Standard 4-vCore

Premium 4-vCore

Required Azure resource:

▼

A virtual network that has service endpoints

A VPN gateway

An Azure Logic app

Explanation:

Azureデータベース移行サービス

ボックス1 :プレミアム4-VCore

シナリオ :SERVER1データベースをAzureSQLデータベースプラットフォームに移行します。

*SERVER1データベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑えます。

Premimum 4-vCoreは、大規模またはビジネスクリティカルなワークロード向けです。オンライン移行、オフライン移行、およびより高速な移行速度をサポートします。

不正解 :

標準料金階層は、ほとんどの中小企業のワークロードに適していますが、オフライン移行のみをサポートします。

ボックス2 :VPNゲートウェイ

ExpressRouteまたはVPNのいずれかを使用して、オンプレミスのソースサーバーへのサイト間接続を提供するAzure Resource Manager展開モデルを使用して、Azure DatabaseMigrationService用のMicrosoftAzure仮想ネットワークを作成する必要があります。

参照 :

<https://azure.microsoft.com/pricing/details/database-migration/>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/dms/tutorial-sql-server-azure-sql-online>データプラットフォームリソースの計画と実装質問セット2

最新問題: 158

Salesというデータベース名を含むsqldbmi1という名前のAzureSQLDatabaseマネージドインスタンスがあります。

Salesのバックアップを開始する必要があります。

Transact-SQLステートメントをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Microsoft

BACKUP DATABASE Sales

▼

TO DISK = \\BackupSystem\BackupDisk1\Sales.bak'

TO DISK = 'X:\BAK\Sales.bak'

TO 'Sales_Backup'

TO URL = 'https://storage1.blob.core.windows.net/blob1/Sales.bak'

WITH STATS = 5,

▼

WITH COPY_ONLY;

WITH ENCRYPTION;

WITH FILE_SNAPSHOT;

WITH NO_TRUNCATE

Answer:

BACKUP DATABASE Sales

▼

TO DISK = \\BackupSystem\BackupDisk1\Sales.bak'

TO DISK = 'X:\BAK\Sales.bak'

TO 'Sales_Backup'

TO URL = 'https://storage1.blob.core.windows.net/blob1/Sales.bak'

WITH STATS = 5,

▼

WITH COPY_ONLY;

WITH ENCRYPTION;

WITH FILE_SNAPSHOT;

WITH NO_TRUNCATE

参照：

<https://techcommunity.microsoft.com/t5/azure-sql-database/native-database-backup-in-azure-sql-managed-instance/ba-p/386154>

最新問題: 159

AzureSynapseAnalytics専用のSQLプールで日付ディメンションテーブルを設計しています。日付ディメンションテーブルは、すべてのファクトテーブルで使用されます。

データの移動を最小限に抑えるために、どの配布タイプを推奨する必要がありますか？

A. ハッシュ

B. 複製

C. ROUND_ROBIN

Answer: ([解答を表示する](#))

レプリケートされたテーブルには、すべてのコンピュータノードで使用可能なテーブルの完全なコピーがあります。レプリケートされたテーブルでの結合はデータの移動を必要としないため、クエリはレプリケートされたテーブルで高速に実行されます。ただし、レプリケーションには追加のストレージが必要であり、大きなテーブルには実用的ではありません。

不正解：

C :ラウンドロビン分散テーブルは、テーブル行をすべての分散に均等に分散します。分布への行の割り当てはランダムです。ハッシュ分散テーブルとは異なり、値が等しい行が同じ分散に割り当てられるとは限りません。

その結果、システムは、クエリを解決する前に、データをより適切に整理するためにデータ移動操作を呼び出す必要がある場合があります。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/sql-data-warehouse/sql-data-warehouse-tables-distribute>

最新問題: 160

ドラッグドロップ

あなたの会社はセキュリティカメラからの画像を分析し、異常な活動に対応するセキュリティチームにアラートを送信します。このソリューションでは、AzureDatabricksを使用しています。

Apache Sparkレベルのイベント、Spark Structured Streamingメトリック、およびアプリケーションメトリックをAzureMonitorに送信する必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、回答エリアのアクションのリストから適切なアクションを移動し、正しい順序に並べます。

選択して配置：

Actions

Answer Area

- Deploy Grafana to an Azure virtual machine.
- Build a **spark-listeners-loganalytics-1.0-SNAPSHOT.jar** JAR file.
- Create Dropwizard counters in the application code.
- Create a data source in Azure Monitor.
- Configure the Databricks cluster to use the Databricks monitoring library.

Answer:

Actions

- Deploy Grafana to an Azure virtual machine.
- Build a **spark-listeners-loganalytics-1.0-SNAPSHOT.jar** JAR file.
- Create Dropwizard counters in the application code.
- Create a data source in Azure Monitor.
- Configure the Databricks cluster to use the Databricks monitoring library.

ANSWER AREA

- Configure the Databricks cluster to use the Databricks monitoring library.
- Build a **spark-listeners-loganalytics-1.0-SNAPSHOT.jar** JAR file.
- Create Dropwizard counters in the application code.

セクション [なし]

Explanation:

Dropwizardを使用してアプリケーションメトリックを送信します。
Sparkは、DropwizardMetricsLibraryに基づく構成可能なメトリックシステムを使用します。
AzureDatabricksアプリケーションコードからAzureMonitorにアプリケーションメトリックを送信するには、次の手順に従います。
手順1 :Databricksmonitoringライブラリを使用するようにAzureDatabricksクラスターを構成します。
前提条件 : 監視ライブラリを使用するようにAzureDatabricksクラスターを構成します。
ステップ2 :spark-listeners-loganalytics-1.0-SNAPSHOT.jar JARファイルを作成するステップ3 :アプリケーションコードにDropwizardカウンターを作成するアプリケーションコードにDropwizardゲージまたはカウンターを作成する

最新問題: 161

DevServer1という名前のAzureSQLデータベースサーバーを含むApp1Devという名前のリソースグループがあります。DevServer1には、DB1という名前のAzureSQLデータベースが含まれています。DB1のスキーマとアクセス許可は、Microsoft SQL Serverデータツール(SSDT)データベースプロジェクトに保存されます。

App1Testという名前の新しいリソースグループに、DB1データベースとTestServer1という名前のAzureSQLServerを追加する必要があります。App1Testのリソースは、App1Devのリソースと同じ構成である必要があります。

順番に実行する必要がある4つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

Change the Active Directory Admin on TestServer1

Change the server name and related variables in the templates

From the database project, deploy the database schema and permissions

Add IP addresses to the firewall

From the Azure portal, export the Azure Resource Manager templates

From the Azure portal, deploy the templates.

Answer Area

➤

➤

⬅

⬅

⬆

⬆

Microsoft

Answer:

Actions

Change the Active Directory Admin on TestServer1

Change the server name and related variables in the templates

From the database project, deploy the database schema and permissions

Add IP addresses to the firewall

From the Azure portal, export the Azure Resource Manager templates

From the Azure portal, deploy the templates.

Answer Area

From the Azure portal, export the Azure Resource Manager templates

Change the server name and related variables in the templates

From the Azure portal, deploy the templates.

From the database project, deploy the database schema and permissions

➤

➡

⬅

⬅

⬆

⬆

最新問題: 162

DB1という名前のデータベースを含むAzure仮想マシン上にSQLServerがあります。

データベースはチェックサムエラーを報告します。

データベースを回復する必要があります。

どのようにステートメントを完成させる必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

USE master;

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

▼
OFFLINE
ONLINE
SINGLE_USER
TRUSTWORTHY

WITH ROLLBACK IMMEDIATE;

DBCC CHECKDB ('DB1',

GO

▼
MOINDEX
PHYSICAL_ONLY
REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS
REPAIR_FAST

WITH NO_INFOMSGS;

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

▼
MULTI_USER;
ONLINE;
OPEN;
TRUSTWORTHY;



Answer:

USE master;

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

▼
OFFLINE
ONLINE
SINGLE_USER
TRUSTWORTHY

WITH ROLLBACK IMMEDIATE;

DBCC CHECKDB ('DB1',

GO

▼
MOINDEX
PHYSICAL_ONLY
REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS
REPAIR_FAST

WITH NO_INFOMSGS;

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

▼
MULTI_USER;
ONLINE;
OPEN;
TRUSTWORTHY;



Explanation:

ボックス1 :SINGLE_USER

次のいずれかの修復オプションを使用するには、指定したデータベースがシングルユーザーモードである必要があります。

ボックス2 :REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS

REPAIR_ALLOW_DATA_LOSSは、報告されたすべてのエラーを修復しようとします。これらの修復により、データが失われる可能性があります。

注 :REPAIR_ALLOW_DATA_LOSSオプションはサポートされている機能ですが、データベースを物理的に整合性のある状態にするための最良のオプションであるとは限りません。成功した場合、REPAIR_ALLOW_DATA_LOSSオプションによってデータが失われる可能性があります。実際、ユーザーが最後の既知の正常なバックアップからデータベースを復元する場合よりも多くのデータが失われる可能性があります。

不正解：

REPAIR_FAST

下位互換性のためにのみ構文を維持します。修復アクションは実行されません。

ボックス3 :MULTI_USER

MULTI_USER

データベースに接続するための適切な権限を持つすべてのユーザーが許可されます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/database-console-commands/dbcc-checkdb-transact-sql>

最新問題: 163

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Server1とServer2という名前の2つのAzureSQLデータベースサーバーがあります。各サーバーには、Database1という名前のAzureSQLデータベースが含まれています。

Database1をServer1からServer2に復元する必要があります。ソリューションは、Server2上の既存のDatabase1を置き換える必要があります。

解決策 :Azureポータルから、Server2からDatabase1を削除してから、Server1からのDatabase1のバックアップを使用して、Server2上に新しいデータベースを作成します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

Answer: B (メッセージを残す)

代わりに、RESTORE Transact-SQLコマンドとREPLACEオプションを使用して、Database1をServer1からServer2に復元します。

注 :REPLACEはめったに使用しないでください。また、慎重に検討した後でのみ使用してください。復元は通常、データベースを別のデータベースで誤って上書きすることを防ぎます。RESTOREステートメントで指定されたデータベースが現在のサーバーにすでに存在し、指定されたデータベースファミリGUIDがバックアップセットに記録されているデータベースファミリGUIDと異なる場合、データベースは復元されません。これは重要な保護手段です。

参照：

最新問題: 164

Azure Databricksを使用して、Purchasesという名前のデータセットを開発することを計画しています。購入には次の列が含まれます。

- 製品番号
- ItemPrice
- LineTotal
- 量
- StoreID
- 分
- 月
- 時間
- 年
- 日

StoreIDごとに異なる1時間ごとの増分ロードパイプラインをサポートするために、データを保存する必要があります。このソリューションでは、ストレージコストを最小限に抑える必要があります。

コードをどのように完成させる必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

df.write

▼

.bucketBy

.partitionBy

.range

.sortBy

▼

("*")

("StoreID", "Hour")

("StoreID", "Year", "Month", "Day", "Hour")

("Year", "Month", "Day", "Hour", "StoreID")

.mode ("append")

▼

.csv("/Purchases")

.json("/Purchases")

.parquet("/Purchases")

.saveAsTable("/Purchases")

Answer:

df.write

▼

.bucketBy

.partitionBy

.range

.sortBy

▼

("*")

("StoreID", "Hour")

("StoreID", "Year", "Month", "Day", "Hour")

("Year", "Month", "Day", "Hour", "StoreID")

.mode ("append")

▼

.csv("/Purchases")

.json("/Purchases")

.parquet("/Purchases")

.saveAsTable("/Purchases")

参照：

最新問題: 165

DB1という名前のAzureSQLデータベースがあります。DB1に接続しているときにクエリを実行します。クエリの実際の実行プランを確認し、クエリによって参照されるテーブルにインデックスを追加します。クエリの以前の実際の実行プランをライブクエリ統計と比較する必要があります。Microsoft SQL Server Management Studio (SSMS)で最初に何をすべきですか？

- A. DB1の場合、クエリストアのQUERY_CAPTURE_MODEをAllに設定します。
- B. SETSHOWPLAN_ALL Transact-SQLステートメントを実行します。
- C. 実際の実行プランを保存します。
- D. DB1のクエリストアを有効にします。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

[プランの比較]メニューオプションを使用すると、2つの異なる実行プランを並べて比較できるため、上記のすべての理由で異なる動作を説明する類似点と変更を簡単に識別できます。

このオプションは、以下を比較できます。

以前に保存された2つの実行プランファイル (.sqlplan拡張子)。

1つのアクティブな実行プランと1つの以前に保存されたクエリ実行プラン。

クエリストアで選択された2つのクエリプラン。

最新問題: 166

DevServer1という名前のAzureSQLデータベースサーバーを含むApp1Devという名前のリソースグループがあります。DevServer1には、DB1という名前のAzureSQLデータベースが含まれています。DB1のスキーマとアクセス許可は、Microsoft SQL Serverデータツール (SSDT) データベースプロジェクトに保存されます。

App1Testという名前の新しいリソースグループに、DB1データベースとTestServer1という名前のAzureSQLServerを追加する必要があります。App1Testのリソースは、App1Devのリソースと同じ構成である必要があります。

順番に実行する必要がある4つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

Change the Active Directory Admin on TestServer1

Change the server name and related variables in the templates

From the database project, deploy the database schema and permissions

Add IP addresses to the firewall

From the Azure portal, export the Azure Resource Manager templates

From the Azure portal, deploy the templates.

Answer Area

Answer:

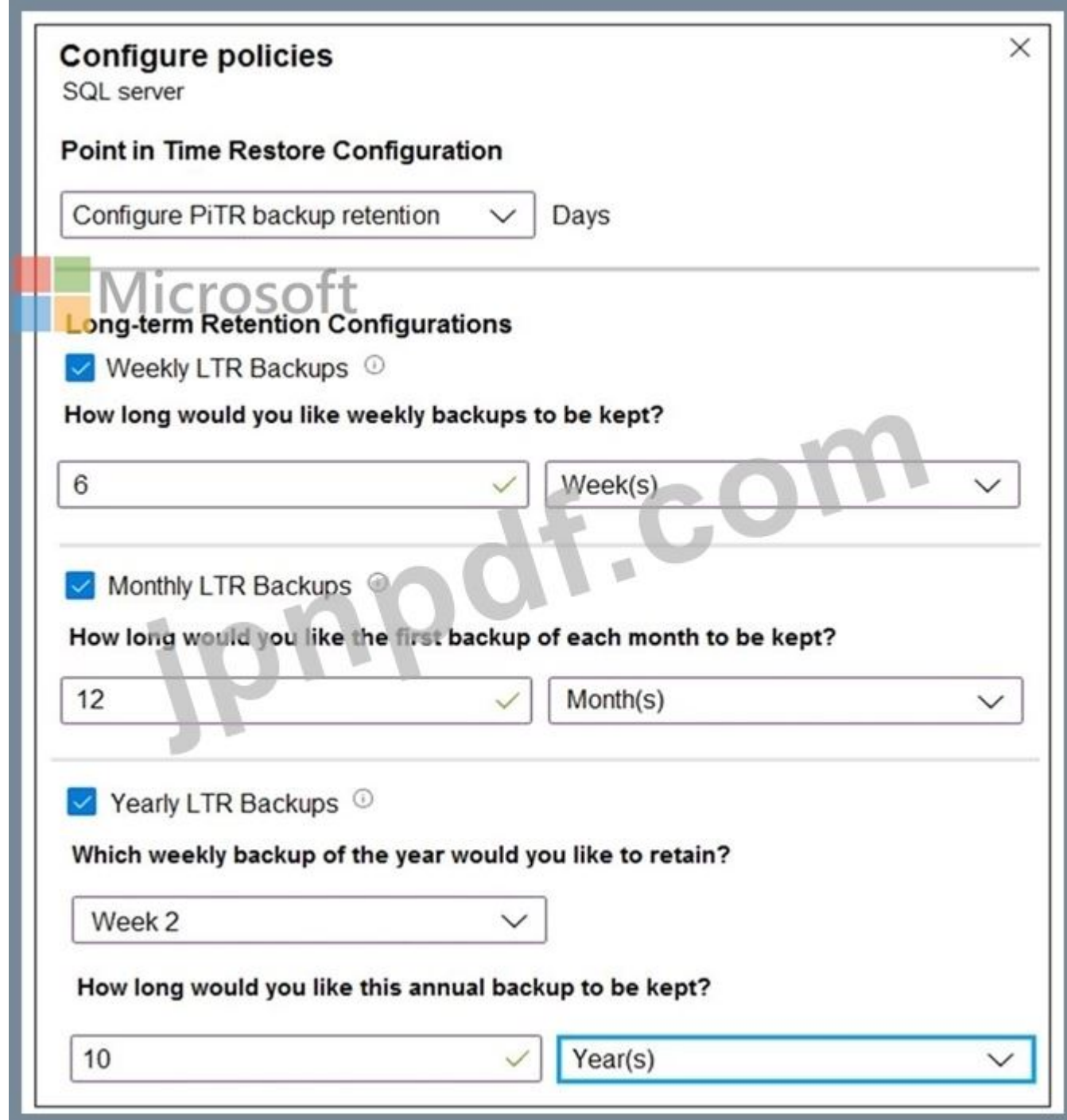
Answer Area

- 1-Azureポータルから、AzureResourceManagerテンプレートをエクスポートします
- 2-テンプレートのサーバー名と関連する変数を変更します
- 3-Azureポータルから、テンプレートをデプロイします。
- 4-データベーススキーマと権限から

有効な **DP-300** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **DP-300** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (**41030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 167

展示に示されているように、AzureSQLデータベースの長期保存ポリシーを構成します。[展示]タブをクリックします。)



The screenshot shows the 'Configure policies' dialog for an SQL server. The 'Long-term Retention Configurations' section is active, showing three backup types: Weekly LTR Backups, Monthly LTR Backups, and Yearly LTR Backups. Each type has a checkbox, a question about retention duration, and input fields for the duration and unit. The 'Yearly LTR Backups' section also includes a dropdown for selecting a specific weekly backup of the year to retain.

Configure policies
SQL server

Point in Time Restore Configuration

Configure PiTR backup retention ▾ Days

Long-term Retention Configurations

☒ Weekly LTR Backups ⓘ

How long would you like weekly backups to be kept?

6 ▾ ✓ Week(s) ▾

☒ Monthly LTR Backups ⓘ

How long would you like the first backup of each month to be kept?

12 ▾ ✓ Month(s) ▾

☒ Yearly LTR Backups ⓘ

Which weekly backup of the year would you like to retain?

Week 2 ▾

How long would you like this annual backup to be kept?

10 ▾ ✓ Year(s) ▾

最初の週次バックアップは2020年1月4日に発生しました。最初の10週間のバックアップの日付は次のとおりです。

2020年1月4日
2020年1月11日
2020年1月18日
2020年1月25日
2020年2月1日
2020年2月8日
2020年2月15日
2020年2月22日
2020年2月29日

2020年3月7日

ドロップダウンメニューを使用して、図に示されている情報に基づいて各ステートメントを完了する回答の選択肢を選択します。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

The backup saved to long-term retention on January 4, 2020, will be retained for

6 weeks

12 months

10 years

The backup saved to long-term retention on January 11, 2020 will be retained for

6 weeks

12 months

10 years

Answer:

The backup saved to long-term retention on January 4, 2020, will be retained for

6 weeks

12 months

10 years

The backup saved to long-term retention on January 11, 2020 will be retained for

6 weeks

12 months

10 years

最新問題: 168

DB1という名前のAzureSQLデータベースがあります。DB1の自動チューニング オプションは、次の図に示すように構成されています。

 Azure SQL Database built-in intelligence automatically tunes your databases to optimize performance. Click here to learn more about automatic tuning. 

Inherit from: 

 The database is inheriting automatic tuning configuration from Azure defaults.

Configure the automatic tuning options 

OPTION	DESIRED STATE	CURRENT STATE
 FORCE PLAN	ON OFF <input checked="" type="button" value="INHERIT"/>	ON Auto-configured by Azure
 CREATE INDEX	ON OFF <input checked="" type="button" value="INHERIT"/>	ON Auto-configured by Azure
 DROP INDEX	<input checked="" type="button" value="ON"/> OFF INHERIT	ON Forced by user

次の各ステートメントについて、ステートメントがtrueの場合は、[はい]を選択します。それ以外の場合は、[いいえ]を選択します。
注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Statements	Yes	No
Nonclustered indexes will be added to tables to improve performance.	☐	☐
Columns will be added to existing indexes automatically.	☐	☐
The query execution plan will revert to a previous plan if query performance degrades.	☐	☐

Answer:

Statements	Yes	No
Nonclustered indexes will be added to tables to improve performance.	☒	☐
Columns will be added to existing indexes automatically.	☐	☒
The query execution plan will revert to a previous plan if query performance degrades.	☒	☐

最新問題: 169

SQLMI1という名前のAzureSQLDatabaseマネージドインスタンスがあります。MicrosoftSQLServerエージェントジョブはSQLMI1で実行されます。

ジョブが完了したら、自動電子メール通知が送信されることを確認する必要があります。

ソリューションに何を含める必要がありますか？

- A. SQL Server Configuration Manager (SSMS) から、SQLServerエージェントを有効にします
- B. SQL Server Management Studio (SSMS) から、sp_set_sqlagent_propertiesを実行します
- C. SQL Server Management Studio (SSMS) から、データベースメールプロファイルを作成します
- D. Azureポータルから、Eメール/SMS/プッシュ/音声アクションを持つAzureMonitorアクショングループを作成します

Answer: C (メッセージを残す)

アラートに応答して通知を送信するには、最初にメールを送信するようにSQLServerエージェントを構成する必要があります。

SQL ServerManagementStudioの使用; データベースメールを使用するようにSQLServerエージェントを構成するには：

- 1.オブジェクトエクスプローラーで、SQLServerインスタンスを展開します。
2. [SQL Serverエージェント]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 3.[アラートシステム]をクリックします。
- 4.[メールプロファイルを有効にする]を選択します。
5. [メールシステム]リストで、[データベースメール]を選択します。
6. [メールプロファイル]リストで、データベースメールのメールプロファイルを選択します。
- 7.SQLServerエージェントを再起動します。

注：前提条件は次のとおりです。

*データベースメールを有効にします。

*使用するSQLServerエージェントサービスアカウントのデータベースメールアカウントを作成します。

*使用するSQLServerエージェントサービスアカウントのデータベースメールプロファイルを作成し、msdbデータベースのDatabaseMailUserRoleにユーザーを追加します。

*プロファイルをmsdbデータベースのデフォルトプロファイルとして設定します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/database-mail/configure-sql-server-agent-mail-to-use-database-mail>高可用性とディザスタリカバリの計画と実装 (HADR) 環境 ストレット1これはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。各ケースを完了するのに必要なだけの試験時間を使用できます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。提供された時間内にこの試験に含まれるすべての質問を確実に完了することができるように、時間を管理する必要があります。

あります。

ケーススタディに含まれている質問に答えるには、ケーススタディで提供されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれている場合があります。このケーススタディでは、各質問は他の質問から独立しています。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることに注意してください。質問に答える準備ができたなら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

既存の環境

ネットワーク環境

製造および研究データセンターは、VPNを使用してプライマリデータセンターに接続します。

プライマリデータセンターには、Microsoftピアリングとプライベートピアリングの両方を使用するExpressRoute接続があります。

プライベートピアリングは、HubVNetという名前のAzure仮想ネットワークに接続します。

アイデンティティ環境

Litwareには、litwareinc.comという名前のドメインを使用するハイブリッドAzure Active Directory (Azure AD) 展開があります。

すべてのAzureサブスクリプションは、litwareinc.com Azure ADテナントに関連付けられています。

データベース環境

営業部門には、次のデータベースワークロードがあります。

* SERVER1という名前のオンプレミスは、Microsoft SQL Server 2012のインスタンスと2つの1-TBデータベースをホストします。

* SalesSrv01Aという名前の論理サーバーには、SalesSQLDb1という名前の地理的に複製されたAzure SQLデータベースが含まれています。SalesSQLDb1は、SalesSQLDb1Poolという名前のエラスティックプールにあります。SalesSQLDb1は、データベースファイアウォールルールと含まれているデータベースユーザーを使用します。

* SalesSQLDb1App1という名前のアプリケーションはSalesSQLDb1を使用します。

製造オフィスには、SERVER2とSERVER3という名前の2つのオンプレミスSQL Server 2016サーバーが含まれています。サーバーは、同じAlwaysOn可用性グループ内のノードです。可用性グループには、ManufacturingSQLDb1という名前のデータベースが含まれます。データベース管理者は、Windows Server 2019を実行し、すべてのAzureデータベースを管理するために使用されるVM1およびVM2という名前の2つのAzure仮想マシンをHubVnetに持っています。

ライセンス契約

Litwareは、ソフトウェアアシュアランスによるライセンスモビリティを提供するマイクロソフトボリュームライセンスのお客様です。

現在の問題

SalesSQLDb1でパフォーマンスの問題が発生します。これは、古い統計と頻繁なブロッキングクエリが原因である可能性があります。

要件

計画された変更

Litwareは、次の変更を実装する予定です。

* Azureに30個の新しいデータベースを実装します。これらのデータベースは、さまざまな使用パターンを持つ時間に敏感な製造アプリで使用されます。各データベースは約20GBになります。

* ResearchSrv01という名前の論理サーバー上にResearchDB1という名前の新しいAzure SQLデータベースを作成します。

ResearchDB1には、個人情報 (PII) データが含まれます。

* ResearchApp1という名前のアプリを開発します。このアプリは、研究部門がResearchDB1にデータを入力してアクセスするために使用します。

* ManufacturingSQLDb1をAzure仮想マシンプラットフォームに移行します。

* SERVER1データベースをAzureSQLデータベースプラットフォームに移行します。

技術要件

Litwareは、次の技術要件を識別します。

* メンテナンスタスクは自動化する必要があります。

* 30の新しいデータベースは自動的に拡張する必要があります。

* オンプレミスインフラストラクチャの使用を最小限に抑える必要があります。

* Azureハイブリッド使用のメリットは、AzureSQLデータベースの展開に活用する必要があります。

* CPUとストレージの使用量と制限に関連するすべてのSQLServerとAzureSQLDatabaseのメトリックは、Azureの組み込み機能を使用して分析する必要があります。

セキュリティとコンプライアンスの要件

Litwareは、次のセキュリティおよびコンプライアンス要件を識別します。

* 暗号化キーをAzureKeyVaultに保存します。

* PIIデータのバックアップを2か月間保持します。

* 保存中、転送中、および使用中のPIIデータを暗号化します。

* 可能な限り、最小特権の原則を使用してください。

* ActiveDirectoryの資格情報を使用してデータベースユーザーを認証します。

* データベースレベルのファイアウォールルールを使用して、AzureSQLデータベースインスタンスを保護します。

* パブリックエンドポイントに依存せずに、AzureでホストされているすべてのデータベースにVM1およびVM2からアクセスできることを確認します。

ビジネス要件

Litwareは、次のビジネス要件を識別します。

* すべてのAzureデプロイメントで99.99%の可用性のSLAを満たします。

* SERVER1データベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑えます。

* ワークロードをAzureに移行する場合は、Azureハイブリッド使用のメリットを利用してください。

* すべての要件が満たされたら、可能な限りコストを最小限に抑えます。

高可用性およびディザスタリカバリ (HADR) 環境の質問セット2の計画と実装

最新問題: 170

sqlldb1という名前のAzureSQLデータベースがあります。

クエリストアが読み取り専用状態に移行する可能性を最小限に抑える必要があります。

あなたは何をすべきか？

A. データフラッシュ間隔の値を2倍にする

B. データフラッシュ間隔の値を半分に減らします

C. 統計収集間隔の値を2倍にする

D. 統計収集間隔の値を半分に減らします

Answer: B ([メッセージを残す](#))

説明

Explanation:

最大サイズ (MB) の制限は厳密には適用されません。ストレージサイズは、クエリストアがデータをディスクに書き込むときにのみチェックされます。この間隔は、データフラッシュ間隔 (分オプシオンによって設定されます。クエリストアがストレージサイズチェックの間に最大サイズ制限に違反した場合、読み取り専用モードに移行します。

不正解：

C：統計収集間隔：収集された実行時統計の粒度のレベルを分単位で定義します。デフォルトは60分です。問題を検出して軽減するために、より細かい粒度またはより短い時間を必要とする場合は、より低い値を使用することを検討してください。この値は、クエリストアデータのサイズに直接影響することに注意してください。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/performance/best-practice-with-the-query-store>

最新問題: 171

次のデータベースレベルおよびインスタンスレベルの機能を使用するDB1という名前のMicrosoftSQLServer2019データベースがあります。

*クラスター化された列ストアインデックス

*自動チューニング

*変更の追跡

*PolyBase

DB1をAzureSQLデータベースに移行することを計画しています。

DB1を移行する前に、どの機能を削除または置換する必要がありますか？

A. クラスター化された列ストアインデックス

B. PolyBase

C. 変更追跡

D. 自動チューニング

Answer: B ([メッセージを残す](#))

セクション {なし}

Explanation:

この表は、PolyBaseの主な機能とそれらが利用可能な製品を示しています。

Feature	SQL Server (beginning with 2016)	Azure SQL Database	Azure Synapse Analytics	Parallel Data Warehouse
Query Hadoop data with Transact-SQL	Yes	No	No	Yes
Import data from Hadoop	Yes	No	No	Yes
Export data to Hadoop	Yes	No	No	Yes
Query, import from, export to Azure HDInsight	No	No	No	No
Push down query computations to Hadoop	Yes	No	No	Yes
Import data from Azure Blob storage	Yes	Yes*	Yes	Yes
Export data to Azure Blob storage	Yes	No	Yes	Yes
Import data from Azure Data Lake Store	No	No	Yes	No
Export data to Azure Data Lake Store	No	No	Yes	No
Run PolyBase queries from Microsoft	Yes	No	Yes	Yes

不正解：

C：変更追跡は、アプリケーションに効率的な変更追跡メカニズムを提供する軽量ソリューションです。これは、AzureSQLデータベースとSQLServerの両方に適用されます。

D：AzureSQLデータベースとAzureSQLマネージドインスタンスの自動チューニングは、AIと機械学習に基づく継続的なパフォーマンスチューニングを通じて、ピークパフォーマンスと安定したワークロードを提供します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/polybase/polybase-versioned-feature-summary>

最新問題: 172

Twitterフィードデータレコードのデータ保持ソリューションを設計する必要があります。ソリューションは、顧客の感情分析の要件を満たす必要があります。

ソリューションに含める必要があるAzureストレージ機能はどれですか？

- A. 時間ベースの保持
- B. フィードを変更する
- C. ライフサイクル管理
- D. ソフト削除

Answer: C ([メッセージを残す](#))

セクション [なし]

Explanation:

ライフサイクル管理ポリシーにより、次のことが可能になります。

ライフサイクルの最後にBLOB、BLOBバージョン、およびBLOBスナップショットを削除するシナリオ：

*2年以上前のTwitterフィードデータレコードを削除します。

* Event Hubs Captureを使用して、TwitterフィードをAzureStorageに保存します。フィードはParquetファイルに変換されます。

*Twitterフィードデータレコードを維持するための管理作業を最小限に抑えます。

不正解：

A：時間ベースの保持ポリシーのサポート :ユーザーは、指定された間隔でデータを保存するポリシーを設定できます。時間ベースの保持ポリシーが設定されている場合、blobを作成して読み取ることはできますが、変更または削除することはできません。保存期間が終了すると、blobは削除できますが、上書きすることはできません。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/storage/blobs/storage-lifecycle-management-concepts>

最新問題: 173

DB1という名前のオンプレミスMicrosoftSQLServer2016データベースにデータを格納するApp1という名前のオンプレミスアプリがあります。

App1の追加のインスタンスを個別のAzureリージョンにデプロイすることを計画しています。各リージョンには、App1とDB1の個別のインスタンスがあります。DB1の個別のインスタンスは、Azure SQLDataSyncを使用して同期されます。

展開にはデータベースサービスを推奨する必要があります。ソリューションは、管理作業を最小限に抑える必要があります。

推奨事項には何を含める必要がありますか？

- A. AzureSQLマネージドインスタンス
- B. AzureSQLDatabaseの単一データベース
- C. PostgreSQL用のAzureデータベース
- D. Azure仮想マシン上のSQL Server

Answer: B ([メッセージを残す](#))

Azure SQL Databaseの単一データベースは、データ同期をサポートしています。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/features-comparison>

最新問題: 174

vCore購入モデルを使用してプロビジョニングされた20のAzureSQLデータベースがあります。

Azure SQL Databaseエラスティックプールを作成し、20個のデータベースを追加する予定です。

ワークロードの要求を満たすためにエラスティックプールのサイズを決定するために使用する必要がある3つのメトリックはどれですか？

それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

- A. すべてのデータベースの合計サイズ
- B. ジオレプリケーションのサポート
- C. 同時にピークに達するデータベースの数*データベースあたりのピークCPU使用率
- D. すべてのデータベースの同時セッションの最大数
- E. データベースの総数*データベースあたりの平均CPU使用率

Answer: (解答を表示する)

CE : 次のようにプールに必要なvCoreを見積もります。

vCoreベースの購入モデルの場合 :MAX <DBの総数X DBあたりの平均vCore使用率>、<同時にピークに達するDBの数X DBあたりのピークvCore使用率>A :プールに必要なストレージスペースの数を加算して見積もります。プール内のすべてのデータベースに必要なバイト。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/elastic-pool-overview>

最新問題: 175

Pool1という名前のAzureSynapseAnalytics専用SQLプールと、DB1という名前のデータベースがあります。DB1には、Tableという名前のファクトテーブルが含まれています。

表1でデータスキューの範囲を特定する必要があります。

Synapse Studioで何をすべきですか？

- A. Pool1に接続し、sys.dm_pdw_nodes_db_partition_statsを照会します。
- B. 組み込みプールに接続し、DBCCCHECKALLOCを実行します。
- C. Pool1に接続し、DBCCCHECKALLOCを実行します。
- D. 組み込みプールに接続し、sys.dm_pdw_nodes_db_partition_statsにクエリを実行します。

Answer: D (メッセージを残す)

sys.dm_pdw_nodes_db_partition_statsを使用して、データの歪度を分析します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/sql-data-warehouse/cheat-sheet>

最新問題: 176

DevServer1という名前のAzureSQLデータベースサーバーを含むApp1Devという名前のリソースグループがあります。DevServer1には、DB1という名前のAzureSQLデータベースが含まれています。DB1のスキーマとアクセス許可は、Microsoft SQL Serverデータツール(SSDT)データベースプロジェクトに保存されます。

App1Testという名前の新しいリソースグループに、DB1データベースとTestServer1という名前のAzureSQLServerを追加する必要があります。App1Testのリソースは、App1Devのリソースと同じ構成である必要があります。

順番に実行する必要がある4つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

Change the Active Directory Admin on TestServer1

Change the server name and related variables in the templates

From the database project, deploy the database schema and permissions

Add IP addresses to the firewall

From the Azure portal, export the Azure Resource Manager templates

From the Azure portal, deploy the templates.

Answer Area

⏩

⏪

⏴

⏵

 Microsoft

Answer:

Answer Area

From the Azure portal, export the Azure Resoure Manager templates

Change the server name and related variables in the templates

From the Azure portal, deploy the templates.

From the database project, deploy the database schema and permissions

- 1-Azureポータルから、AzureResoureManagerテンプレートをエクスポートします
- 2-テンプレートのサーバー名と関連する変数を変更します
- 3-Azureポータルから、テンプレートをデプロイします。
- 4-データベースプロジェクトから、データベーススキーマと権限をデプロイします

最新問題: 177

Windows Server 2019を実行するVM1とVM2という名前の2つのAzure仮想マシンがあります。VM1とVM2はそれぞれ、デフォルトのMicrosoft SQLServer2019インスタンスをホストします。VM1には、D \DB1.bakという名前のファイルにバックアップされるDB1という名前のデータベースが含まれています。

次の構成を持つAlwaysOn可用性グループを展開することを計画しています。

VM1は、DB1のプライマリレプリカをホストします。

VM2は、DB1のセカンダリレプリカをホストします。

可用性グループ用にVM2でセカンダリデータベースを準備する必要があります。
Transact-SQLステートメントをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

▼

DATABASE MyDB1

BACKUP

CREATE

RESTORE

Microsoft

FROM DISK = 'D:\DB1.bak'

WITH

GO

▼

NORECOVERY

RECOVERY

STANDBY

Answer:

▼

DATABASE MyDB1

BACKUP

CREATE

RESTORE

Microsoft

FROM DISK = 'D:\DB1.bak'

WITH

GO

▼

NORECOVERY

RECOVERY

STANDBY

参照：

[https://docs.microsoft.com/en-us/sql/database-engine/availability-groups/windows/manually-prepare-a-secondary-database-for-an-availability-group-sql-server?view= sql-server-ver15](https://docs.microsoft.com/en-us/sql/database-engine/availability-groups/windows/manually-prepare-a-secondary-database-for-an-availability-group-sql-server?view=sql-server-ver15)

最新問題: 178

SERVER1データベースのユーザー認証を構成する必要があります。ソリューションは、セキュリティとコンプライアンスの要件を満たす必要があります。
順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

Create a user in the master database

Modify the Azure SQL server administrator account

Create contained database users

Create an Azure AD administrator for the logical server

Connect to the databases by using an Azure AD account

Enable the contained database authentication option

Answer Area



Answer:

Actions

Create a user in the master database

Modify the Azure SQL server administrator account

Create contained database users

Create an Azure AD administrator for the logical server

Connect to the databases by using an Azure AD account

Enable the contained database authentication option

Answer Area

Create an Azure AD administrator for the logical server

Create contained database users

Connect to the databases by using an Azure AD account

Explanation:

シナリオ :ActiveDirectoryの資格情報を使用してデータベースユーザーを認証します。
構成手順には、AzureActiveDirectory認証を構成して使用するための次の手順が含まれます。

*AzureADを作成してデータを入力します。

*オプション：現在azureサブスクリプションに関連付けられているActiveDirectoryを関連付けるか変更します。

* AzureActiveDirectory管理者を作成します。(ステップ1)

*クライアントコンピューターを構成します。

- * AzureADIDにマップされたデータベースに含まれるデータベースユーザーを作成します。(ステップ2)
- * AzureADIDを使用してデータベースに接続します。(ステップ3)

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/authentication-aad-overview>

最新問題: 179

AzureSynapseAnalytics専用のSQLプールがあります。

PDW_SHOWSPACEUSED 'dbo.FactInternetSales');を実行します。次の表に示す結果を取得します。

ROWS	RESERVED_SPACE	DATA_SPACE	INDEX_SPACE	UNUSED_SPACE	PDW_NODE_ID	DISTRIBUTION_ID
694	2776	616	48	2112	1	1
407	2704	576	48	2080	1	2
53	2376	512	16	1848	1	3
58	2376	512	16	1848	1	4
168	2632	528	32	2072	1	5
195	2696	536	32	2128	1	6
5995	3464	1424	32	2008	1	7
0	2232	496	0	1736	1	8
264	2576	544	40	1992	1	9
3008	3016	960	32	2024	1	10
...	...	...	...	...	...	...
1550	2832	752	48	2032	1	50
1238	2832	696	40	2096	1	51
192	2632	528	32	2072	1	52
1127	2768	680	48	2040	1	53
1244	3032	704	64	2264	1	54
409	2632	568	32	2032	1	55
0	2232	496	0	1736	1	56
1437	2832	728	40	2064	1	57
0	2232	496	0	1736	1	58
384	2632	560	32	2040	1	59
225	2768	544	40	2184	1	60

dbo.FactInternetSalesテーブルを正確に説明しているステートメントはどれですか。

- A. テーブルに含まれる行は10,000行未満です。
- B. すべてのディストリビューションにデータが含まれています。
- C. テーブルはラウンドロビン分布を使用しています
- D. テーブルが歪んでいます。

Answer: D (メッセージを残す)

分布ごとの行は、パフォーマンスに目立った影響を与えることなく、最大10%まで変化する可能性があります。ここでは、分布は10%以上変化します。ゆがんでいます。

注 :SHOWSPACEUSEDは、特定の表、またはAzure SynapseAnalyticsまたはParallelDataWarehouseデータベースのすべての表に使用されている行数、予約済みディスク容量、およびディスク容量を表示します。

これは、データベースの60のディストリビューションのそれぞれに格納されているテーブル行の数を確認するための非常に迅速で簡単な方

法です。最もバランスの取れたパフォーマンスを得るには、分散テーブルの行をすべての分散に均等に分散させる必要があることに注意してください。

ROUND_ROBIN分散テーブルは歪んではいけません。データは、設計によりノード全体に均等に分散されます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/sql-data-warehouse/sql-data-warehouse-tables-distribute>

<https://github.com/rgl/azure-content/blob/master/articles/sql-data-warehouse/sql-data-warehouse-manage-distributed-data-skew.md>

最新問題: 180

AzureSynapseAnalyticsでエンタープライズデータウェアハウスを管理します。

ユーザーは、一般的に使用されるクエリを実行するとパフォーマンスが低下すると報告します。ユーザーは、使用頻度の低いクエリのパフォーマンスの変化を報告しません。

パフォーマンスの問題の原因を特定するには、リソース使用率を監視する必要があります。

どのメトリックを監視する必要がありますか？

- A. ローカルtempdbパーセンテージ
- B. DWUパーセンテージ
- C. 使用されるデータウェアハウスユニット (DWU)
- D. キャッシュヒット率

Answer: A (メッセージを残す)

Tempdbは、クエリ実行中に中間結果を保持するために使用されます。tempdbデータベースの使用率が高いと、クエリのパフォーマンスが低下する可能性があります。

注：大量のメモリーを消費しているクエリがある場合、またはtempdbの割り振りに関連するエラー・メッセージを受け取った場合は、実行中の非常に大きなCREATE TABLE AS SELECT (CTAS)またはINSERTSELECTステートメントが失敗している可能性があります。最終的なデータ移動操作で。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/sql-data-warehouse/sql-data-warehouse-managemonitor#monitor-tempdb>

最新問題: 181

ドラッグドロップ

SalesSQLDb1の統計更新を実装する必要があります。ソリューションは技術要件を満たしている必要があります。

順番に実行する必要がある4つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

選択して配置：

Actions

Create and configure a schedule.

Create a SQL Server Agent job.

Publish the runbook.

Create an Azure Automation account.

Import the SqlServer module.

Create a runbook that runs a PowerShell script.

Run `sp_add_jobserver`.

Answer Area

>

<

&u2191

⇊

Answer:

Actions

Create a SQL Server Agent job.

Publish the runbook.

 Microsoft

Run sp_add_jobserver.

Answer Area

Create an Azure Automation account.

Import the SqlServer module.

Create a runbook that runs a PowerShell script.

Create and configure a schedule.

セクション [なし]

Explanation:

AzureAutomationを使用したAzureSQLDBインデックスと統計のメンテナンスの自動化 :

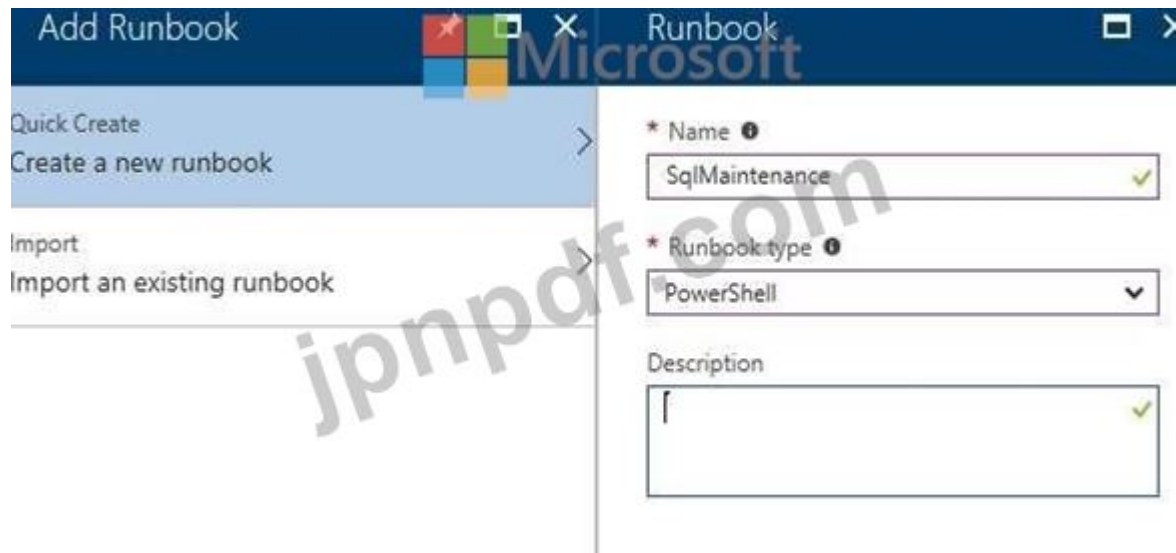
1. Azure自動化アカウントを作成します (ステップ1)
2. SQLServerモジュールをインポートします (ステップ2)
3. クレデンシャルを追加してSQLDBにアクセスします

これは、AzureSQLDBへのアクセスに使用されるログイン名とパスワードを保持するための安全な方法を使用します

4. Runbookを追加して、メンテナンスを実行します (ステップ3)

手順 :

1. 左側のパネルで[Runbooks]をクリックしてから、[AddRunbook]をクリックします
2. [新しいRunbookを作成する]を選択し、名前を付けて、Runbookのタイプとして[PowerShell]を選択し、[作成]をクリックします。



5.タスクをスケジュールします (ステップ4)

手順 :

- 1.スケジュールをクリックします
2. [スケジュールの追加]をクリックし、指示に従って既存のスケジュールを選択するか、新しいスケジュールを作成します。

参照 :

<https://techcommunity.microsoft.com/t5/azure-database-support-blog/automating-azure-sql-db-index-and-statistics-maintenance-using/ba-p/368974>質問セット2

有効な **DP-300** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **DP-300** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (410**30%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: **182**

AzureSynapseAnalytics専用のSQLプールでディメンションテーブルを設計しています。

テーブルの代理キーを作成する必要があります。このソリューションは、最速のクエリパフォーマンスを提供する必要があります。

代理キーには何を使用する必要がありますか？

- A. IDENTITY列
- B. GUID列
- C. シーケンスオブジェクト

Answer: A ([メッセージを残す](#))

セクション [なし]

Explanation:

専用SQLプールは、他のデータベースが提供するテーブル機能のすべてではありませんが、多くをサポートします。

代理キーはサポートされていません。Identity列を使用して実装します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/sql-data-warehouse/sql-data-warehouse-tables-概要>

最新問題: 183

SalesSQLDb1の監視を実装する必要があります。ソリューションは技術要件を満たしている必要があります。

メトリックをどのように収集してストリーミングする必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Collect metrics from:

The database only
The elastic pool and the database
The elastic pool only
The server, the elastic pool, and the database

Stream metrics to:

Azure Event Hubs
Azure Log Analytics
Azure Storage

Answer:

Collect metrics from:

The database only
The elastic pool and the database
The elastic pool only
The server, the elastic pool, and the database

Stream metrics to:

Azure Event Hubs
Azure Log Analytics
Azure Storage

最新問題: 184

2つの100GBデータベースをAzureに移動することを計画しています。

ワークロードに基づいてリソース消費を動的にスケーリングする必要があります。

このソリューションでは、スケーリング操作中のダウンタイムを最小限に抑える必要があります。

何を使うべきですか？

- A. AzureSQLデータベースのエラスティックプール
- B. Azure仮想マシン上のSQL Server
- C. AzureSQLデータベースの管理対象インスタンス
- D. AzureSQLデータベース

Answer: A ([メッセージを残す](#))

最新問題: 185

PolyBaseを使用して、寄付細長の形式で存在するAzure Blobストレージからデータを取得し、そのデータをFactSalesOrderDetailsという大きなテーブルに読み込む必要があります。

データを受信するには、AzureSynapseAnalyticsを構成する必要があります。

順番に実行する必要がある4つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

Create an external data source for Azure Blob storage.

Create a master key on database.

Enable Transparent Data Encryption.

Create the external table FactSalesOrderDetails.

Load the data to a staging table.

Create an external file format to map the parquet files.

Answer Area

⬅

➡

⬆

⬆

Answer:

Answer Area

Create a master key on database.

reate an external data source for Azure Blob storage.

Create an external file format to map the parquet files.

Create an external table FactSalesOrderDetails

- 1-データベースにマスターキーを作成します。
- 2-AzureBlobストレージの外部データソースを再作成します。
- 3-寄木細工のファイルをマップするための外部ファイル形式を作成します。
- 4-外部テーブルFactSalesOrderDetailsを作成します

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/polybase/polybase-configure-azure-blob-storage>

最新問題: 186

1時間ごとにトリガーされるAzureDataFactoryパイプラインがあります。
パイプラインは過去7日間で100%成功しています。
パイプラインの実行は失敗し、15分間隔で発生する2回の再試行も失敗します。3番目の失敗は、次のエラーを返します。

```
ErrorCode=UserErrorFileNotFoundException,
'Type=Microsoft.DataTransfer.Common.Shared.HybridDeliveryException,Message=ADLS
Gen2 operation failed for: Operation returned an invalid status code
'NotFound'. Account: 'contosoproduksouth' FileSystem: wwi.Path:
'BIKES/CARBON/year=2021/month=01/day=10/hour=06'. ErrorCode:
'PathNotFound'.Message: 'The specified path does not exist.'. RequestId:
'6d269b78-901f-001b-4924-e7a7bc000000'. Timestamp: 'Sun, 10 Jan 2021 07:45:05
```

エラーの考えられる原因は何ですか？

- A. 2021年1月10日の06:00から07:00まで、wwi / BIKES/CARBONにデータはありませんでした。
- B. year = 2021 / month = 01 / day = 10 / hour=06の生成に使用されたパラメーターが正しくありませんでした。
- C. 2021年1月10日06:00から07:00まで、wwi / BIKES/CARBONのデータのファイル形式が正しくありませんでした。
- D. パイプラインのトリガーが早すぎました。

Answer: ([解答を表示する](#))

セクション {なし}

Explanation:

ファイルがありません。

テストレット1

ケーススタディ

これはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。各ケースを完了するのに必要なだけの試験時間を使用できます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。

提供された時間内にこの試験に含まれるすべての質問を確実に完了することができるよう、時間を管理する必要があります。

ケーススタディに含まれている質問に答えるには、ケーススタディで提供されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれている場合があります。このケーススタディでは、各質問は他の質問から独立しています。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることを注意してください。質問に答える準備ができたなら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

Litware、Inc.は、ボストンに本社を置く再生可能エネルギー会社です。本社には、営業部門と会社の主要なデータセンターがあります。

物理的な場所

Litwareには製造オフィスがあり、研究オフィスはボストンの近くに別々の場所にあります。各オフィスには、独自のデータセンターとインターネット接続があります。

既存の環境

ネットワーク環境

製造および研究データセンターは、VPNを使用してプライマリデータセンターに接続します。

プライマリデータセンターには、Microsoftピアリングとプライベートピアリングの両方を使用するExpressRoute接続があります。

プライベートピアリングは、HubVNetという名前のAzure仮想ネットワークに接続します。

アイデンティティ環境

Litwareには、litwareinc.comという名前のドメインを使用するハイブリッドAzure Active Directory (Azure AD) 展開があります。

すべてのAzureサブスクリプションは、litwareinc.com Azure ADテナントに関連付けられています。

データベース環境

営業部門には、次のデータベースワークロードがあります。

* SERVER1という名前のオンプレミスは、Microsoft SQL Server 2012のインスタンスと2つの1-TBデータベースをホストします。

* SalesSrv01Aという名前の論理サーバーには、SalesSQLDb1という名前の地理的に複製されたAzure SQLデータベースが含まれ、SalesSQLDb1はSalesSQLDb1Poolという名前のエラスティックプールにあります。SalesSQLDb1は、データベースファイアウォールルールと含まれているデータベースユーザーを使用します。

* SalesSQLDb1App1という名前のアプリケーションはSalesSQLDb1を使用します。

製造オフィスには、SERVER2とSERVER3という名前の2つのオンプレミスSQL Server 2016サーバーが含まれています。サーバーは、同じAlwaysOn可用性グループ内のノードです。可用性グループには、ManufacturingSQLDb1という名前のデータベースが含まれています。

データベース管理者は、Windows Server 2019を実行し、すべてのAzureデータベースを管理するために使用されるVM1およびVM2という名前の2つのAzure仮想マシンをHubVnetに持っています。

ライセンス契約

Litwareは、ソフトウェアアシュアランスによるライセンスモビリティを提供するマイクロソフトボリュームライセンスのお客様です。

現在の問題

要件

SalesSQLDb1でパフォーマンスの問題が発生します。これは、古い統計と頻繁なブロッキングクエリが原因である可能性があります。

計画された変更

Litwareは、次の変更を実装する予定です。

* Azureに30個の新しいデータベースを実装します。これらのデータベースは、さまざまな使用パターンを持つ時間に敏感な製造アプリで使用されます。各データベースは約20GBになります。

* ResearchSrv01という名前の論理サーバー上にResearchDB1という名前の新しいAzure SQLデータベースを作成します。

ResearchDB1には、個人情報 (PII) データが含まれます。

* ResearchApp1という名前のアプリを開発します。このアプリは、研究部門がResearchDB1にデータを入力してアクセスするために使用します。

* ManufacturingSQLDb1をAzure仮想マシンプラットフォームに移行します。

* SERVER1データベースをAzure SQLデータベースプラットフォームに移行します。

技術要件

Litwareは、次の技術要件を識別します。

* メンテナンスタスクは自動化する必要があります。

* 30の新しいデータベースは自動的に拡張する必要があります。

* オンプレミスインフラストラクチャの使用を最小限に抑える必要があります。

* Azureハイブリッド使用のメリットは、Azure SQLデータベースの展開に活用する必要があります。

* CPUとストレージの使用量と制限に関連するすべてのSQL ServerとAzure SQL Databaseのメトリックは、Azureの組み込み機能を使用して分析する必要があります。

セキュリティとコンプライアンスの要件

Litwareは、次のセキュリティおよびコンプライアンス要件を識別します。

*暗号化キーをAzureKeyVaultに保存します。

*PIIデータのバックアップを2か月間保持します。

*保存中、転送中、および使用中のPIIデータを暗号化します。

*可能な限り、最小特権の原則を使用してください。

*ActiveDirectoryの資格情報を使用してデータベースユーザーを認証します。

*データベースレベルのファイアウォールルールを使用して、AzureSQLデータベースインスタンスを保護します。

*パブリックエンドポイントに依存せずに、AzureでホストされているすべてのデータベースにVM1およびVM2からアクセスできることを確認します。

ビジネス要件

Litwareは、次のビジネス要件を識別します。

*すべてのAzureデプロイメントで99.99%の可用性のSLAを満たします。

*SERVER1データベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑えます。

*ワークロードをAzureに移行する場合は、Azureハイブリッド使用のメリットを利用してください。

*すべての要件が満たされたら、可能な限りコストを最小限に抑えます。

最新問題: 187

2つの100GBデータベースをAzureに移動することを計画しています。

ワークロードに基づいてリソース消費を動的にスケーリングする必要があります。このソリューションでは、スケーリング操作中のダウンタイムを最小限に抑える必要があります。

何を使うべきですか？

A. エラスティックプール内の2つのAzureSQLデータベース

B. Azure仮想マシン上のSQLServerでホストされている2つのデータベース

C. AzureSQLマネージドインスタンス内の2つのデータベース

D. 2つの単一のAzureSQLデータベース

Answer: A ([メッセージを残す](#))

Azure SQL Databaseエラスティックプールは、さまざまに予測不可能な使用要求がある複数のデータベースを管理およびスケーリングするための、シンプルで費用効果の高いソリューションです。エラスティックプール内のデータベースは単一のサーバー上にあり、設定された数のリソースを設定された価格で共有します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/elastic-pool-overview>

最新問題: 188

DB1という名前のAzureSQLデータベースがあります。DB1に接続しているときにクエリを実行します。

クエリの実際の実行プランを確認し、クエリによって参照されるテーブルにインデックスを追加します。

クエリの以前の実際の実行プランをライブクエリ統計と比較する必要があります。

Microsoft SQL Server Management Studio (SSMS)で最初に何をすべきですか？

A. DB1の場合、クエリストアのQUERY_CAPTURE_MODEをAllに設定します。

B. SETSHOWPLAN_ALL Transact-SQLステートメントを実行します。

- C. 実際の実行プランを保存します。
- D. DB1のクエリストアを有効にします。

Answer: (解答を表示する)

セクション {なし}

Explanation:

[プランの比較]メニューオプションを使用すると、2つの異なる実行プランを並べて比較できるため、より簡単になります。
上記のすべての理由によるさまざまな動作を説明する類似点と変更点の特定。
このオプションは、以下を比較できます。
以前に保存された2つの実行プランファイル (sqlplan拡張子)。
1つのアクティブな実行プランと1つの以前に保存されたクエリ実行プラン。
クエリストアで選択された2つのクエリプラン。

最新問題: 189

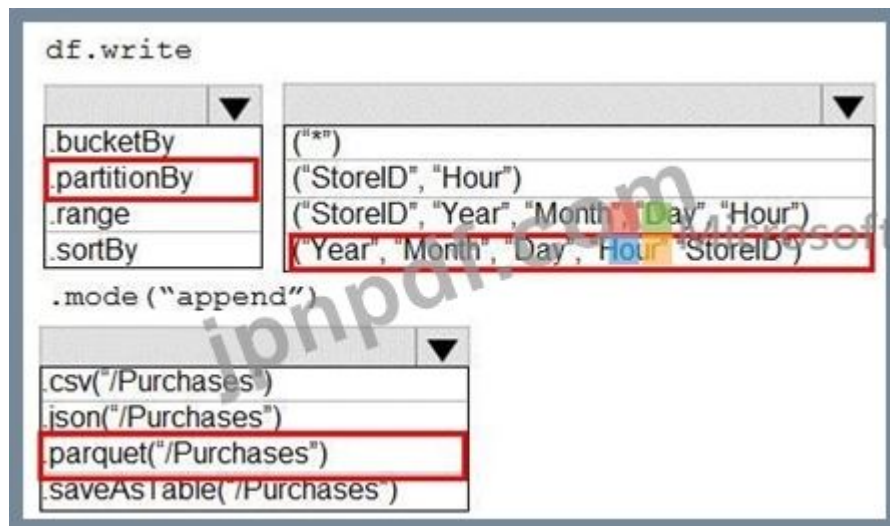
Azure Databricksを使用して、Purchasesという名前のデータセットを開発することを計画しています。購入には次の列が含まれます。

製品番号
ItemPrice
LineTotal
量
StoreID
分
月
時間
年
日

StoreIDごとに異なる1時間ごとの増分ロードパイプラインをサポートするために、データを保存する必要があります。このソリューションでは、ストレージコストを最小限に抑える必要があります。
コードをどのように完成させる必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。
注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



Answer:



参照：

<https://intellipaat.com/community/11744/how-to-partition-and-write-dataframe-in-spark-without-deleting-partitions-with-no-new-data>

最新問題: 190

注：この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

ステージングゾーンを含むAzureDataLakeStorageアカウントがあります。

ステージングゾーンから増分データを取り込み、Rスクリプトを実行してデータを変換し、変換されたデータをAzureSynapseAnalyticsのデータウェアハウスに挿入する毎日のプロセスを設計する必要があります。

解決策：Azure Data Factoryスケジュールトリガーを使用して、Azure Databricksノートブックを実行するパイプラインを実行してから、データウェアハウスにデータを挿入します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

Answer: B (メッセージを残す)

セクション {なし}

Explanation:

Data Factoryでサポートされていない方法でデータを変換する必要がある場合は、Azure Databricksノートブックではなく、独自のデータ処理ロジックを使用してカスタムアクティビティを作成し、パイプラインでアクティビティを使用できます。RがインストールされているHDInsightクラスターでRスクリプトを実行するカスタムアクティビティを作成できます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-US/azure/data-factory/transform-data>

最新問題: 191

あなたの会社はセキュリティカメラからの画像を分析し、異常な活動に対応するセキュリティチームにアラートを送信します。このソリューションでは、AzureDatabricksを使用しています。

Apache Sparkレベルのイベント、Spark Structured Streamingメトリック、およびアプリケーションメトリックをAzureMonitorに送信する

必要があります。
順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、回答エリアのアクションのリストから適切なアクションを移動し、正しい順序に並べます。

ACTIONS

Deploy Grafana to an Azure virtual machine.

Build a `spark-listeners-loganalytics-1.0-SNAPSHOT.jar` JAR file.

Create Dropwizard counters in the application code.

Create a data source in Azure Monitor.

Configure the Databricks cluster to use the Databricks monitoring library.

←

→

↑

↓

Answer:

Answer Area

Configure your Azure Databricks cluster to use the Databricksmonitoring library.

Build the `spark-listeners-loganalytics-1.0-SNAPSHOT.jar` JAR file

Create Dropwizard counters in your application code

- 1-Databricksmonitoringライブラリを使用するようにAzureDatabricksクラスターを構成します。
- 2-spark-listeners-loganalytics-1.0-SNAPSHOT.jarJARファイルをビルドします
- 3-アプリケーションコードにDropwizardカウンターを作成します

Valid DP-300 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing DP-300 Exam! GoShiken.com now offer the **newest DP-300 exam dumps**, the GoShiken.com DP-300 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com DP-300 dumps with Test Engine here: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (410 Q&As Dumps, **30%OFF Special Discount: Freepdfdumps**)